箕輪都市計画基礎調査報告書

（　概　要　版　）

平成３１年３月

長野県箕輪町

目　　次

① 人　口 1
C0101　人口規模 1
C0103　将来人口 4
C0104　人口増減の内訳 7
C0105　通勤・通学移動 9

② 産　業 11
C0201　産業・職業大分類別就業者数 11
C0202　事業所数・従業者数・売上金額 18

③ 土地利用 29
C0302　土地利用現況 29
C0304　宅地開発状況 31
C0305　農地転用状況 33
C0307　新築状況 34
C0308　条例・協定 37

④ 建　物 39
C0401　建物用途別現況 39
C0402　大規模小売店舗等の立地状況 51

⑤ 都市施設 52
C0501　都市施設の位置、内容等 52

⑥ 交　通 53
C0601　主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度 53
C0603　鉄道・路面電車等の状況 55
C0604　バスの状況 55

⑦ 地　価 56
C0701　地価の状況 56

⑧ 自然環境 57
C0802　気象状況 57
C0803　緑の状況 59

⑨ 公害及び災害 60
C0901　災害の発生状況 60
C0902　防災拠点・避難場所 60

○　数字の表章単位未満は、四捨五入を原則としている。したがって、総数と内容の計が一致しない場合がある。
○　図表中や図表名、資料名に時点の記載がない場合は、平成 30 年の値である。

① 人　口

C0101　人口規模

１）人口総数及び増加数

箕輪町の行政区域の人口推移をみると平成 17 年までは増加傾向にあったが、平成 22 年はやや減少し、平成 27 年には 25,241 人となっている。

また、平成 27 年の用途地域指定区域人口は、8,645 人となっており、総人口の 34.2%にあたる。人口推移は、平成 22 年には平成 17 年と比較して 699 人の減少、平成 27 年には平成 22 年と比較して 778 人の減少となっている。一方、用途地域指定外区域では、平成 22 年まで増加傾向が続き、平成 27 年で 195 人の減少となっている。

平成７年から平成 27 年の 21 年間における人口増減は、行政区域人口は 5.0%増（1,193 人）であるものの用途地域指定区域では 8.1%減（760 人減）となっている。一方、用途地域指定外区域では 13.3%増（1,953 人増）となっており、郊外地域への人口の移動がみられる。

表１－１　人口推移

区　域	H７	H7～H12年の増減		H12	H12～H17年の増減		H17	H17～H22年の増減		H22	H22～H27年の増減		H27
	人口	人口	率	人口	人口	率	人口	人口	率	人口	人口	率	人口
	（人）	（人）	（%）	（人）	（人）	（%）	（人）	（人）	（%）	（人）	（人）	（%）	（人）
行政区域	24,048	1,613	6.7	25,661	615	2.4	26,276	▲ 62	▲ 0.2	26,214	▲ 973	▲ 3.7	25,241
都市計画区域	24,048	1,613	6.7	25,661	615	2.4	26,276	▲ 62	▲ 0.2	26,214	▲ 973	▲ 3.7	25,241
用途地域指定区域	9,405	573	6.1	9,978	144	1.4	10,122	▲ 699	▲ 6.9	9,423	▲ 778	▲ 8.3	8,645
うちＤＩＤ区域	6,485	163	2.5	6,648	▲ 272	▲ 4.1	6,376	▲ 387	▲ 6.1	5,989			
用途地域指定外区域	14,643	1,040	7.1	15,683	471	3.0	16,154	637	3.9	16,791	▲ 195	▲ 1.2	16,596

資料：国勢調査

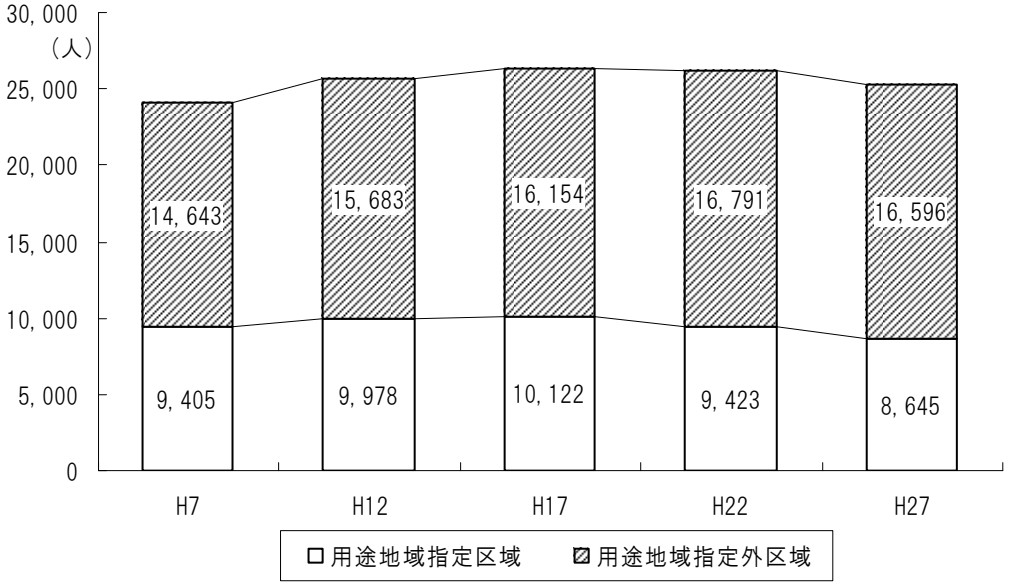


図１－１　人口推移

２）年齢・性別人口

平成27年の５歳階級別人口をみると、男女とも40～44歳、65～69歳の人口が多くなっており、これは第１次ベビーブーム及び第２次ベビーブームに該当する世代である。平成２年と平成 27 年を比較すると、つりがね型から壺型に移行していることがわかる。

年齢３区分別人口でみると、年少人口と生産年齢人口の割合は平成７年から平成 27 年まで一貫して減少し続け、老年人口の割合は増加し続けている。平成７年から平成27年までの21年間で年少人口が3,964人から3,591人（9.4%減）、老年人口が4,134人から6,891人（66.7%増）となっており、構成比でみると年少人口が16.5%から14.3%、老年人口が17.2%から27.4%と変化していることから、少子高齢化の進行がうかがえる。

表１－２　５歳階級別年齢・性別人口推移（行政区域）

単位：人

年	平成７年			平成12年			平成17年			平成22年			平成27年		
階層	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～ 4	1,181	605	576	1,350	696	654	1,348	723	625	1,265	634	631	1,034	565	469
5～ 9	1,312	685	627	1,256	643	613	1,297	682	615	1,286	681	605	1,262	632	630
10～14	1,471	767	704	1,394	725	669	1,265	654	611	1,264	664	600	1,295	690	605
年少人口	3,964	2,057	1,907	4,000	2,064	1,936	3,910	2,059	1,851	3,815	1,979	1,836	3,591	1,887	1,704
15～19	1,703	874	829	1,387	713	674	1,254	636	618	1,204	624	580	1,124	601	523
20～24	1,616	833	783	1,657	821	836	1,265	630	635	1,275	640	635	877	466	411
25～29	1,626	801	825	2,174	1,141	1,033	2,003	999	1,004	1,438	795	643	1,192	612	580
30～34	1,465	753	712	1,778	919	859	2,158	1,138	1,020	1,844	946	898	1,349	710	639
35～39	1,438	750	688	1,552	805	747	1,823	955	868	2,029	1,085	944	1,763	923	840
40～44	1,693	847	846	1,491	773	718	1,577	821	756	1,727	916	811	2,036	1,069	967
45～49	2,003	995	1,008	1,714	833	881	1,488	756	732	1,527	788	739	1,691	901	790
50～54	1,611	846	765	2,020	995	1,025	1,696	815	881	1,481	773	708	1,523	798	725
55～59	1,370	659	711	1,657	848	809	2,038	1,006	1,032	1,695	828	867	1,454	751	703
60～64	1,424	696	728	1,392	666	726	1,691	870	821	2,003	987	1,016	1,650	798	852
生産年齢人口	15,949	8,054	7,895	16,822	8,514	8,308	16,993	8,626	8,367	16,223	8,382	7,841	14,659	7,629	7,030
65～69	1,369	638	731	1,377	665	712	1,380	653	727	1,641	834	807	1,952	950	1,002
70～74	1,017	446	571	1,306	601	705	1,320	616	704	1,321	606	715	1,545	769	776
75～79	826	334	492	947	388	559	1,176	524	652	1,235	564	671	1,208	540	668
80～84	540	218	322	659	244	415	787	303	484	1,009	424	585	1,018	439	579
85～89	382	110	272	550	170	380	710	234	476	611	203	408	773	305	468
90～										359	85	274	395	93	302
老年人口	4,134	1,746	2,388	4,839	2,068	2,771	5,373	2,330	3,043	6,176	2,716	3,460	6,891	3,096	3,795
年齢不詳	1	1											100	69	31
総　計	24,048	11,858	12,190	25,661	12,646	13,015	26,276	13,015	13,261	26,214	13,077	13,137	25,241	12,681	12,560

資料：国勢調査

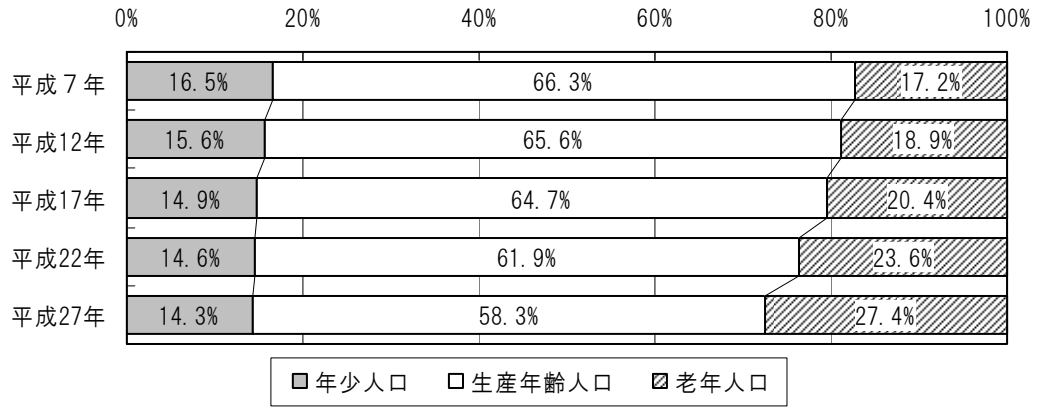
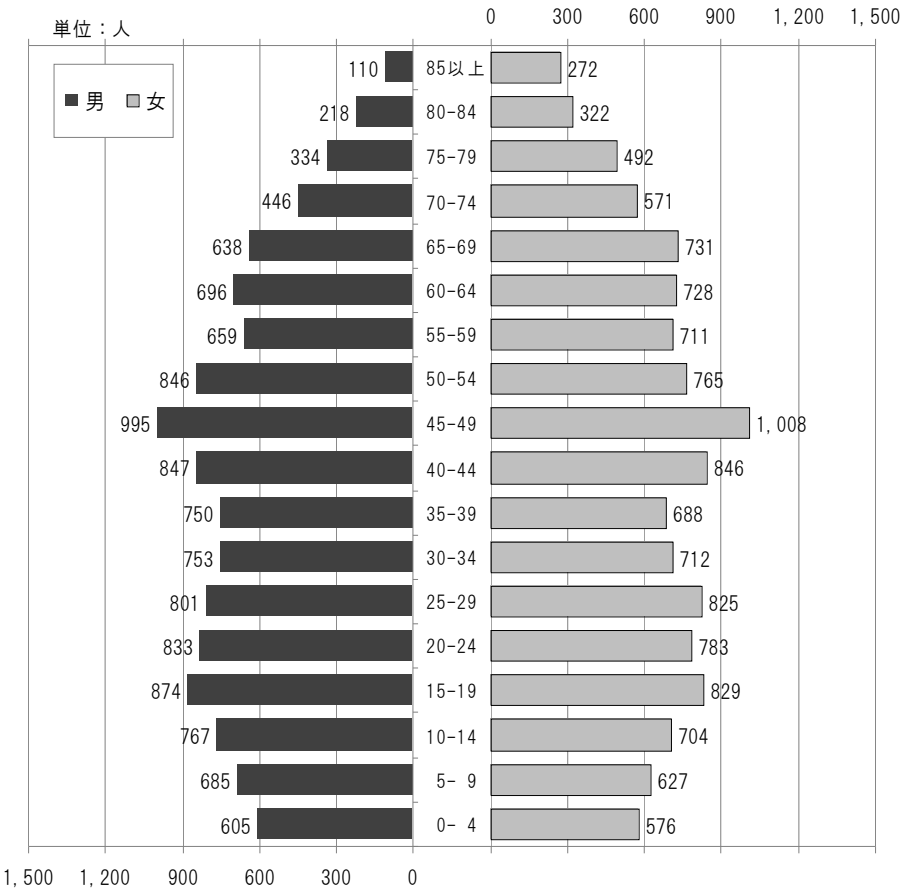


図１－２　年齢３区分別人口構成比推移（行政区域）

平成７年



平成 27 年

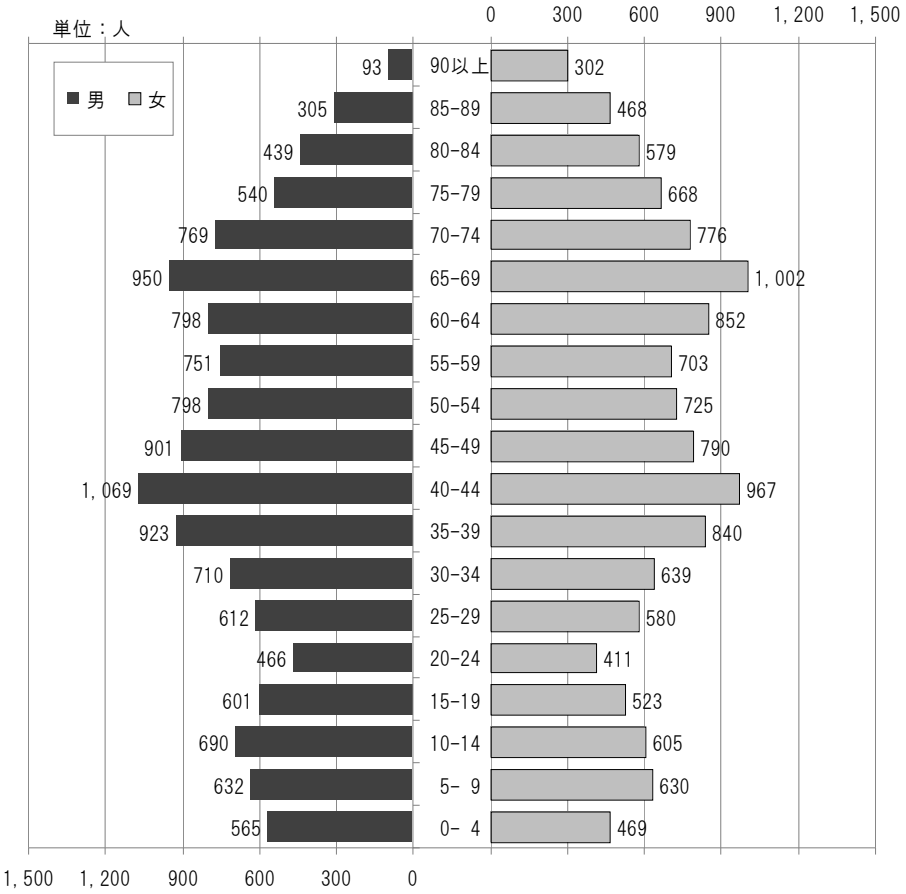


図１－３　５歳階級別年齢・性別人口（行政区域）

C0103　将来人口

国立社会保障・人口問題研究所による箕輪町の推計人口は減少が続き、平成 57 年には 17,330 人になると推計されている。年齢３区分別人口でみると、平成 27 年から平成 57 年の増減は年少人口が 2,032 人減(56.6%減)、生産年齢人口が 6,592 人減(45.0%減)、老年人口が 813 人増(11.8%増）となっている。

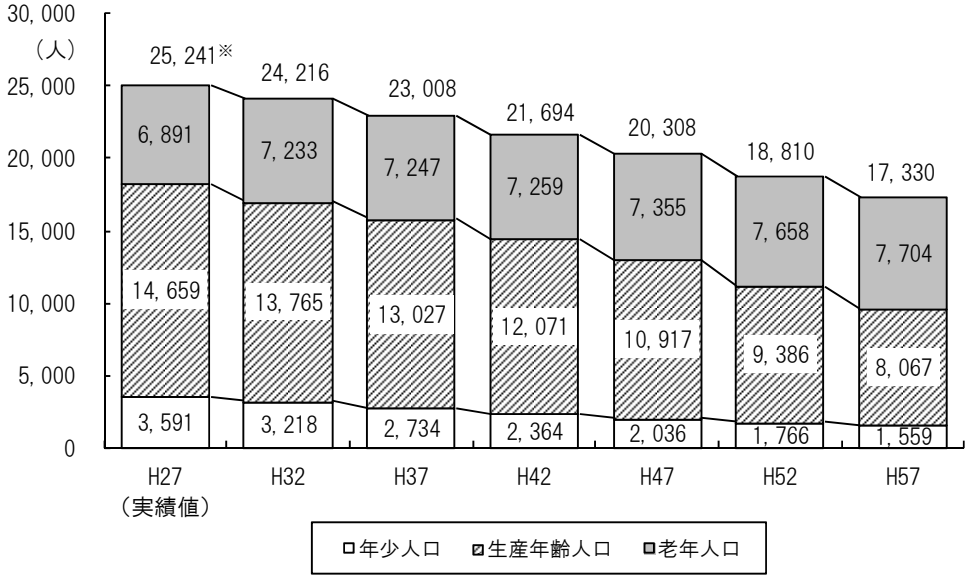
表１－３　５歳階級別人口推計

単位：人

	平成27年（実績値）			平成32年			平成37年			平成42年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～ 4	1,034	565	469	923	473	450	780	400	380	663	340	323
5～ 9	1,262	632	630	1,028	561	467	919	470	449	776	397	379
10～14	1,295	690	605	1,267	641	626	1,035	569	466	925	477	448
15～19	1,124	601	523	1,146	621	525	1,117	574	543	915	510	405
20～24	877	466	411	828	453	375	840	464	376	813	429	384
25～29	1,192	612	580	967	585	382	916	569	347	933	585	348
30～34	1,349	710	639	1,129	555	574	912	531	381	862	516	346
35～39	1,763	923	840	1,300	703	597	1,086	548	538	881	524	357
40～44	2,036	1,069	967	1,755	930	825	1,288	700	588	1,076	546	530
45～49	1,691	901	790	2,013	1,067	946	1,722	919	803	1,270	696	574
50～54	1,523	798	725	1,697	921	776	2,002	1,076	926	1,714	927	787
55～59	1,454	751	703	1,505	786	719	1,670	900	770	1,970	1,051	919
60～64	1,650	798	852	1,425	733	692	1,474	765	709	1,637	876	761
65～69	1,952	950	1,002	1,629	781	848	1,402	714	688	1,452	747	705
70～74	1,545	769	776	1,865	896	969	1,547	732	815	1,335	672	663
75～79	1,208	540	668	1,432	702	730	1,735	821	914	1,442	672	770
80～84	1,018	439	579	1,022	436	586	1,215	572	643	1,491	680	811
85～89	773	305	468	793	331	462	804	333	471	965	443	522
90歳以上	395	93	302	492	145	347	544	176	368	574	190	384
年齢不詳	100	69	31									
総　計	25,241	12,681	12,560	24,216	12,320	11,896	23,008	11,833	11,175	21,694	11,278	10,416

	平成47年			平成52年			平成57年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～ 4	593	304	289	511	262	249	457	234	223
5～ 9	661	338	323	590	302	288	508	260	248
10～14	782	403	379	665	343	322	594	306	288
15～19	817	428	389	691	362	329	586	307	279
20～24	670	382	288	596	320	276	503	270	233
25～29	894	539	355	743	478	265	655	401	254
30～34	879	531	348	843	489	354	696	432	264
35～39	834	510	324	852	525	327	814	482	332
40～44	875	523	352	828	508	320	846	524	322
45～49	1,061	543	518	865	521	344	817	505	312
50～54	1,272	708	564	1,063	554	509	869	531	338
55～59	1,686	905	781	1,254	694	560	1,049	543	506
60～64	1,929	1,021	908	1,651	880	771	1,232	678	554
65～69	1,612	855	757	1,900	997	903	1,627	859	768
70～74	1,384	704	680	1,538	807	731	1,813	941	872
75～79	1,248	619	629	1,298	651	647	1,444	748	696
80～84	1,243	558	685	1,080	518	562	1,130	549	581
85～89	1,206	537	669	1,009	442	567	888	417	471
90歳以上	662	240	422	833	307	526	802	287	515
年齢不詳									
総　計	20,308	10,648	9,660	18,810	9,960	8,850	17,330	9,274	8,056

資料：平成 27 年国勢調査、日本の地域別将来推計人口（平成 30 年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）



注）※について、実績値の総数に不詳を含む

図１－４　年齢３区分別将来推計人口

国勢調査を基本としたコーホート要因法以外の人口推計によると、推計方式により数値に幅はあるものの、将来の行政区域人口は増加傾向、用途地域指定区域人口は、減少傾向となった。

上位計画である第５次箕輪町総合計画における平成 37 年の将来目標人口は 24,800 人に設定されている。

表１－４　人口推計

単位：人

			平成27年（基準年次）	平成32年	平成37年（10年後）	平成42年	平成47年（20年後）
行政区域（都市計画区域）	実績値		25,241				
	上位計画	箕輪町第５次振興計画			24,800		
		国土利用計画箕輪町計画		28,000			
		箕輪町まち・ひと・しごと総合戦略			24,827		
		箕輪都市計画区域マスタープラン		26,100			
		箕輪町都市計画マスタープラン		31,000			
	推計値	コーホート要因法※		24,216	23,008	21,694	20,308
		等　差　式		25,539	25,837	26,135	26,433
		等　比　式		25,547	25,858	26,172	26,491
		一　次　式		26,358	26,648	26,938	27,228
		二　次　式		27,347	27,640	27,934	28,228
		指　数　式		26,390	26,703	27,020	27,340
		べき曲線式		26,972	27,404	27,818	28,216
用途地域指定区域	実績値		8,645				
	上位計画	箕輪町都市計画マスタープラン			9,840		
	推計値	等　差　式		8,455	8,265	8,075	7,885
		等　比　式		8,464	8,288	8,116	7,947
		一　次　式		8,899	8,694	8,489	8,284
		二　次　式		9,450	9,243	9,035	8,828
		指　数　式		8,877	8,678	8,484	8,295

資料：国勢調査、日本の地域別将来推計人口（平成 30 年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）

注）※は日本の地域別将来推計人口（平成 30 年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）の値

【人口推計参考資料】

平成７年から平成 27 年までの国勢調査人口を用いた、人口推計における回帰式及び一般式は以下のとおりである。

Ｙ：基準年次からｘまたはｎ年後における推計人口

ｘ：基準年次（H17　ｘ＝０）からの経過年数（15, 20, 25, 30, 35, 40）

ｎ：基準年次（H27）からの経過年数（5, 10, 15, 20, 25, 30）

	行政区域（都市計画区域）	用途地域指定区域
等差式	Ｙ＝25, 241+59. 6ｎ	Ｙ＝8, 645+(−38) ｎ
等比式	Ｙ＝25, 241×{1+0. 00242}^ｎ	Ｙ＝8, 645×{1+(−0. 0042)}^ｎ
一次式	Ｙ＝58ｘ+25, 488	Ｙ＝−41ｘ+9, 514
二次式	Ｙ＝0. 56921×250+58. 78ｘ+26, 323	Ｙ＝0. 20937×250+(−41. 5) ｘ+10, 021
指数式	Ｙ＝25, 474×1. 00236^ｘ	Ｙ＝9, 500×0. 99549^ｘ

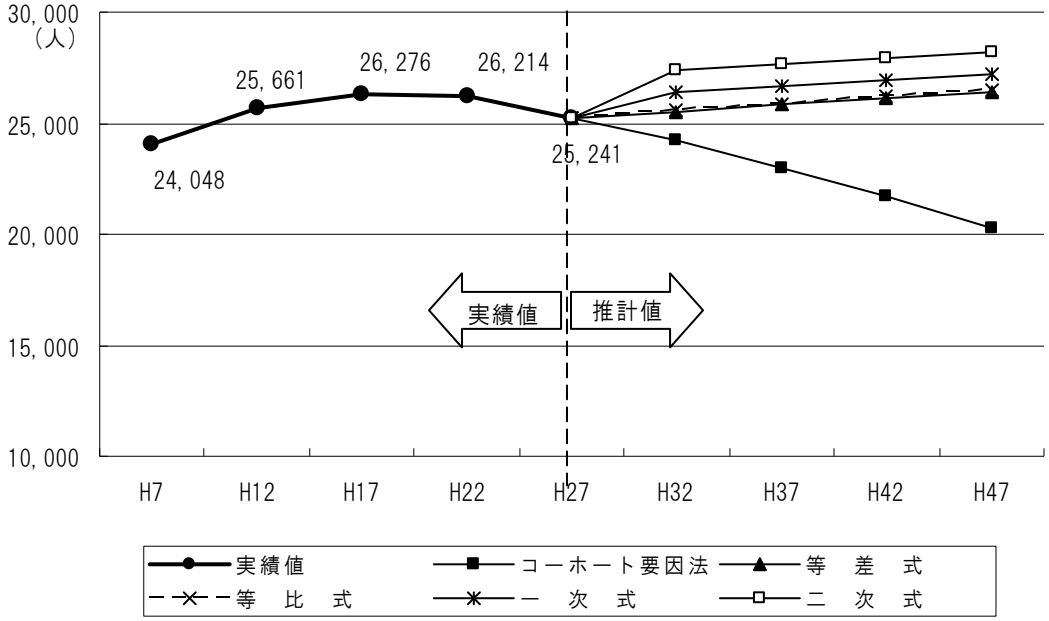


図１－５　人口の推移と将来推計（行政区域）

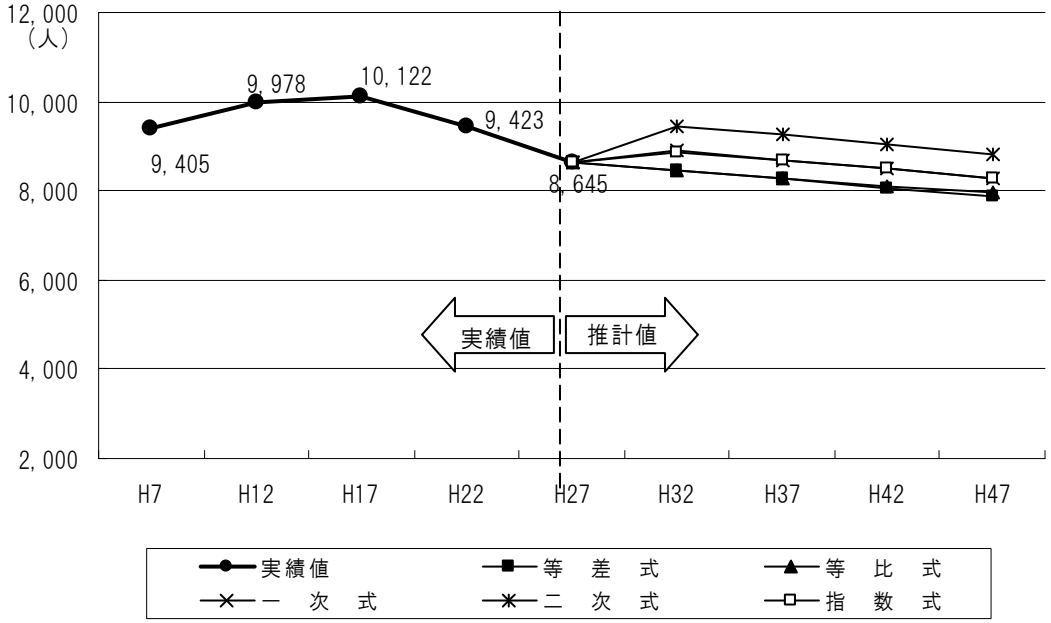


図１－６　人口の推移と将来推計（用途地域指定区域）

C0104　人口増減の内訳

行政区域の平成２年から平成 29 年までの 28 年間における人口増減数は 2,595 人増となっている。

自然動態については、平成 16 年までは自然増であったが、平成 17 年に出生数が死亡者数を下回ってからは、ほとんどの年で自然減の状態が続いている。

一方、社会動態については平成 16 年までは転入者が転出者を上回っていることから平成 22 年までは概ね社会増となっているが、平成 23 年以降は社会減となる年が多くなっている。

推移を累計値でみると、平成 20 年にピークを迎え 3,200 人まで高くなっていたが、それ以降は減少が続いている。

表１－５　人口動態推移

単位：人

		H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15
行政区域・都市計画区域	出生数	230	235	224	215	255	239	229	234	257	244	245	230	257	251
	死亡者数	163	176	161	157	137	162	180	195	197	197	192	207	200	226
	自然増	67	59	63	58	118	77	49	39	60	47	53	23	57	25
	転入者数	872	893	1,250	1,291	878	1,420	1,444	996	982	1,091	1,037	1,069	1,126	1,050
	転出者数	698	722	1,060	1,025	692	1,176	1,272	910	1,013	982	927	1,019	939	1,000
	社会増	174	171	190	266	186	244	172	86	▲ 31	109	110	50	187	50
	人口増加数	241	230	253	324	304	321	221	125	29	156	163	73	244	75
	累計	241	471	724	1,048	1,352	1,673	1,894	2,019	2,048	2,204	2,367	2,440	2,684	2,759
用途地域指定区域	出生数	91	93	89	85	101	93	90	92	101	95	95	89	100	98
	死亡者数	65	70	64	62	54	63	70	76	77	77	75	80	78	88
	自然増	26	23	25	23	47	30	20	16	24	18	20	9	22	10
	転入者数	345	354	495	511	348	555	565	390	384	427	403	416	438	408
	転出者数	276	286	420	406	274	460	497	356	396	384	360	396	365	389
	社会増	69	68	75	105	74	95	68	34	▲ 12	43	43	20	73	19
	人口増加数	95	91	100	128	121	125	88	50	12	61	63	29	95	29
	累計	95	186	286	414	535	660	748	798	810	871	934	963	1,058	1,087

		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
行政区域・都市計画区域	出生数	240	220	262	221	204	248	227	218	196	194	188	198	204	186
	死亡者数	203	224	205	240	205	238	280	270	248	265	274	265	248	279
	自然増	37	▲ 4	57	▲ 19	▲ 1	10	▲ 53	▲ 52	▲ 52	▲ 71	▲ 86	▲ 67	▲ 44	▲ 93
	転入者数	983	1,117	924	1,057	1,039	790	860	827	850	753	987	972	1,022	1,036
	転出者数	759	1,047	927	990	1,026	889	748	829	941	827	924	1,000	1,012	1,024
	社会増	224	70	▲ 3	67	13	▲ 99	112	▲ 2	▲ 91	▲ 74	63	▲ 28	10	12
	人口増加数	261	66	54	48	12	▲ 89	59	▲ 54	▲ 143	▲ 145	▲ 23	▲ 95	▲ 34	▲ 81
	累計	3,020	3,086	3,140	3,188	3,200	3,111	3,170	3,116	2,973	2,828	2,805	2,710	2,676	2,595
用途地域指定区域	出生数	93	85	101	85	79	96	82	78	70	70	68	68	70	64
	死亡者数	79	86	79	92	79	92	101	97	89	95	98	91	85	96
	自然増	14	▲ 1	22	▲ 7	0	4	▲ 19	▲ 19	▲ 19	▲ 26	▲ 31	▲ 23	▲ 15	▲ 32
	転入者数	382	430	356	407	400	304	309	297	306	271	355	333	350	355
	転出者数	295	403	357	381	395	342	269	298	338	297	332	342	347	351
	社会増	87	27	▲ 1	26	5	▲ 38	40	▲ 1	▲ 33	▲ 27	23	▲ 10	3	4
	人口増加数	101	26	21	19	5	▲ 34	21	▲ 20	▲ 51	▲ 52	▲ 8	▲ 33	▲ 12	▲ 28
	累計	1,188	1,214	1,235	1,254	1,259	1,225	1,246	1,226	1,069	1,017	1,008	928	917	889

資料：住民基本台帳年報（箕輪町町勢要覧）

注１）用途地域の人口動態数は、行政区域に占める人口の割合により按分した値

注２）平成 23 年以前は各年度４月１日から３月 31 日の値、平成 24 年以降は各年１月１日から 12 月 31 日の値

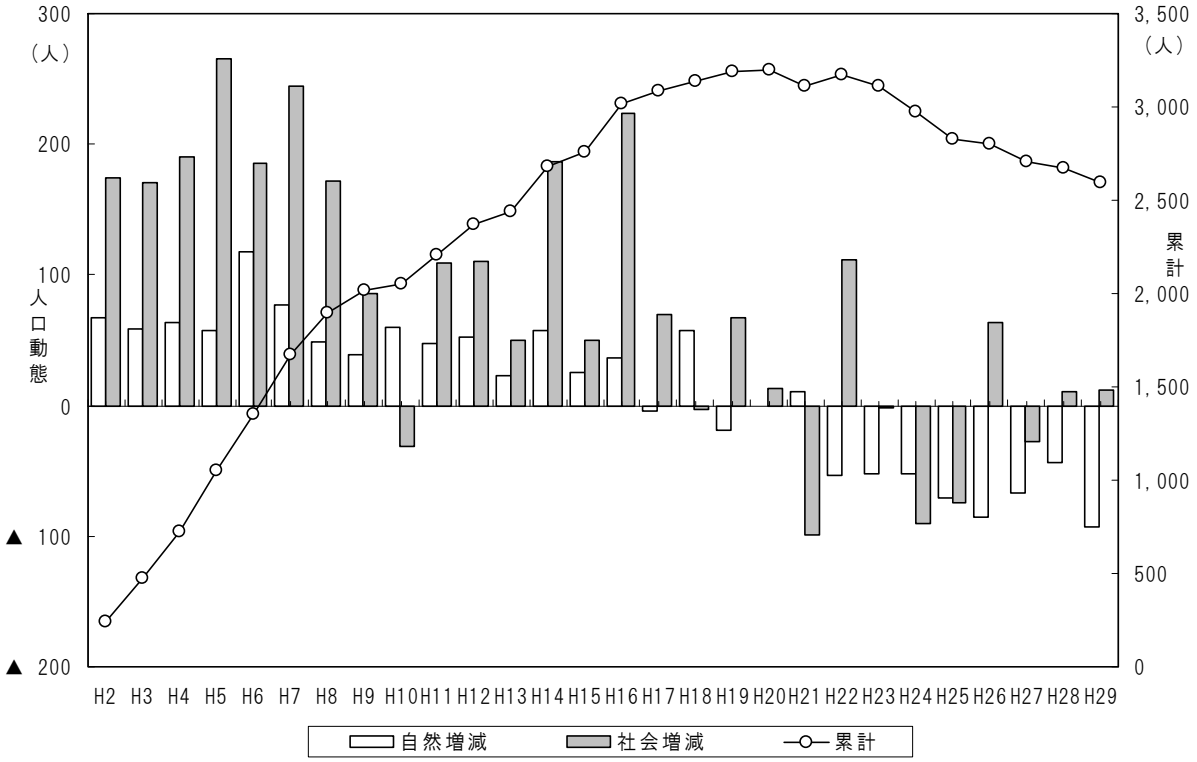


図１－７　人口動態の推移（行政区域）

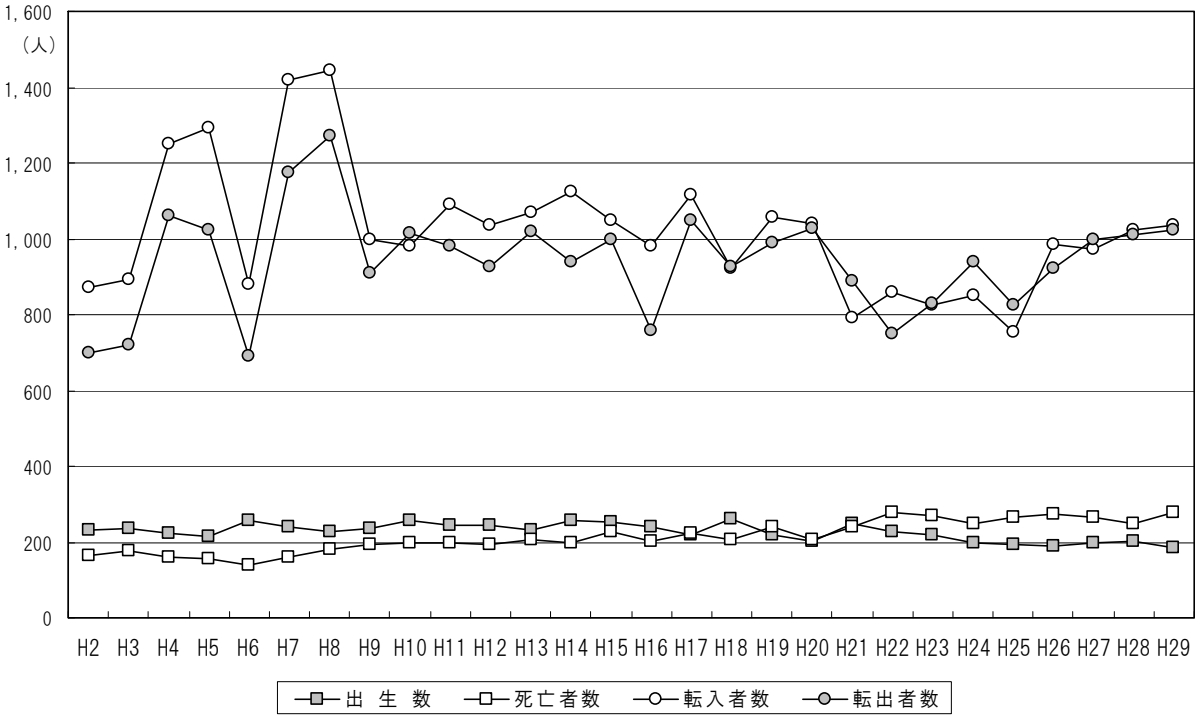


図１－８　人口動態の推移内訳（行政区域）

C0105　通勤・通学移動

平成７年から平成 27 年までの就業者による流出・流入人口をみると、常住地及び従業地による従業・通学者数はともに平成 12 年をピークに減少に転じている。平成 27 年の常住地による就業・通学者数は 13,981 人、従業地による就業・通学者数は 13,390 人となっており、平成７年と比較するとともに約 1,200 人程度の減少が見られる。

平成７年と平成 27 年の流出先・流入先を市町村別に見ると、流出先・流入先ともに第１位から第３位までは伊那市、辰野町、南箕輪村の順であり、20 年間順位は変わらない。流出者数は増加傾向にあるものの、流入者数はやや減少傾向にある。

また、平成 27 年における流出・流入率は、順に 46.7%、44.2%と流出が流入を上回っている。

表１－６　流出・流入別人口推移

	常住地による従業･通学者数（人）	流出		従業･通学地による従業･通学者数（人）	流入		従／常
		従業･通学者数（人）	流出率（%）		従業･通学者数（人）	流入率（%）	従業･通学者比率（%）
平成７年	15,194	5,836	38.4	14,695	5,337	36.3	96.7
平成12年	15,878	5,988	37.7	15,914	6,024	37.9	100.2
平成17年	15,413	6,288	40.8	14,907	5,776	38.7	96.7
平成22年	14,772	6,641	45.0	14,765	6,199	42.0	99.95
平成27年	13,981	6,533	46.7	13,390	5,924	44.2	95.8

表１－７　市町村別流出・流入先人口推移

	流出先								
	流出率第１位			流出率第２位			流出率第３位		
	市町村名	流出者数(人)	流出率(%)	市町村名	流出者数(人)	流出率(%)	市町村名	流出者数(人)	流出率(%)
平成７年	伊 那 市	1,983	13.1	辰 野 町	1,257	8.3	南箕輪村	696	4.6
平成12年	〃	1,991	12.5	〃	1,353	8.5	〃	699	4.4
平成17年	〃	2,134	13.8	〃	1,268	8.2	〃	798	5.2
平成22年	〃	2,239	15.2	〃	1,295	8.8	〃	792	5.4
平成27年	〃	2,341	16.7	〃	1,351	9.7	〃	847	6.1

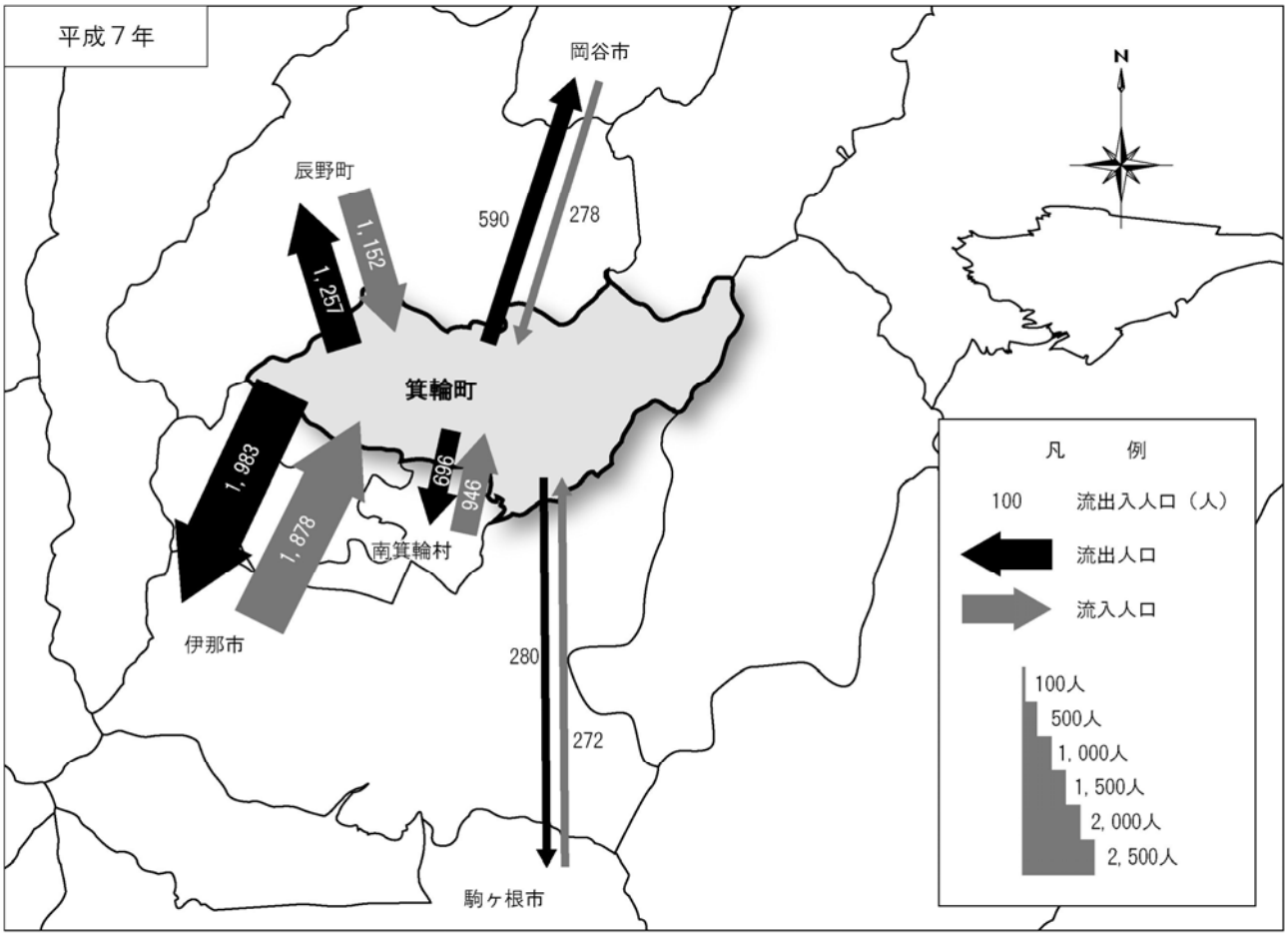
	流出先					
	流出率第４位			流出率第５位		
	市町村名	流出者数(人)	流出率(%)	市町村名	流出者数(人)	流出率(%)
平成７年	岡 谷 市	590	3.9	駒ヶ根市	280	1.8
平成12年	〃	588	3.7	〃	292	1.8
平成17年	〃	629	4.1	〃	285	1.8
平成22年	〃	495	3.4	松 本 市	284	1.9
平成27年	〃	454	3.2	駒ヶ根市	288	2.1

	流入先								
	流入率第１位			流入率第２位			流入率第３位		
	市町村名	流入者数(人)	流入率(%)	市町村名	流入者数(人)	流入率(%)	市町村名	流入者数(人)	流入率(%)
平成７年	伊 那 市	1,878	12.8	辰 野 町	1,152	7.8	南箕輪村	946	6.4
平成12年	〃	2,119	13.3	〃	1,277	8.0	〃	1,118	7.0
平成17年	〃	2,152	14.4	〃	1,184	7.9	〃	1,019	6.8
平成22年	〃	2,515	17.0	〃	1,183	8.0	〃	1,140	7.7
平成27年	〃	2,424	18.1	〃	1,105	8.3	〃	1,051	7.8

	流入先					
	流入率第４位			流入率第５位		
	市町村名	流入者数(人)	流入率(%)	市町村名	流入者数(人)	流入率(%)
平成７年	岡 谷 市	278	1.9	駒ヶ根市	272	1.9
平成12年	駒ヶ根市	308	1.9	岡 谷 市	296	1.9
平成17年	〃	300	2.0	〃	247	1.7
平成22年	〃	281	1.9	〃	260	1.8
平成27年	〃	285	2.1	〃	236	1.8

資料：国勢調査

注１）常住地による就業者数とは、当該都市に常住する（夜間人口ベース）就業者数を言う
　　従業地による就業者数とは、当該都市に従業する（昼間人口ベース）就業者数を言う
注２）流出率＝流出就業者数／常住地による就業者数×100
　　流入率＝流入就業者数／従業地による就業者数×100
注３）（従／常）就業者比率＝従業地による就業者数／常住地による就業者数×100


平成７年
岡谷市
辰野町
590
278
1,152
1,257
箕輪町
1,983
1,878
696
946
南箕輪村
伊那市
280
272
駒ヶ根市
N
凡　例
100　流出入人口（人）
流出人口
流入人口
100人
500人
1,000人
1,500人
2,000人
2,500人

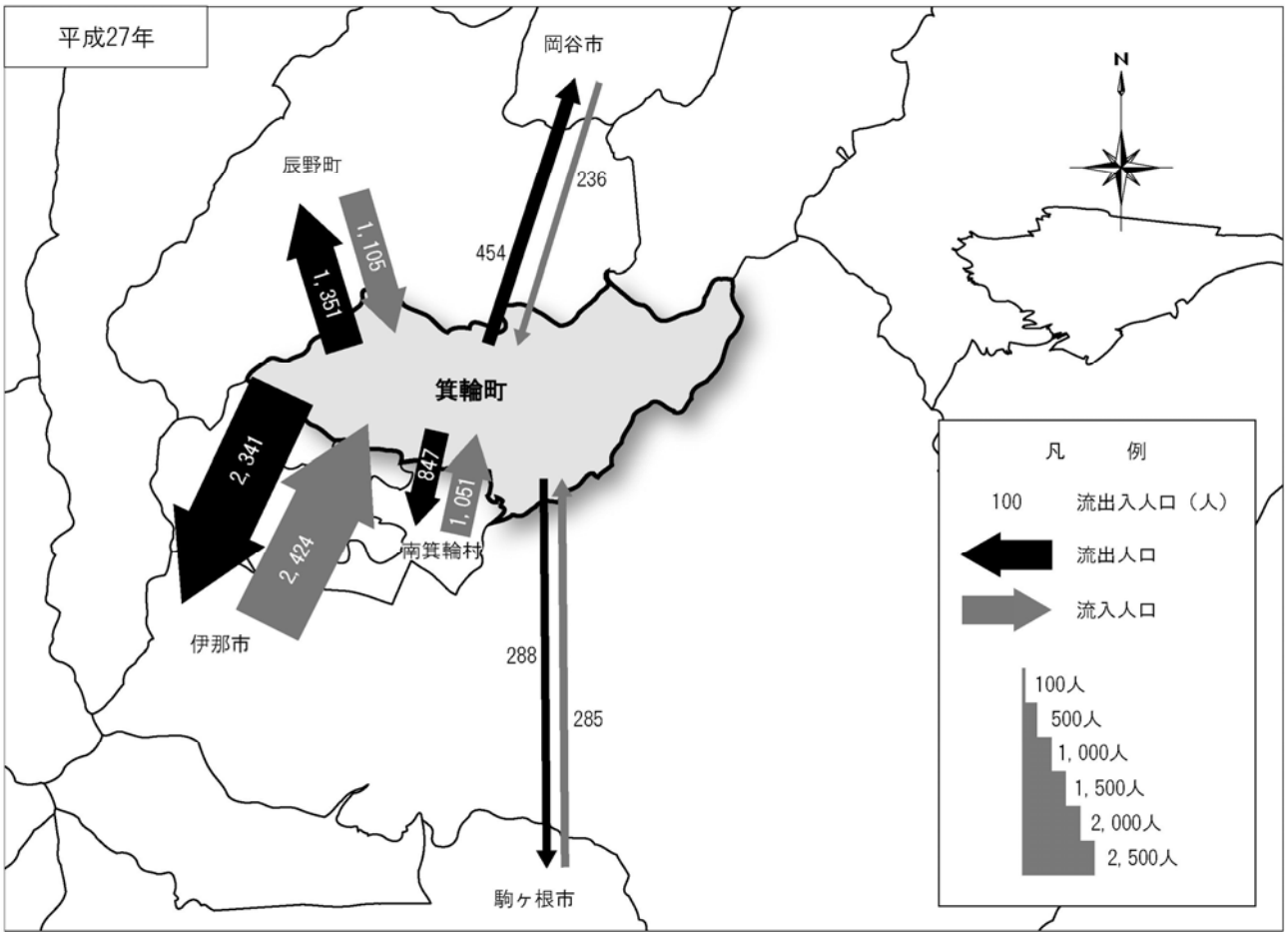

平成27年
岡谷市
辰野町
236
454
1,105
1,351
箕輪町
2,341
2,424
847
1,051
南箕輪村
伊那市
288
285
駒ヶ根市
N
凡　例
100　流出入人口（人）
流出人口
流入人口
100人
500人
1,000人
1,500人
2,000人
2,500人

図１－９　流出・流入人口

② 産　業

C0201　産業・職業大分類別就業者数

C0201-1　産業大分類別就業者数

常住地による産業人口の推移は、平成 12 年に 14,659 人とピークを迎えてから減少傾向が続いている。産業大分類別就業者数は、第１次産業人口と第２次産業人口は減少傾向、第３次産業人口は増加傾向にある。

従業地による産業人口及び産業大分類別就業者数の推移についても、常住地と同様に減少傾向にある。

表２－１　常住地による産業大分類別就業者数推移

産業大分類	平成７年		平成12年		平成17年	
	就業者数（人）	構成比（%）	就業者数（人）	構成比（%）	就業者数（人）	構成比（%）
Ａ．農　業	1,537	11.2	1,321	9.0	1,278	8.9
Ｂ．林業、狩猟業	8	0.06	8	0.05	5	0.03
Ｃ．漁業、水産養殖業	1	0.01	－	－	－	－
第１次産業合計	1,546	11.3	1,329	9.1	1,283	9.0
Ｄ．鉱　業	2	0.01	7	0.05	2	0.01
Ｅ．建設業	1,204	8.8	1,165	7.9	935	6.5
Ｆ．製造業	6,219	45.5	6,972	47.6	6,319	44.2
第２次産業合計	7,425	54.3	8,144	55.6	7,256	50.7
Ｇ．卸売業・小売業	1,798	13.2	1,856	12.7	1,614	11.3
Ｈ．金融・保険業	209	1.5	183	1.2	158	1.1
Ｉ．不動産業	26	0.2	36	0.2	50	0.3
Ｊ．運輸・通信業	428	3.1	464	3.2	531	3.7
Ｋ．電気・ガス・水道業	31	0.2	34	0.2	31	0.2
Ｌ．サービス業	1,955	14.3	2,377	16.2	3,132	21.9
Ｍ．公　務	238	1.7	236	1.6	242	1.7
第３次産業合計	4,685	34.3	5,186	35.4	5,758	40.2
Ｎ．分類不能の産業	11	0.1	－	－	14	0.1
合　　計	13,667	100.0	14,659	100.0	14,311	100.0

産業大分類	平成22年		平成27年	
	就業者数（人）	構成比（%）	就業者数（人）	構成比（%）
Ａ．農業、林業	971	7.1	916	7.1
うち農業	959	7.1	901	7.0
Ｂ．漁業	－	－	－	－
第１次産業合計	971	7.1	916	7.1
Ｃ．鉱業、採石業、砂利採取業	2	0.01	2	0.02
Ｄ．建設業	787	5.8	752	5.8
Ｅ．製造業	5,233	38.5	5,046	39.0
第２次産業合計	6,022	44.3	5,800	44.8
Ｆ．電気・ガス・熱供給・水道業	36	0.3	39	0.3
Ｇ．情報通信業	69	0.5	68	0.5
Ｈ．運輸業、郵便業	449	3.3	457	3.5
Ｉ．卸売業、小売業	1,461	10.7	1,467	11.3
Ｊ．金融業、保険業	146	1.1	148	1.1
Ｋ．不動産業、物品賃貸業	73	0.5	73	0.6
Ｌ．学術研究、専門・技術サービス業	253	1.9	205	1.6
Ｍ．宿泊業、飲食サービス業	475	3.5	471	3.6
Ｎ．生活関連サービス業、娯楽業	328	2.4	361	2.8
Ｏ．教育、学習支援業	423	3.1	429	3.3
Ｐ．医療、福祉	1,054	7.8	1,300	10.0
Ｑ．複合サービス事業	100	0.7	123	1.0
Ｒ．サービス業（他に分類されないもの）	469	3.5	523	4.0
Ｓ．公務（他に分類されるものを除く）	261	1.9	286	2.2
第３次産業合計	5,597	41.2	5,950	46.0
Ｔ．分類不能の産業	1,001	7.4	272	2.1
合　　計	13,591	100.0	12,938	100.0

資料：国勢調査

注）「－」は該当数値なし

表２－２　従業地による産業大分類別就業者数推移

産業大分類	平成７年		平成12年	
	就業者数（人）	構成比（%）	就業者数（人）	構成比（%）
A．農業	1,566	11.2	1,355	8.8
B．林業	3	0.02	6	0.04
C．漁業	－	－	－	－
第１次産業合計	1,569	11.2	1,361	8.9
D．鉱業	－	－	1	0.01
E．建設業	980	7.0	1,041	6.8
F．製造業	7,341	52.5	8,381	54.6
第２次産業合計	8,321	59.5	9,423	61.4
G．電気・ガス・熱供給・水道業	27	0.2	39	0.3
H．運輸・通信業	382	2.7	418	2.7
I．卸売・小売業、飲食店	1,570	11.2	1,736	11.3
J．金融・保険業	124	0.9	140	0.9
K．不動産業	32	0.2	31	0.2
L．サービス業	1,744	12.5	1,993	13.0
M．公務（他に分類されないもの）	201	1.4	200	1.3
第３次産業合計	4,080	29.2	4,557	29.7
N．分類不能の産業	10	0.07	4	0.03
合　　計	13,980	100.0	15,345	100.0

産業大分類	平成17年	
	就業者数（人）	構成比（%）
A．農業	1,291	9.0
B．林業	2	0.01
C．漁業	－	－
第１次産業合計	1,293	9.0
D．鉱業	－	－
E．建設業	854	5.9
F．製造業	7,201	50.0
第２次産業合計	8,055	56.0
G．電気・ガス・熱供給・水道業	30	0.2
H．情報通信業	46	0.3
I．運輸業	429	3.0
J．卸売・小売業	1,464	10.2
K．金融・保険業	130	0.9
L．不動産業	44	0.3
M．飲食店，宿泊業	379	2.6
N．医療，福祉	670	4.7
O．教育，学習支援業	353	2.5
P．複合サービス事業	143	1.0
Q．サービス業（他に分類されないもの）	1,126	7.8
R．公務（他に分類されないもの）	207	1.4
第３次産業合計	5,021	34.9
S．分類不能の産業	22	0.2
合　　計	14,391	100.0

資料：国勢調査

注）「－」は該当数値なし

産 業 大 分 類	平成22年		平成27年	
	就業者数（人）	構成比（%）	就業者数（人）	構成比（%）
A．農業，林業	996	7.1	930	7.2
うち農業	994	7.0	921	7.2
B．漁業	－	－	－	－
第１次産業合計	996	7.1	930	7.2
C．鉱業，採石業，砂利採取業	1	0.01	1	0.01
D．建設業	674	4.8	643	5.0
E．製造業	6,196	43.9	5,570	43.3
第２次産業合計	6,871	48.7	6,214	48.3
F．電気・ガス・熱供給・水道業	29	0.2	27	0.2
G．情報通信業	30	0.2	28	0.2
H．運輸業，郵便業	505	3.6	532	4.1
I．卸売業，小売業	1,535	10.9	1,430	11.1
J．金融業，保険業	118	0.8	115	0.9
K．不動産業，物品賃貸業	76	0.5	61	0.5
L．学術研究，専門・技術サービス業	190	1.3	170	1.3
M．宿泊業，飲食サービス業	451	3.2	470	3.7
N．生活関連サービス業，娯楽業	296	2.1	342	2.7
O．教育，学習支援業	358	2.5	364	2.8
P．医療，福祉	978	6.9	1,153	9.0
Q．複合サービス事業	99	0.7	100	0.8
R．サービス業（他に分類されないもの）	400	2.8	415	3.2
S．公務（他に分類されるものを除く）	229	1.6	245	1.9
第３次産業合計	5,294	37.5	5,452	42.4
T．分類不能の産業	957	6.8	265	2.1
合　　計	14,118	100.0	12,861	100.0

資料：国勢調査

注）「－」は該当数値なし

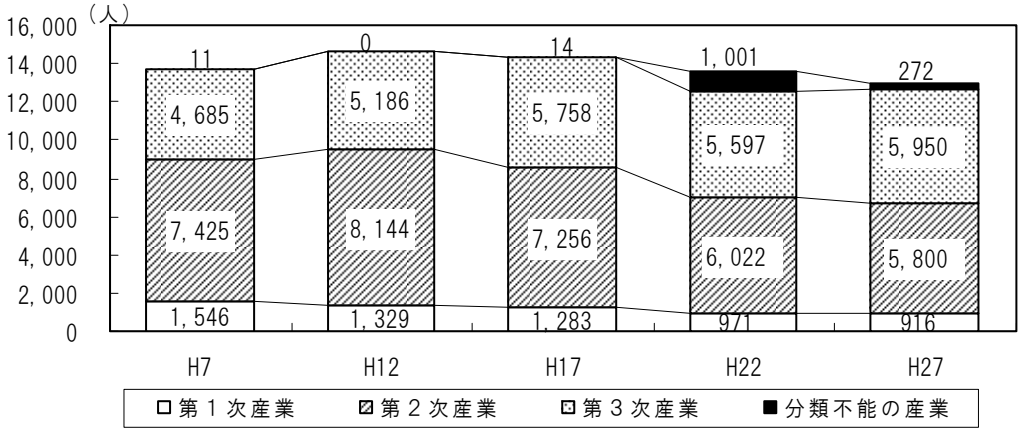


図２－１　常住地による産業３区分別人口推移

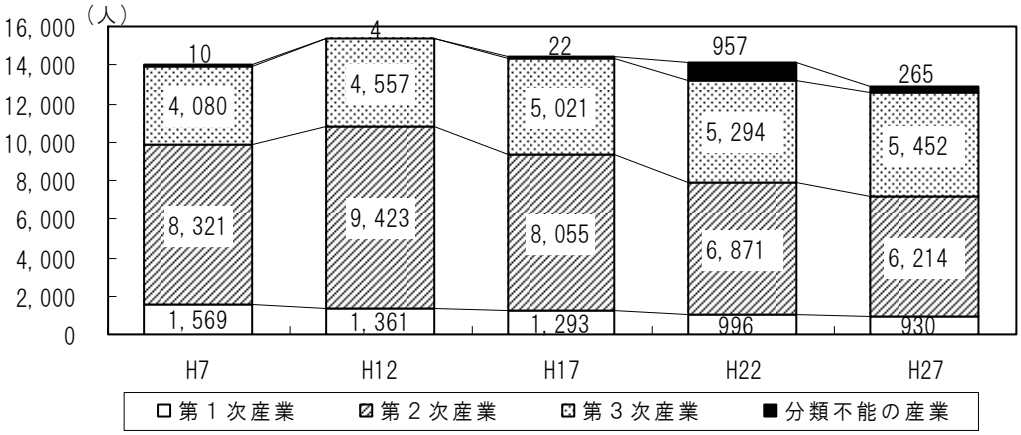


図２－２　従業地による産業３区分別人口推移

産業３区分別人口推計

常住地による産業３区分別人口推計によると、推計方式により数値に幅はあるものの第１次産業人口及び第２次産業人口は減少傾向、第３次産業人口は増加傾向にあることが推測される。

構成比をみると、平成 27 年では第１次産業人口は 7.1%、第２次産業人口は 44.8%、第３次産業人口は 46.0%であるが、指数式による平成 47 年の推計値は、順に 4.3%、33.5%、62.2%となることが推測される。

表２－３　常住地による産業３区分別人口推計

単位：人

第１次産業人口		H７	H12	H17	H22	H27	H32	H37	H42	H47
実　績　値		1,546	1,329	1,283	971	916				
推計値	等　差　式						759	601	444	286
	等　比　式						804	705	619	543
	指　数　式						782	680	592	515
	一　次　式						711	547	382	218
	二　次　式						691	508	319	125
	片対数トレンド						747	613	485	363

第２次産業人口		H７	H12	H17	H22	H27	H32	H37	H42	H47
実　績　値		7,425	8,144	7,256	6,022	5,800				
推計値	等　差　式						5,394	4,988	4,581	4,175
	等　比　式						5,453	5,126	4,819	4,531
	指　数　式						5,287	4,829	4,410	4,028
	一　次　式						5,134	4,515	3,896	3,278
	片対数トレンド						5,284	4,783	4,306	3,852

第３次産業人口		H７	H12	H17	H22	H27	H32	H37	H42	H47
実　績　値		4,685	5,186	5,758	5,597	5,950				
推計値	等　差　式						6,266	6,583	6,899	7,215
	等　比　式						6,316	6,705	7,118	7,557
	指　数　式						6,376	6,720	7,083	7,466
	一　次　式						6,300	6,580	6,861	7,142
	二　次　式						5,649	5,326	4,829	4,161
	片対数トレンド						6,248	6,480	6,701	6,912

資料：国勢調査

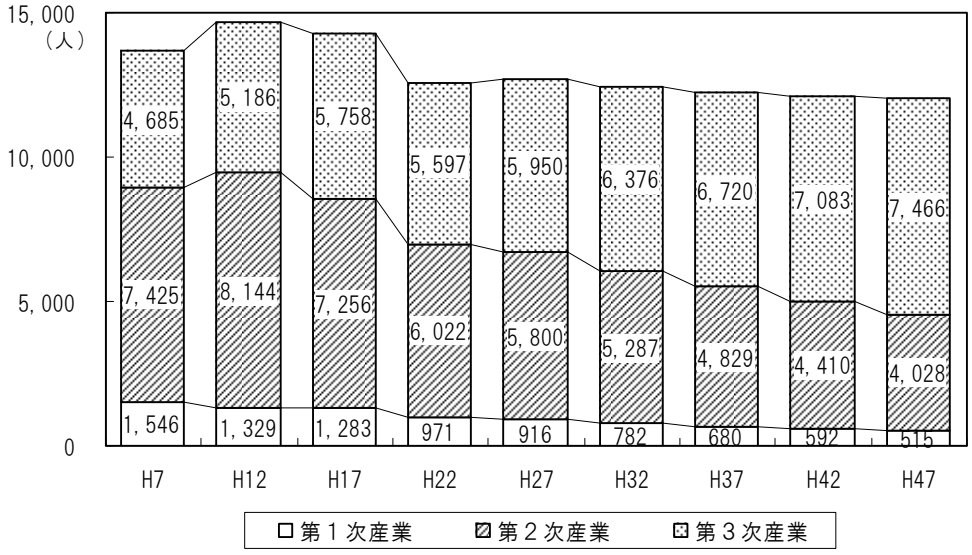


図２－３　常住地による産業３区分別人口推計（指数式による）

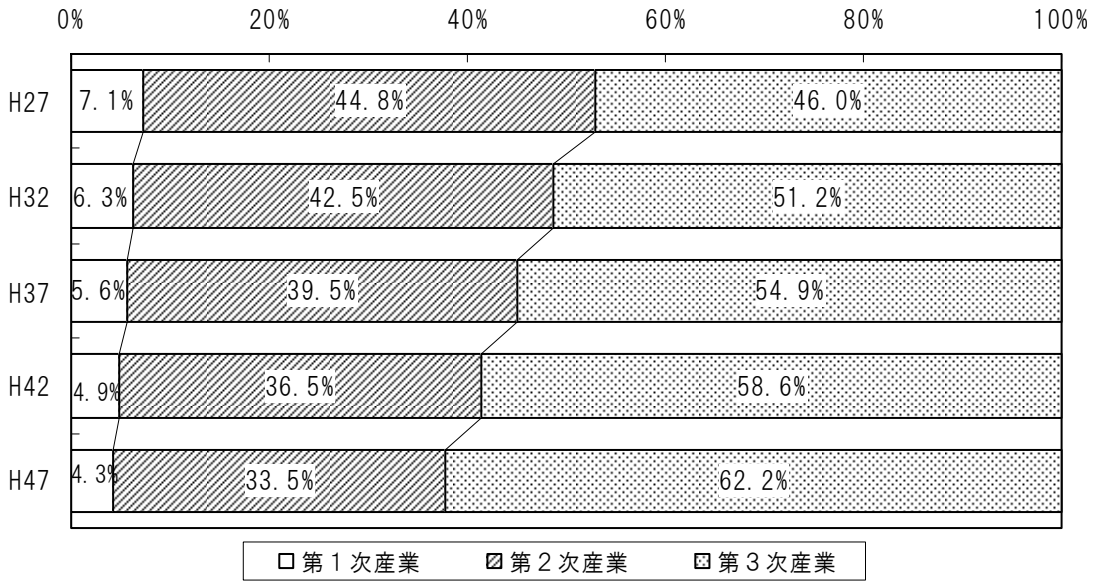


図２－４　常住地による産業３区分別人口推計構成比（指数式による）

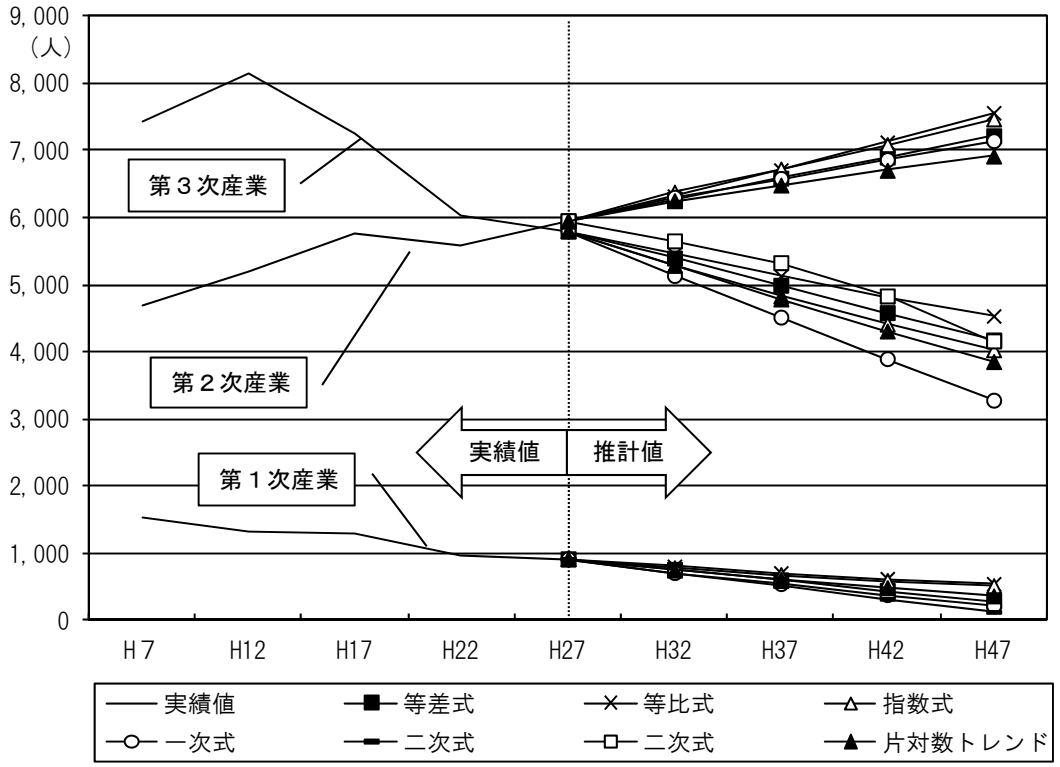


図２－５　常住地による産業３区分別人口推計

C0201-2　職業大分類別就業者数

平成 27 年の職業大分類別人口をみると、常住地・従業地ともに、生産工程従事者が約 30%程度を占めている。常住地と従業地での職業大分類別就業者数の比較をすると、生産工程従業者の次に多い職業は順に事務従事者、専門的・技術的職業従事者であり、構成比も概ね同様の傾向が見られる。

表２－４　常住地による職業大分類別就業者数推移

職業大分類	平成７年		平成12年		平成17年	
	就業者数（人）	構成比（%）	就業者数（人）	構成比（%）	就業者数（人）	構成比（%）
A．専門的・技術的職業従事者	1,219	8.9	1,425	9.7	1,316	9.2
B．管理的職業従事者	466	3.4	333	2.3	302	2.1
C．事務従事者	1,795	13.1	1,974	13.5	2,086	14.6
D．販売従事者	1,146	8.4	1,248	8.5	1,178	8.2
E．F．農林・漁業従事者	1,564	11.4	1,317	9.0	1,283	9.0
G．採鉱・採石作業者	－	－	－	－	－	－
H．運輸・通信従事者	285	2.1	296	2.0	295	2.1
I．技能工・生産工程作業者及び、単純労働者	6,438	47.1	7,205	49.2	6,808	47.6
J．保安職業従事者	54	0.4	59	0.4	80	0.6
K．サービス従事者	688	5.0	802	5.5	949	6.6
L．分類不能の職業	12	0.1	－	－	14	0.1
合　　計	13,667	100.0	14,659	100.0	14,311	100.0

職業大分類	平成22年		平成27年	
	就業者数（人）	構成比（%）	就業者数（人）	構成比（%）
A．管理的職業従事者	294	2.2	289	2.2
B．専門的・技術的職業従事者	1,572	11.6	1,855	14.3
C．事務従事者	1,855	13.6	1,913	14.8
D．販売従事者	1,109	8.2	1,150	8.9
E．サービス職業従事者	1,069	7.9	1,213	9.4
F．保安職業従事者	83	0.6	95	0.7
G．農林漁業従事者	951	7.0	890	6.9
H．生産工程従事者	4,139	30.5	3,757	29.0
I．輸送・機械運転従事者	290	2.1	305	2.4
J．建設・採掘従事者	464	3.4	419	3.2
K．運搬・清掃・包装等従事者	763	5.6	800	6.2
L．分類不能の職業	1,002	7.4	252	1.9
合　　計	13,591	100.0	12,938	100.0

資料：国勢調査

注１）「－」は該当数値なし

表２－５　従業地による職業大分類別就業者数推移

職業大分類	平成７年	
	就業者数(人)	構成比(%)
A．専門的・技術的職業従事者	1,117	8.0
B．管理的職業従事者	445	3.2
C．事務従事者	1,737	12.4
D．販売従事者	1,007	7.2
E．サービス職業従事者	536	3.8
F．保安職業従事者	49	0.4
G．農林漁業従事者	1,592	11.4
H．運輸・通信従事者	271	1.9
I．技能工、採掘・製造・建築作業者及び労務作業者	7,215	51.6
J．分類不能の職業	11	0.1
合　　計	13,980	100.0

職業大分類	平成12年		平成17年	
	就業者数(人)	構成比(%)	就業者数(人)	構成比(%)
A．専門的・技術的職業従事者	1,288	8.4	1,222	8.5
B．管理的職業従事者	360	2.3	309	2.1
C．事務従事者	1,977	12.9	1,958	13.6
D．販売従事者	1,144	7.5	1,073	7.5
E．サービス職業従事者	683	4.5	816	5.7
F．保安職業従事者	54	0.4	64	0.4
G．農林漁業作業者	1,340	8.7	1,283	8.9
H．運輸・通信従事者	286	1.9	263	1.8
I．生産工程・労務作業者	8,209	53.5	7,380	51.3
J．分類不能の職業	4	0.03	23	0.2
合　　計	15,345	100.0	14,391	100.0

職業大分類	平成22年		平成27年	
	就業者数(人)	構成比(%)	就業者数(人)	構成比(%)
A．管理的職業従事者	303	2.1	302	2.3
B．専門的・技術的職業従事者	1,536	10.9	1,711	13.3
C．事務従事者	1,902	13.5	1,859	14.5
D．販売従事者	1,116	7.9	1,076	8.4
E．サービス職業従事者	1,012	7.2	1,110	8.6
F．保安職業従事者	56	0.4	56	0.4
G．農林漁業従事者	958	6.8	900	7.0
H．生産工程従事者	4,734	33.5	4,037	31.4
I．輸送・機械運転従事者	333	2.4	338	2.6
J．建設・採掘従事者	378	2.7	365	2.8
K．運搬・清掃・包装等従事者	837	5.9	855	6.6
L．分類不能の職業	953	6.8	252	2.0
合　　計	14,118	100.0	12,861	100.0

資料：国勢調査

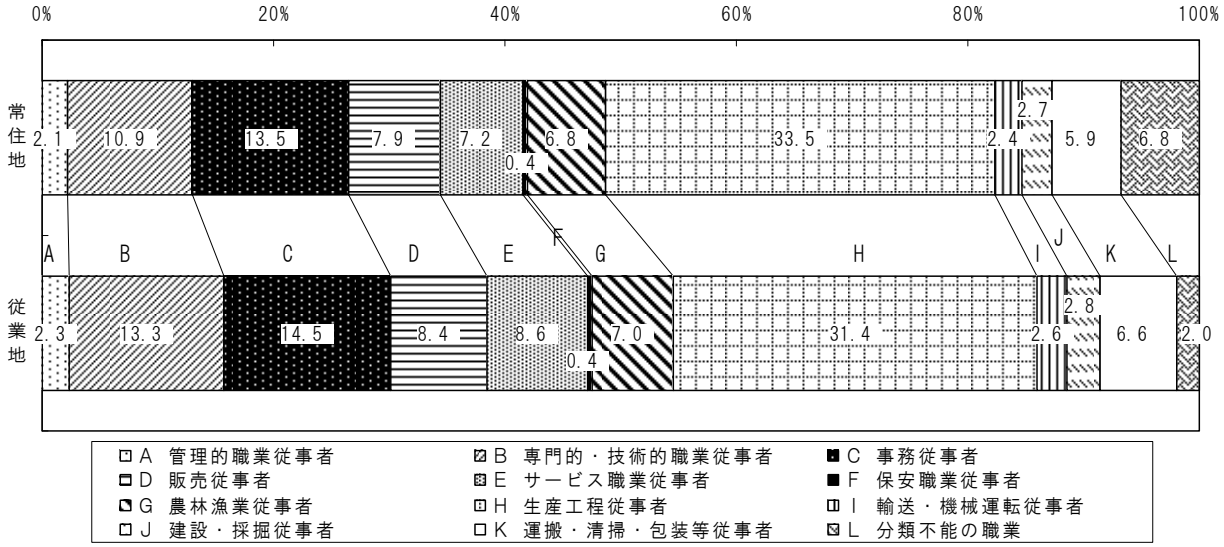


図２－６　職業大分類別人口構成比（平成27年）

C0202　事業所数・従業者数・売上金額

C0202-1　事業所数・従業者数・売上金額

平成 28 年における事業所数は 1,068 事業所であり、そのうち製造業が 281 事業所（26.3%）、卸売業，小売業が 226 事業所（21.2%）、宿泊業，飲食サービス業が 119 事業所（11.1%）、建設業が 114 事業所（10.7%）となっている。従業者数については製造業が 5,545 人（47.5%）と最も多くを占めている。

平成８年から平成 28 年までの事業所数と従業者数の推移をみると、両者とも概ね減少傾向にあり、平成８年と比較して事業所数は 236 事業所減（18.1%減）、従業者数は 996 人減（7.9%減）となっている。

表２－６　産業大分類別事業所数・従業者数推移及び売上金額

産業大分類	平成８年		平成11年		平成13年	
	事業所数	従業者数（人）	事業所数	従業者数（人）	事業所数	従業者数（人）
A．B．C．農林水産業	4	53	4	26	4	23
D．鉱業	－	－	－	－	－	－
E．建設業	182	951	184	960	175	960
F．製造業	384	7,265	387	6,912	374	7,206
G．卸売業・小売業	397	2,099	406	2,257	419	2,497
H．金融・保険業	9	97	12	118	14	134
I．不動産業	34	59	34	58	34	65
J．運輸・通信業	28	297	26	231	25	446（52）
K．電気・ガス・水道業	2	27	－	－	(2)	(25)
L．サービス業	255	1,606	249	1,544	283	1,936（429）
M．公務他	9	207			(9)	(235)
合　　計	1,304	12,661	1,302	12,106	1,298（11）	13,527（741）

注）（　）内は国・地方公共団体の値

産業大分類	平成16年		平成18年	
	事業所数	従業者数（人）	事業所数	従業者数（人）
A．B．C．農林漁業	4	49	4	51
D．鉱業	－	－	－	－
E．建設業	154	765	150	708
F．製造業	328	6,291	321	6,548
G．電気・ガス・熱供給・水道業	－	－	2	19
H．情報通信業	3	35	4	48
I．運輸業	18	305	19	313
J．卸売業・小売業	281	1,901	257	1,824
K．金融・保険業	14	135	14	123
L．不動産業	33	78	27	71
M．飲食店，宿泊業	120	617	121	587
N．医療，福祉	32	504	47	677
O．教育，学習支援業	35	107	42	383
P．複合サービス業	9	73	12	250
Q．サービス業（他に分類されないもの）	175	1,824	186	1,232
R．公務（他に分類されるものを除く）			8	198
合　　計	1,206	12,684	1,214	13,032

資料：事業所・企業統計調査、経済センサス

産業大分類	平成21年	
	事業所数	従業者数（人）
A．B．農林漁業	7	66
C．鉱業，採石業，砂利採取業	－	－
D．建設業	146	676
E．製造業	321	5,644
F．電気･ガス･熱供給･水道業	2	39
G．情報通信業	5	35
H．運輸業	24	356
I．卸売業・小売業	253	1,961
J．金融・保険業	15	136
K．不動産業	41	148
L．学術研究，専門･技術サービス業	37	140
M．宿泊業，飲食サービス業	117	684
N．生活関連サービス業，娯楽業	95	438
O．教育，学習支援業	39	405
P．医療，福祉	54	1,153
Q．複合サービス事業	9	225
R．サービス業(他に分類されないもの)	61	998
S．公務（他に分類されるものを除く）	8	241
合　　計	1,234	13,345

産業大分類	平成23年			平成26年			平成28年		
	事業所数	従業者数（人）	売上金額（百万円）	事業所数	従業者数（人）	売上金額（百万円）	事業所数	従業者数（人）	売上金額（百万円）
A．B．農林漁業	7	92	670	9	54	1,204	8	58	1,149
C．鉱業，採石業，砂利採取業	－	－	－	－	－	－	－	－	－
D．建設業	128	583	8,603	120	533	8,054	114	521	9,030
E．製造業	290	5,643	135,804	288	6,109	166,590	281	5,545	170,201
F．電気・ガス・熱供給・水道業	－	－	－	2	27	－	－	－	－
G．情報通信業	4	18	240	2	10	X	2	10	X
H．運輸業，郵便業	21	399	12,202	20	368	4,283	20	500	13,667
I．卸売業，小売業	229	1,745	33,626	240	1,801	33,540	226	1,647	38,916
J．金融業，保険業	15	118	3,711	12	122	4,044	12	115	4,174
K．不動産業，物品賃貸業	36	124	844	33	89	779	32	80	489
L．学術研究，専門・技術サービス業	33	153	822	36	130	720	31	128	836
M．宿泊業，飲食サービス業	111	712	2,270	123	796	2,070	119	779	2,720
N．生活関連サービス業，娯楽業	85	358	6,416	87	388	9,956	84	373	9,690
O．教育，学習支援業	27	99	77	39	383	179	24	58	201
P．医療，福祉	42	837	5,010	56	1,117	5,461	49	1,046	5,994
Q．複合サービス事業	5	84	611	6	84	X	6	93	X
R．サービス業(他に分類されないもの)	64	1,172	2,821	59	851	2,075	60	712	2,258
S．公務(他に分類されるものを除く)				8	208				
合　　計	1,097	12,137	213,725	1,140	13,070	240,541	1,068	11,665	260,141

資料：事業所・企業統計調査、経済センサス

注１）「－」は該当数値なし、「X」は統計法により公表を控えたもの
注２）平成 23 年及び平成 28 年は民営事業所のみの集計となっている
注３）売上金額は外国の会社及び法人でない団体を除いた民営事業所のみの集計となっている
注４）売上金額の「D．建設業」、「F．電気・ガス・熱供給・水道業」、「G．情報通信業」、「H．運輸業，郵便業」、「J．金融業，保険業」、「O．教育，学習支援業」、「Q．複合サービス事業」、「R．サービス業（他に分類されないもの）」、「合計」は試算値を記載

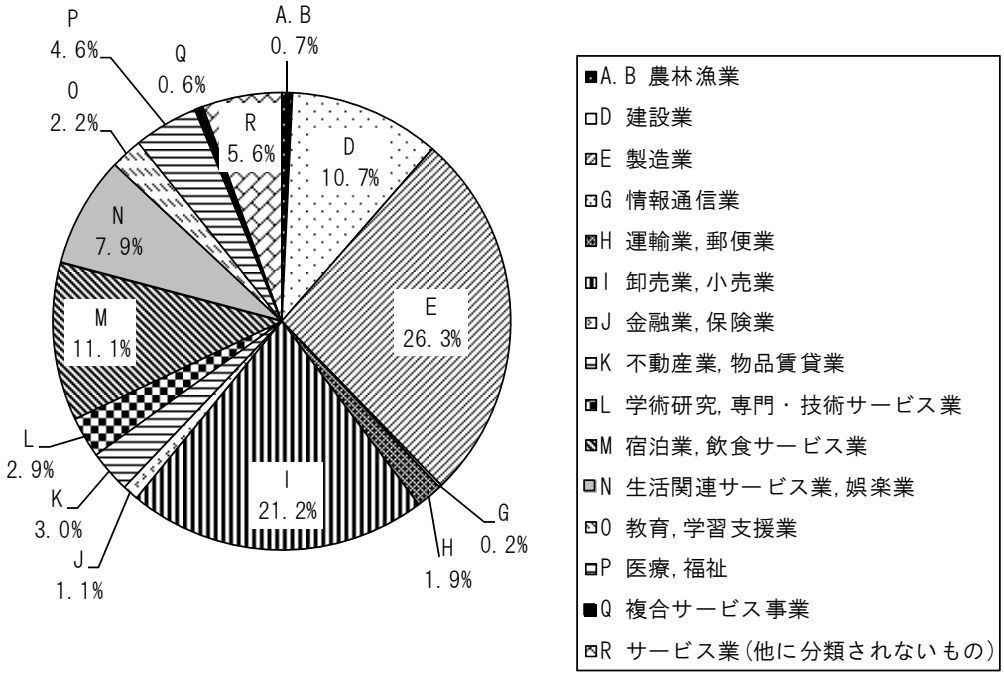


図２－７　産業大分類別事業所数構成比（平成 28 年）

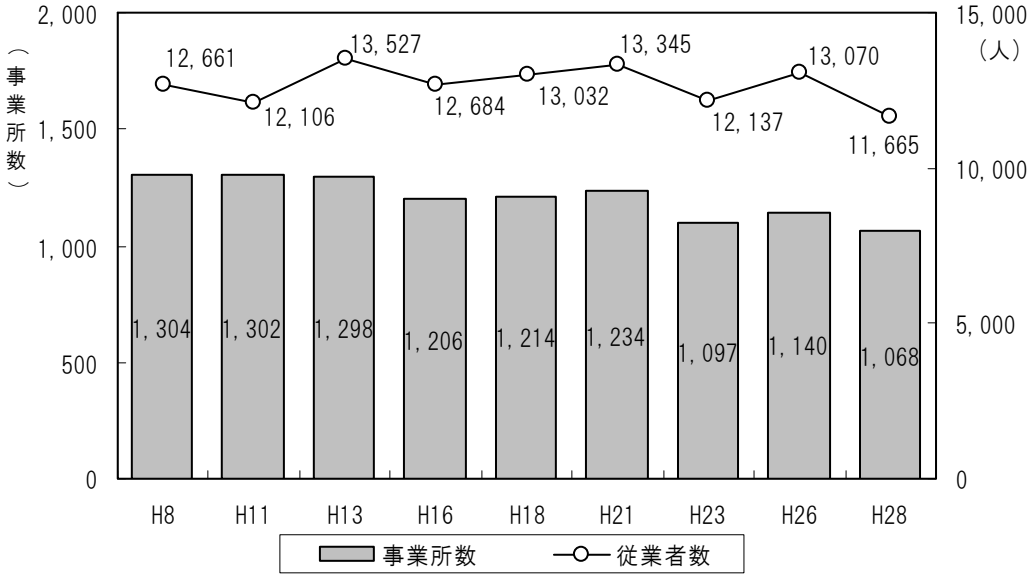


図２－８　事業所数・従業者数推移

C0202-2　産業中分類別工業出荷額

平成２年から平成 22 年までの工業出荷額推移をみると、平成 12 年までは増加傾向を示しているが、平成 13 年以降は極端な増減を繰り返している。平成 23 年以降は落ち着いたかのように、緩やかな増加傾向となっている。

平成 28 年の工業出荷額を産業中分類別に構成比でみると、電子部品・デバイス・電子回路が 62.0％と多くを占めている。

図２－９　工業出荷額推移

表２－７　工業出荷額推移

単位:100万円

	工業出荷額	デフレータ補正値
平成２年	126,305	120,424
平成３年	127,695	120,505
平成４年	120,826	115,027
平成５年	122,341	118,328
平成６年	126,139	124,030
平成７年	146,861	145,635
平成８年	152,330	153,636
平成９年	172,506	172,808
平成10年	166,829	169,757
平成11年	165,290	170,534
平成12年	206,793	213,335
平成13年	183,197	193,467
平成14年	129,601	139,719
平成15年	143,051	155,589
平成16年	167,508	179,842
平成17年	164,369	173,675
平成18年	169,816	175,551
平成19年	180,093	183,006
平成20年	157,717	153,260
平成21年	116,291	119,263
平成22年	136,961	140,605
平成23年	133,061	134,677
平成24年	152,382	155,571
平成25年	157,563	158,887
平成26年	156,069	152,486
平成27年	162,644	162,644
平成28年	159,287	165,064

資料：工業統計調査、経済センサス-活動調査

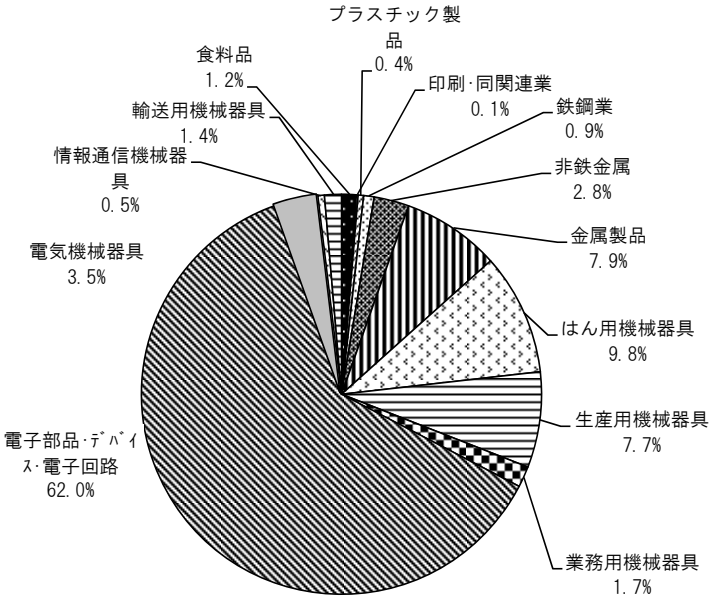


図２－10　産業中分類別工業出荷額構成比
(平成 28 年)

表２－８　産業中分類別工業出荷額推移

単位:100万円

産業中分類	平成２年		平成３年		平成４年		平成５年		平成６年	
	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値
合計	126,305	120,424	127,695	120,505	120,826	115,027	122,341	118,328	126,139	124,030
18. 食料品（製造業）	2,777	2,648	4,392	4,145	4,494	4,278	5,645	5,460	5,909	5,810
19. プラスチック	1,299	1,239	1,026	968	1,725	1,642	1,847	1,786	1,943	1,911
20. 繊維（工業）	124	118	298	281	357	340	427	413	278	273
21. 衣服その他の繊維製品	X	X	X	X	X	X	－	－	139	137
22. 木材・木製品	33	31	37	35	31	30	X	X	X	X
23. 家具・装備品	80	76	139	131	168	160	132	128	123	121
24. パルプ・紙・紙加工品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
25. 出版・印刷・同関連	907	865	1,232	1,163	975	928	840	812	307	302
26. 化学	－	－	－	－	X	X	X	X	X	X
27. 石油製品・石炭製品	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ゴム製品	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
なめし皮・同製品・毛皮	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
28. 情報	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
29. 電子	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
30. 窯業・土石製品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
31. 鉄鋼	X	X	X	X	X	X	118	114	129	127
32. 非鉄金属	546	521	563	531	X	X	X	X	X	X
33. 金属製品	6,131	5,846	7,181	6,777	6,633	6,315	6,406	6,196	4,849	4,768
34. 一般機械器具	12,976	12,372	16,755	15,812	15,121	14,395	16,966	16,409	17,574	17,280
35. 電気機械器具	44,805	42,719	63,474	59,900	59,299	56,453	60,781	58,787	61,827	60,794
36. 輸送用機械器具	2,615	2,493	2,753	2,598	2,769	2,636	2,735	2,645	2,662	2,618
37. 精密機械器具	52,284	49,850	28,421	26,821	27,343	26,031	24,979	24,160	29,079	28,593
38. 武器	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
39. その他の製造業	109	104	34	32	29	28	30	29	31	30

単位:100万円

産業中分類	平成７年		平成８年		平成９年		平成10年	
	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値
合計	146,861	145,635	152,330	153,636	172,506	172,808	166,829	169,757
18. 食料品（製造業）	6,138	6,087	6,147	6,200	6,686	6,698	6,288	6,398
19. プラスチック	2,197	2,179	1,685	1,699	1,910	1,913	2,389	2,431
20. 繊維（工業）	131	130	191	193	146	146	107	109
21. 衣服その他の繊維製品	X	X	X	X	154	154	102	104
22. 木材・木製品	X	X	44	44	X	X	X	X
23. 家具・装備品	133	132	131	132	225	225	105	107
24. パルプ・紙・紙加工品	X	X	X	X	X	X	X	X
25. 出版・印刷・同関連	1,353	1,342	2,466	2,487	2,577	2,582	2,444	2,487
26. 化学	X	X	X	X	X	X	372	379
27. 石油製品・石炭製品	－	－	－	－	－	－	－	－
ゴム製品	－	－	－	－	－	－	－	－
なめし皮・同製品・毛皮	－	－	－	－	－	－	－	－
28. 情報	－	－	－	－	－	－	－	－
29. 電子	－	－	－	－	－	－	－	－
30. 窯業・土石製品	X	X	X	X	779	780	847	862
31. 鉄鋼	656	651	686	692	X	X	704	716
32. 非鉄金属	X	X	X	X	X	X	400	407
33. 金属製品	6,000	5,950	5,833	5,883	6,489	6,500	6,669	6,786
34. 一般機械器具	21,348	21,170	23,756	23,960	26,484	26,530	25,711	26,162
35. 電気機械器具	76,217	75,581	78,837	79,513	93,553	93,717	91,857	93,469
36. 輸送用機械器具	2,502	2,481	2,121	2,139	2,505	2,509	1,618	1,646
37. 精密機械器具	28,737	28,497	29,077	29,326	28,984	29,035	26,664	27,132
38. 武器	－	－	－	－	－	－	－	－
39. その他の製造業	79	78	76	77	216	216	235	239

単位:100万円

産業中分類	平成11年		平成12年		平成13年		平成14年	
	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値
合計	165,290	170,534	206,793	213,335	183,197	193,467	129,601	139,719
18. 食料品（製造業）	5,981	6,171	6,477	6,682	4,635	4,895	4,069	4,387
19. プラスチック	1,914	1,975	3,808	3,928	2,598	2,744	1,709	1,842
20. 繊維（工業）	74	76	56	58	X	X	X	X
21. 衣服その他の繊維製品	37	38	31	32	X	X	X	X
22. 木材・木製品	X	X	X	X	X	X	X	X
23. 家具・装備品	203	209	214	221	X	X	X	X
24. パルプ・紙・紙加工品	X	X	X	X	X	X	X	X
25. 出版・印刷・同関連	2,488	2,567	2,201	2,271	4,635	4,895	1,640	1,768
26. 化学	553	571	452	466	428	452	528	569
27. 石油製品・石炭製品	－	－	－	－	－	－	－	－
ゴム製品	－	－	－	－	－	－	－	－
なめし皮・同製品・毛皮	－	－	－	－	－	－	－	－
28. 情報	－	－	－	－	－	－	246	265
29. 電子	－	－	－	－	－	－	57,781	62,292
30. 窯業・土石製品	X	X	－	－	－	－	－	－
31. 鉄鋼	529	546	451	465	X	X	X	X
32. 非鉄金属	241	249	X	X	X	X	X	X
33. 金属製品	7,277	7,508	6,938	7,157	7,020	7,414	5,830	6,285
34. 一般機械器具	27,723	28,603	38,407	39,622	34,829	36,781	5,830	6,285
35. 電気機械器具	93,527	96,494	120,597	124,412	105,645	111,567	11,881	12,809
36. 輸送用機械器具	1,631	1,683	1,603	1,654	1,564	1,652	1,913	2,062
37. 精密機械器具	22,215	22,920	24,323	25,093	23,415	24,728	13,702	14,772
38. 武器	－	－	－	－	－	－	－	－
39. その他の製造業	140	144	138	142	X	X	X	X

単位:100万円

産業中分類	平成15年		平成16年		平成17年	
	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値
合計	143,051	155,589	167,508	179,842	164,369	173,675
18. 食料品（製造業）	2,203	2,396	2,019	2,168	2,736	2,891
19. プラスチック	1,897	2,063	1,751	1,880	2,319	2,450
20. 繊維（工業）	X	X	X	X	X	X
21. 衣服その他の繊維製品	X	X	X	X	X	X
22. 木材・木製品	X	X	X	X	X	X
23. 家具・装備品	X	X	X	X	X	X
24. パルプ・紙・紙加工品	X	X	X	X	X	X
25. 出版・印刷・同関連	1,565	1,702	2,478	2,660	2,146	2,268
26. 化学	401	436	379	407	430	454
27. 石油製品・石炭製品	－	－	－	－	－	－
ゴム製品	－	－	－	－	－	－
なめし皮・同製品・毛皮	－	－	－	－	－	－
28. 情報	522	568	8,232	8,838	1,280	1,352
29. 電子	66,756	72,607	85,961	92,291	84,813	89,615
30. 窯業・土石製品	－	－	－	－	－	－
31. 鉄鋼	X	X	1,140	1,224	1,362	1,439
32. 非鉄金属	X	X	X	X	X	X
33. 金属製品	6,770	7,363	6,878	7,384	7,338	7,753
34. 一般機械器具	24,751	26,920	28,310	30,395	26,971	28,498
35. 電気機械器具	12,576	13,678	8,232	8,838	9,563	10,104
36. 輸送用機械器具	2,076	2,258	2,354	2,527	2,119	2,239
37. 精密機械器具	21,531	23,418	25,555	27,437	22,588	23,867
38. 武器	－	－	－	－	－	－
39. その他の製造業	X	X	X	X	X	X

単位:100万円

産業中分類	平成18年		平成19年	
	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値
合　　計	169,816	175,551	180,093	183,006
09. 食料	2,672	2,762	2,205	2,241
11. 繊維	X	X	X	X
13. 木材	X	X	X	X
14. 家具	X	X	X	X
15. 紙	X	X	X	X
16. 印刷	360	372	342	348
17. 化学	433	448	X	X
19. プラスチック	2,397	2,477	2,773	2,818
22. 土石	X	X	X	X
23. 鉄鋼	1,769	1,829	1,881	1,911
24. 非鉄	X	X	X	X
25. 金属	9,281	9,594	10,772	10,946
26. 機械	28,924	29,901	32,290	32,812
27. 電機	9,052	9,358	10,093	10,256
28. 情報	1,096	1,133	1,906	1,937
29. 電子	91,463	94,552	96,255	97,812
30. 輸送	1,970	2,037	2,099	2,133
31. 精密	19,335	19,988	18,325	18,622
32. その他	X	X	X	X

単位:100万円

産業中分類	平成20年		平成21年		平成22年	
	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値
合　　計	157,717	153,260	116,291	119,263	136,961	140,605
09. 食料	2,083	2,024	2,079	2,132	1,992	2,045
11. 繊維	X	X	X	X	X	X
12. 木材	X	X	X	X	X	X
13. 家具	274	267	X	X	X	X
15. 印刷	337	328	262	269	340	349
16. 化学	320	311	329	338	310	319
18. プラスチック	1,806	1,755	978	1,003	1,674	1,718
21. 窯業	X	X	X	X	X	X
22. 鉄鋼	1,518	1,475	882	905	946	971
23. 非鉄	X	X	X	X	X	X
24. 金属	11,501	11,176	8,719	8,942	9,211	9,456
25. はん用機械	18,757	18,227	10,751	11,026	14,931	15,328
26. 生産用機械	12,318	11,970	7,387	7,576	8,338	8,560
27. 業務用機械	4,614	4,484	3,139	3,219	3,025	3,106
28. 電子	76,993	74,817	61,462	63,033	76,163	78,189
29. 電気	8,076	7,848	5,282	5,417	5,647	5,797
30. 情報	2,493	2,423	1,777	1,823	1,324	1,359
31. 輸送	2,404	2,336	1,469	1,507	1,767	1,814
32. その他	13,914	13,520	11,390	11,681	10,930	11,221

単位:100万円

産　業　中　分　類	平成23年		平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	出荷額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値
合　　計	133,061	134,677	152,382	155,571	157,563	158,887	156,069	152,486	162,644	162,644	159,287	165,064
09. 食料品	2,300	2,328	2,187	2,233	2,022	2,039	1,916	1,872	1,994	1,994	1,805	1,870
10. 飲料・たばこ・飼料	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
11. 繊維工業	－	－	X	X	X	X	X	X	－	－	X	X
12. 木材・木製品	X	X	－	－	－	－	－	－	－	－	X	X
13. 家具・装備品	202	204	166	169	236	238	X	X	X	X	X	X
14. パルプ・紙・紙加工品	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
15. 印刷・同関連業	238	241	244	249	238	240	195	191	87	87	212	220
16. 化学工業	383	388	257	262	X	X	X	X	X	X	X	X
17. 石油製品・石炭製品	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
18. プラスチック製品	1,625	1,645	1,953	1,994	889	896	1,386	1,354	905	905	681	706
19. ゴム製品	－	－	－	－	－	－	－	－	X	X	－	－
20. なめし革・同製品・毛皮	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
21. 窯業・土石製品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
22. 鉄鋼業	1,088	1,101	1,315	1,343	1,114	1,123	1,280	1,251	1,142	1,142	1,302	1,349
23. 非鉄金属	260	263	499	509	229	231	291	284	3,502	3,502	4,295	4,451
24. 金属製品	9,213	9,325	8,372	8,547	10,100	10,185	11,730	11,461	11,494	11,494	12,083	12,521
25. はん用機械器具	11,336	11,474	9,464	9,662	9,956	10,040	12,103	11,825	17,402	17,402	14,953	15,495
26. 生産用機械器具	11,061	11,195	9,576	9,776	8,776	8,850	9,268	9,055	12,340	12,340	11,770	12,197
27. 業務用機械器具	2,961	2,997	3,835	3,915	3,181	3,208	2,471	2,414	3,303	3,303	2,566	2,659
28. 電子部品・ﾃﾞﾊﾞｲｽ・電子回路	72,845	73,730	97,330	99,367	106,065	106,956	97,068	94,839	97,313	97,313	94,373	97,796
29. 電気機械器具	6,333	6,410	4,659	4,757	3,746	3,777	4,342	4,242	3,040	3,040	5,381	5,576
30. 情報通信機械器具	1,655	1,675	1,733	1,769	1,374	1,386	1,413	1,381	1,866	1,866	793	822
31. 輸送用機械器具	1,788	1,810	1,918	1,958	1,832	1,847	1,951	1,906	959	959	2,075	2,150
32. その他の製造業	X	X	X	X	7,320	7,382	9,924	9,696	X	X	X	X

資料：工業統計調査、経済センサス-活動調査

注１）デフレータ補正値は、平成 27 年を 100 とした企業物価指数（日本銀行調査統計局）により割り戻した値

注２）「-」は該当数値なし、「X」は統計法により公表を控えたもの

注３）平成 14 年以降は事業者４人以上の事業所の数値

工業出荷額推計

デフレータ補正値による工業出荷額の推計をみると、等差式及び等比式では増加傾向、指数式、一次式ならびに片対数では減少傾向となった。

本推計は過去の実績をもとに行うものであり、推計結果は緩やかな線で示される。近年見られる極端な増減差により相関係数は低いことから、参考値として捉えることが望ましい。

表２－９　工業出荷額推計

単位：100万円

	H7	H12	H17	H22	H27	H28	H32	H37	H42	H47
実　績　値 (デフレータ補正値)	145,635	213,335	173,675	140,605	162,644	165,064				
推計値 等 差 式							172,525	181,851	191,177	200,502
等 比 式							173,868	185,537	197,989	211,277
指 数 式							154,589	153,099	151,624	150,162
一 次 式							154,875	152,978	151,081	149,184
片 対 数							155,802	154,408	153,082	151,818

資料：工業統計調査、経済センサス-活動調査

【相関係数】　等差式　R^2＝0.1458　　等比式　R^2＝0.2255　　指数式　R^2＝0.1628
一次式　R^2＝0.1708　　片対数　R^2＝0.1422

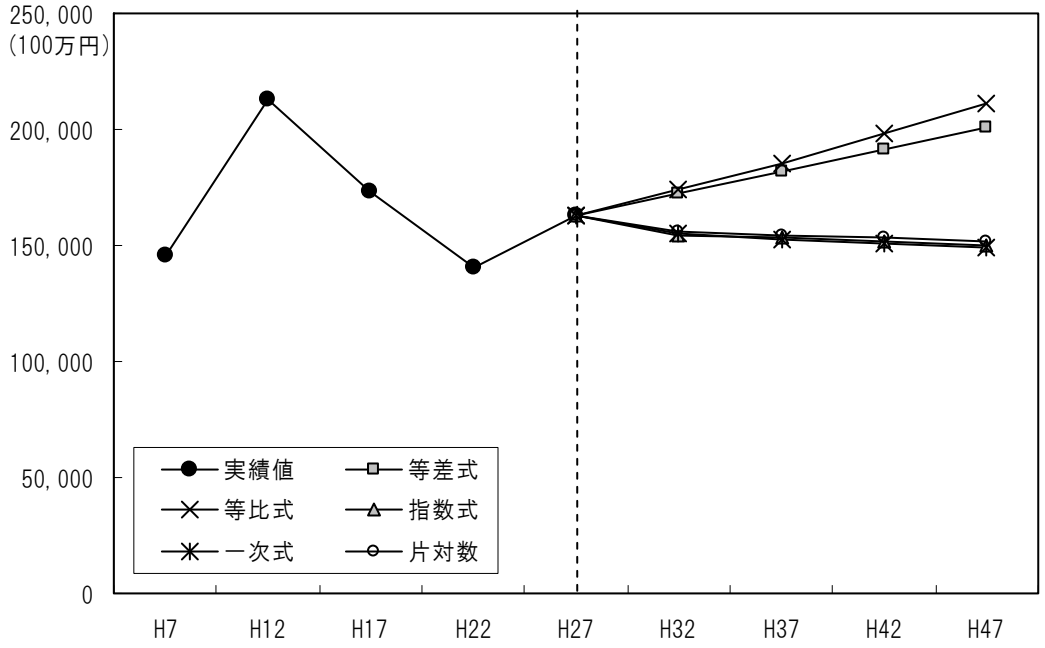


図２－11　工業出荷額推計

C0202-3　産業中分類別商業販売額

年間商品販売額のデフレータ補正値での推移をみると平成３年は約 320 億円であり、増加傾向が続き、平成 19 年は約 430 億円まで上昇した。しかし、平成 23 年には、平成３年の規模と同等まで下落している。その後は横ばいに推移している。

また、平成 28 年の産業中分類別商品販売額を構成比でみると、飲食料品小売業が 49.2％と最も多く、次いで機械器具卸売業 16.3％、機械器具小売業が 16.2％となっている。

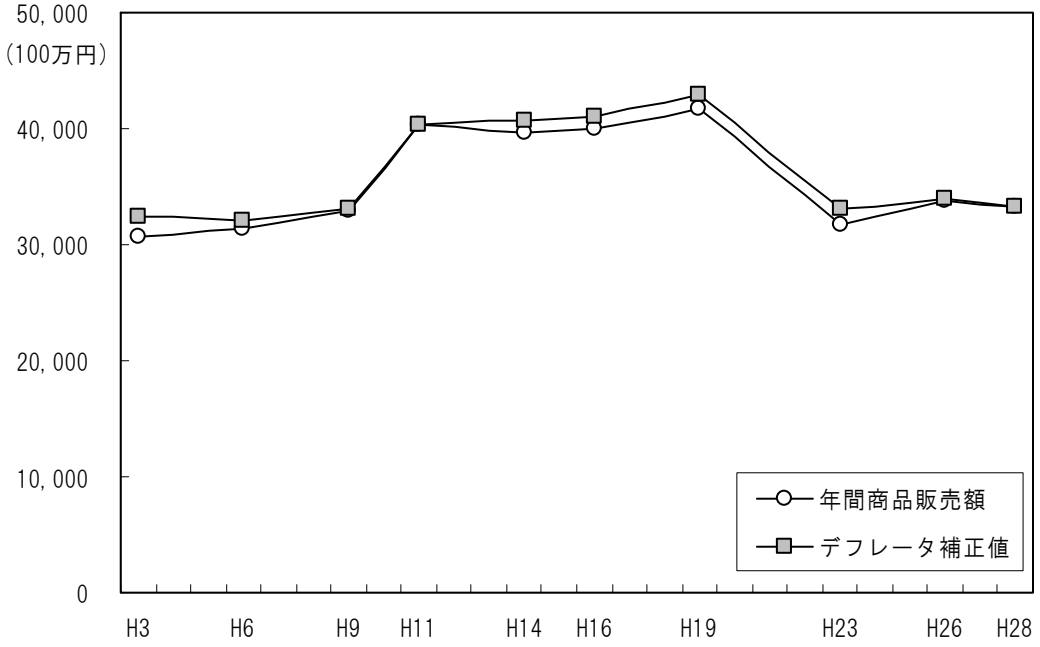


図２－12　年間商品販売額推移

表２－10　年間商品販売額推移

単位:100万円

	年間商品販売額	デフレータ補正値
平成３年	30,630	32,481
平成６年	31,415	32,155
平成９年	32,901	33,066
平成11年	40,299	40,380
平成14年	39,710	40,728
平成16年	39,915	41,065
平成19年	41,710	42,912
平成23年	31,799	33,021
平成26年	33,722	33,994
平成28年	33,293	33,326

資料：商業統計調査
　　経済センサス-活動調査（卸売業・小売業）

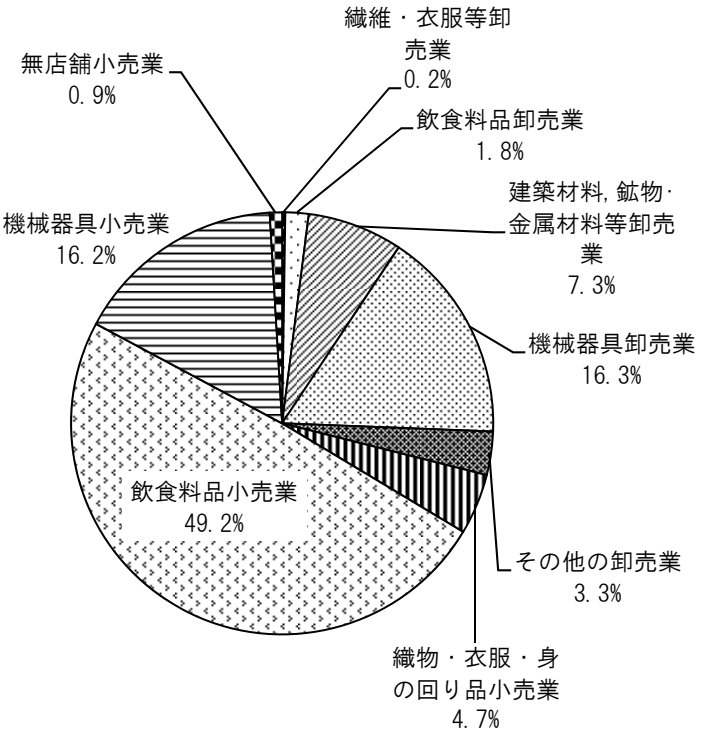


図２－13　産業中分類別年間商品販売額構成比
（平成 28 年）

表２－11　産業中分類別年間商品販売額推移

単位:100万円

産業中分類	平成３年		平成６年		平成９年		平成11年	
	販売額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	販売額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	販売額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	販売額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値
合計	30,630	32,481	31,415	32,155	32,901	33,066	40,299	40,380
40～41. 卸売業	11,715	12,423	10,737	10,990	10,870	10,925	15,121	15,151
42. 代理商・仲立業	－	－	－	－	－	－	－	－
小売業小計	18,915	20,058	20,678	21,165	22,031	22,142	25,178	25,228
43. 各種商品小売業	X	X	X	X	X	X	X	X
44. 織物・衣服・身の回り品小売業	1,263	1,339	1,292	1,322	1,459	1,466	1,115	1,117
45. 飲食料品小売業	5,559	5,895	7,064	7,230	6,446	6,478	9,737	9,757
47. 自動車・自転車小売業	3,188	3,381	3,186	3,261	X	X	X	X
48. 家具・建具・じゅう器小売業	1,485	1,575	X	X	947	952	714	715
49. その他小売業	X	X	5,791	5,927	7,172	7,208	7,846	7,862

産業中分類	平成14年		平成16年		平成19年	
	販売額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	販売額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	販売額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値
合計	39,710	40,728	39,915	41,065	41,710	42,912
49～54. 卸売業	13,293	13,634	13,870	14,270	17,044	17,535
小売業小計	26,417	27,094	26,045	26,795	24,666	25,377
55. 各種商品小売業	X	X	X	X	X	X
56. 織物・衣服・身の回り品小売業	951	975	921	948	1,280	1,317
57. 飲食料品小売業	10,311	10,575	9,702	9,981	9,026	9,286
58. 自動車・自転車小売業	3,188	3,270	3,023	3,110	2,990	3,076
59. 家具・建具・じゅう器小売業	2,857	2,930	X	X	349	359
60. その他小売業	9,390	9,631	9,847	10,131	X	X

産業中分類	平成23年		平成26年		平成28年	
	販売額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	販売額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値	販売額	ﾃﾞﾌﾚｰﾀ補正値
合計	31,799	33,021	33,722	33,994	33,293	33,326
49～54. 卸売業	6,607	6,861	4,142	4,175	6,360	6,366
50. 各種商品卸売業	－	－			－	－
51. 繊維・衣服等卸売業	63	65			53	53
52. 飲食料品卸売業	X	X			391	391
53. 建築材料,鉱物･金属材料等卸売業	1,633	1,696			1,602	1,604
54. 機械器具卸売業	3,372	3,502			3,584	3,588
55. その他の卸売業	X	X			731	732
小売業計	25,192	26,160	29,580	29,819	26,933	26,960
56. 各種商品小売業	X	X	X	X	X	X
57. 織物・衣服・身の回り品小売業	848	881	967	975	1,022	1,023
58. 飲食料品小売業	9,331	9,690	10,401	10,485	10,812	10,823
59. 機械器具小売業	1,871	1,943	3,240	3,266	3,569	3,573
60. その他の小売業	X	X	X	X	X	X
61. 無店舗小売業	2,794	2,901	4,055	4,088	208	208

資料：商業統計調査、経済センサス-活動調査（卸売業・小売業）

注１）デフレータ補正値は、平成 27 年を 100 とした消費者物価指数（総務省統計局）により割り戻した値

注２）「-」は該当数値なし、「X」は統計法により公表を控えたもの

注３）平成 26 年について、町村別の卸売業の内訳は公表されていない

商業販売額推計

デフレータ補正値による商品販売額の推計をみると、一旦は増加するものの減少傾向が続くことが推測される。

なお、本推計は数学的手法に基づいて算出した結果であり、過去の年間商品販売額推移の影響を強く受けている。

表２－12　年間商品販売額推計

単位：100万円

	H6	H11	H19	H23	H28	H32	H37	H42	H47
実　績　値 (デフレータ補正値)	32,155	40,380	42,912	33,021	33,326				
推計値 等 差 式						33,539	33,806	34,072	34,338
等 比 式						33,544	33,818	34,094	34,373
指 数 式						36,115	35,846	35,579	35,314
一 次 式						36,237	35,943	35,649	35,354
片 対 数						36,554	36,388	36,231	36,080

資料：商業統計調査、経済センサス-活動調査（卸売業・小売業）

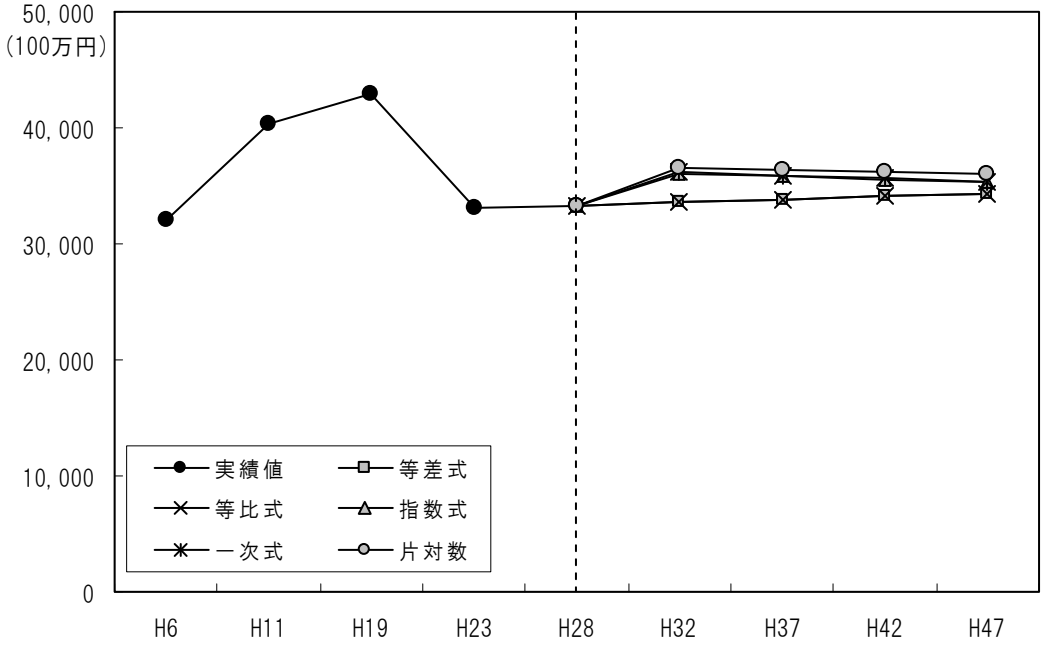


図２－14　年間商品販売額推計

③　土地利用

C0302　土地利用現況

C0302-2　土地利用別面積

都市計画区域における土地利用別現況は、自然的土地利用が 3,045.9ha（72.3%）であり、そのうち農地が 1,673.0ha（39.7%）と、多くを占めている。都市的土地利用は 1,167.1ha（27.7%）であり、そのうち宅地が 651.8ha（15.5%）と多くを占めている。

また、用途地域指定区域 370.0ha のうち都市的土地利用が 274.5ha（74.2%）であり、そのうち宅地が 177.5ha（48.0%）と多くを占めている。農地は用途地域指定区域内に 77.7ha（21.0%）残存している。用途地域指定外区域は 3,843.0ha のうち自然的土地利用が 2,950.4ha（76.8%）であり、そのうち農地が 1,595.3ha（41.5%）、山林が 1,109.4ha（28.9%）を占めている。

表３－１　土地利用別面積

土地利用区分			用途地域指定区域		用途地域指定外区域		都市計画区域	
			面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	構成比(%)
自然的土地利用	農地	田	36.3	9.8	639.2	16.6	675.5	16.0
		畑	41.4	11.2	956.1	24.9	997.5	23.7
		小　計	77.7	21.0	1,595.3	41.5	1,673.0	39.7
	山　林		10.1	2.7	1,109.4	28.9	1,119.5	26.6
	水　面		1.6	0.4	56.6	1.5	58.2	1.4
	その他の自然地		6.1	1.6	189.1	4.9	195.2	4.6
	小　計		95.5	25.8	2,950.4	76.8	3,045.9	72.3
都市的土地利用	宅地	住宅用地	125.4	33.9	321.9	8.4	447.3	10.6
		商業用地	17.6	4.8	35.8	0.9	53.4	1.3
		工業用地	34.5	9.3	116.6	3.0	151.1	3.6
		小　計	177.5	48.0	474.3	12.3	651.8	15.5
	公共・公益用地		34.1	9.2	108.5	2.8	142.6	3.4
	道路用地		44.0	11.9	267.5	7.0	311.5	7.4
	交通施設用地		4.2	1.1	2.1	0.1	6.3	0.1
	その他の空地		14.7	4.0	40.2	1.0	54.9	1.3
	小　計		274.5	74.2	892.6	23.2	1,167.1	27.7
合　計			370.0	100.0	3,843.0	100.0	4,213.0	100.0
可住地			269.7	72.9	3,208.2	83.5	3,477.9	82.6
非可住地			100.3	27.1	634.8	16.5	735.1	17.4

資料：土地利用現況図

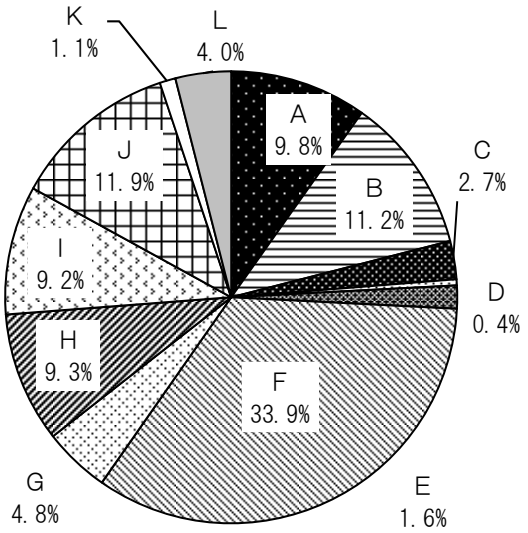
注１）「公共・公益用地」は土地利用現況図の「公益施設用地」と「公共空地」の合計

注２）非可住地は、以下の通りとする

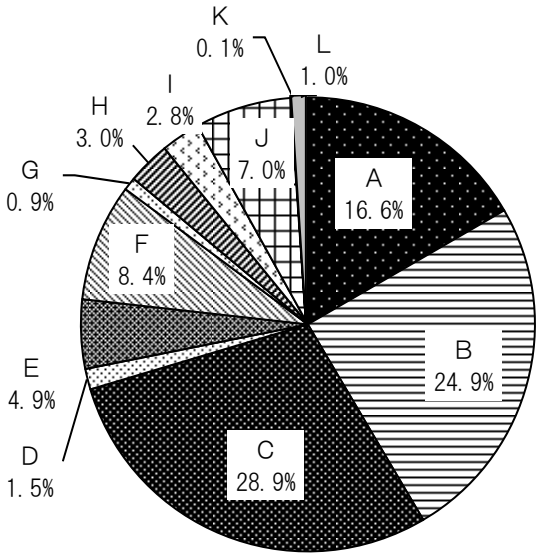
「水面」、「その他の自然地」、「商業用地」の内で敷地面積１ha 以上の大規模施設用地、「公共・公益用地」、「道路用地」、「交通施設用地」、「その他公的施設用地」

これらのほか、土地利用状況に関係なく全ての工業専用地域

用途地域指定区域	面積(ha)	構成比(%)
A　田	36.3	9.8
B　畑	41.4	11.2
C　山林	10.1	2.7
D　水面	1.6	0.4
E　その他の自然地	6.1	1.6
F　住宅用地	125.4	33.9
G　商業用地	17.6	4.8
H　工業用地	34.5	9.3
I　公共・公益用地	34.1	9.2
J　道 路 用 地	44.0	11.9
K　交通施設用地	4.2	1.1
L　その他の空地	14.7	4.0
合　　計	370.0	100.0



用途地域指定外区域	面積(ha)	構成比(%)
A　田	639.2	16.6
B　畑	956.1	24.9
C　山林	1,109.4	28.9
D　水面	56.6	1.5
E　その他の自然地	189.1	4.9
F　住宅用地	321.9	8.4
G　商業用地	35.8	0.9
H　工業用地	116.6	3.0
I　公共・公益用地	108.5	2.8
J　道 路 用 地	267.5	7.0
K　交通施設用地	2.1	0.1
L　その他の空地	40.2	1.0
合　　計	3,843.0	100.0



都市計画区域	面積(ha)	構成比(%)
A　田	675.5	16.0
B　畑	997.5	23.7
C　山林	1,119.5	26.6
D　水面	58.2	1.4
E　その他の自然地	195.2	4.6
F　住宅用地	447.3	10.6
G　商業用地	53.4	1.3
H　工業用地	151.1	3.6
I　公共・公益用地	142.6	3.4
J　道 路 用 地	311.5	7.4
K　交通施設用地	6.3	0.1
L　その他の空地	54.9	1.3
合　　計	4,213.0	100.0

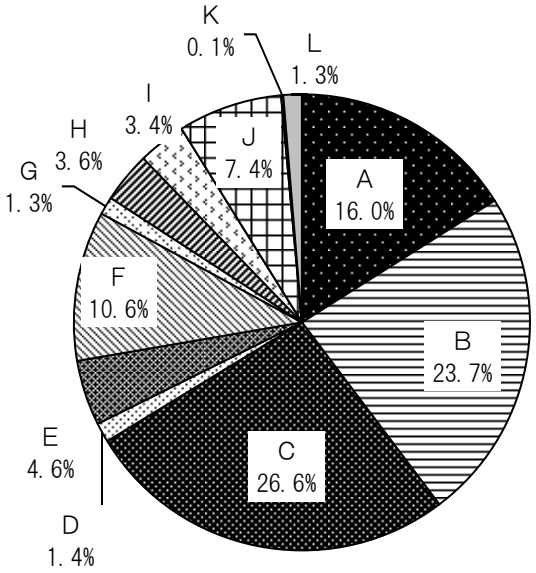


図３－１　土地利用別面積構成比

C0304　宅地開発状況

平成 24 年から平成 29 年の過去６年間の宅地開発状況は、開発許可による開発行為が６件（6.7ha）となっており、用途は商業及びその他が各２件、住宅及び工業が各１件となっている。

平成 29 年までの面整備実績の累計は 61.5ha となっており、特に平成 15 年から 19 年までの５年間には 18.7ha の実績が見られ、箕輪バイパス開通の時期と重なる。

表３－２　開発行為許可状況

年　次	都　市　計　画　区　域											
	住　　宅		商　　業		工　　業		農林漁業		その他		合　　計	
	面　積（㎡）	件数（件）	面　積（㎡）	件数（件）	面　積（㎡）	件数（件）	面　積（㎡）	件数（件）	面　積（㎡）	件数（件）	面　積（㎡）	件数（件）
H2	7,576.80	1	16,598.40	2	130,720.50	11	0.00	0	6,335.10	1	161,230.80	15
H3	0.00	0	13,568.00	1	27,317.70	1	0.00	0	0.00	0	40,885.70	2
H4	0.00	0	0.00	0	6,839.50	1	0.00	0	0.00	0	6,839.50	1
H5	0.00	0	3,806.50	1	0.00	0	0.00	0	0.00	0	3,806.50	1
H6	3,212.00	1	0.00	0	0.00	0	0.00	0	6,369.10	1	9,581.10	2
H7	9,218.00	2	14,428.30	2	19,734.70	1	0.00	0	0.00	0	43,381.00	5
H8	0.00	0	6,615.70	1	3,934.00	1	0.00	0	0.00	0	10,549.70	2
H9	0.00	0	0.00	0	4,316.00	1	0.00	0	3,727.80	1	8,043.80	2
H10	0.00	0	20,989.10	1	27,839.70	1	0.00	0	0.00	0	48,828.80	2
H11	3,238.50	1	3,849.80	1	6,369.10	1	0.00	0	0.00	0	13,457.40	3
H12	3,796.20	1	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	3,796.20	1
H13	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H14	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H15	3,883.19	1	0.00	0	3,925.95	1	0.00	0	0.00	0	7,809.14	2
H16	0.00	0	13,364.44	1	0.00	0	3,311.76	1	24,294.38	2	40,970.58	4
H17	0.00	0	16,399.98	2	8,241.80	2	0.00	0	5,133.63	1	29,775.41	5
H18	0.00	0	46,045.21	5	14,849.26	1	0.00	0	0.00	0	60,894.47	6
H19	0.00	0	22,227.76	1	24,911.61	1	0.00	0	0.00	0	47,139.37	2
H20	4,119.48	1	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	4,119.48	1
H21	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H22	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	6,915.60	1	6,915.60	1
H23	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H24	0.00	0	4,036.95	1	0.00	0	0.00	0	7,918.91	1	11,955.86	2
H25	7,442.85	1	0.00	0	0.00	0	0.00	0	6,767.39	1	14,210.24	2
H26	0.00	0	0.00	0	36,910.35	1	0.00	0	0.00	0	36,910.35	1
H27	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H28	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H29	0.00	0	3,742.84	1	0.00	0	0.00	0	0.00	0	3,742.84	1
合　計	42,487.02	9	185,672.98	20	315,910.17	24	3,311.76	1	67,461.91	9	614,843.84	63
H24～H29 合　計	7,442.85	1	7,779.79	2	36,910.35	1	0.00	0	14,686.30	2	66,819.29	6

資料：開発許可申請書

注）3,000 ㎡以上の開発行為について集計

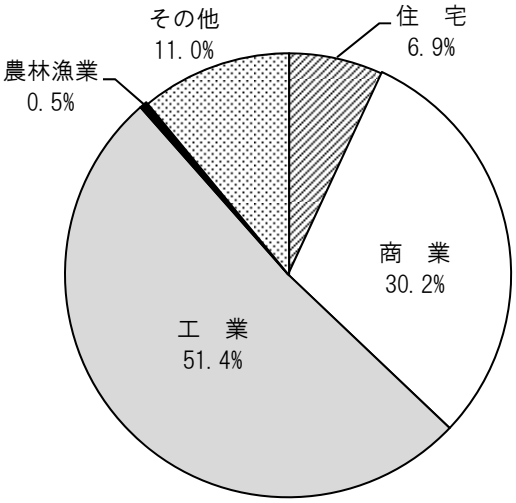


図３－２　用途別開発許可状況構成比
（平成２年から平成 29 年までの合計面積割合）

表３－３　面整備実績

完了年次	市街地開発事業等（注１）	公的宅地開発（注２）	開発許可等（注３）	合　計	累　計
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)
H４以前			20.9	20.9	20.9
H５～９			7.5	7.5	28.4
H10～14			6.6	6.6	35.0
H15～19			18.7	18.7	53.7
H20～24			2.3	2.3	56.0
H25～29			5.5	5.5	61.5

資料：開発許可申請書

注１）「公的宅地開発」「開発許可」以外のもの
注２）市街地開発事業によらない、公団・公社・市町村等の公的住宅造成
注３）開発許可による開発行為（3,000 ㎡以上のもの）、及び「（旧）住宅地造成事業に関する法律」により許可された宅地造成

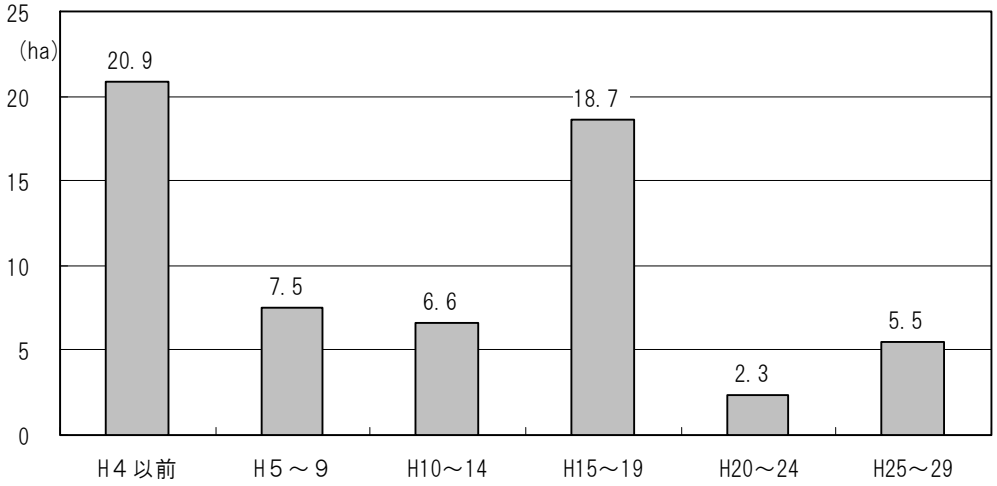


図３－３　面整備実績の面積推移

C0305　農地転用状況

平成24年から平成29年までの６年間の農地転用面積は、用途地域指定区域では70,214.51㎡、用途地域指定外区域では309,878.75㎡の合計380,093.26㎡となっている。また、６年間の農地面積における転用率は用途地域指定区域が 8.4%、用途地域指定外区域が 1.9%となっており、用途地域指定区域における転用率の方が高い。

転用用途別にみると、用途地域指定区域、用途地域指定外区域でともに住宅用地への転用が半数以上を占め、次いでその他への転用が多い。

表３－４　農地転用推移

		住宅用地		工業用地		公共用地		その他		合　計		前年度の農地面積	転用率
		件数	面 積	件数	面 積	件数	面 積	件数	面 積	件数	面 積		
		(件)	(㎡)	(件)	(㎡)	(件)	(㎡)	(件)	(㎡)	(件)	(㎡)	(㎡)	(%)
用途地域指定区域	H24	17	10,851.00	1	495.00	1	575.00	8	6,217.00	27	18,138.00	833,661.14	2.2
	H25	20	10,772.00	0	0.00	0	0.00	4	1,543.00	24	12,315.00	815,523.14	1.5
	H26	12	3,767.14	0	0.00	0	0.00	8	3,878.00	20	7,645.14	803,208.14	1.0
	H27	14	9,786.00	0	0.00	0	0.00	2	1,754.00	16	11,540.00	795,563.00	1.5
	H28	18	6,936.00	1	212.00	0	0.00	7	4,529.00	26	11,677.00	784,023.00	1.5
	H29	13	5,812.00	0	0.00	0	0.00	4	3,087.37	17	8,899.37	772,346.00	1.2
	合計	94	47,924.14	2	707.00	1	575.00	33	21,008.37	130	70,214.51		8.4
用途地域指定外区域	H24	49	18,224.00	2	1,067.61	1	1,473.00	19	8,266.00	71	29,030.61	16,098,048.14	0.2
	H25	49	21,403.00	12	8,144.87	3	5,407.00	24	14,561.00	88	49,515.87	16,069,017.53	0.3
	H26	36	16,813.00	3	2,912.00	3	2,657.00	37	40,410.93	79	62,792.93	16,019,501.66	0.4
	H27	42	24,370.21	7	8,059.00	1	2,952.00	40	31,037.52	90	66,418.73	15,956,708.73	0.4
	H28	39	18,984.00	5	4,206.00	0	0.00	34	30,837.00	78	54,027.00	15,890,290.00	0.3
	H29	48	27,282.00	3	1,496.00	1	133.00	20	19,182.61	72	48,093.61	15,836,263.00	0.3
	合計	263	127,076.21	32	25,885.48	9	12,622.00	174	144,295.06	478	309,878.75		1.9
合計	H24	66	29,075.00	3	1,562.61	2	2,048.00	27	14,483.00	98	47,168.61	16,931,709.28	0.3
	H25	69	32,175.00	12	8,144.87	3	5,407.00	28	16,104.00	112	61,830.87	16,884,540.67	0.4
	H26	48	20,580.14	3	2,912.00	3	2,657.00	45	44,288.93	99	70,438.07	16,822,709.80	0.4
	H27	56	34,156.21	7	8,059.00	1	2,952.00	42	32,791.52	106	77,958.73	16,752,271.73	0.5
	H28	57	25,920.00	6	4,418.00	0	0.00	41	35,366.00	104	65,704.00	16,674,313.00	0.4
	H29	61	33,094.00	3	1,496.00	1	133.00	24	22,269.98	89	56,992.98	16,608,609.00	0.3
	合計	357	175,000.35	34	26,592.48	10	13,197.00	207	165,303.43	608	380,093.26		2.2

資料：箕輪町農業委員会、2015年農林業センサス

注１）転用率＝過去１年間の農地転用面積／前年の農地面積×100
　　＝６年間の農地転用面積／６年前の農地面積×100

注２）農地面積は、2015年農林業センサスの経営耕地面積をもとに、C0302-2 土地利用別面積による農地面積割合を採用し算出した

注３）一時転用についても含まれる

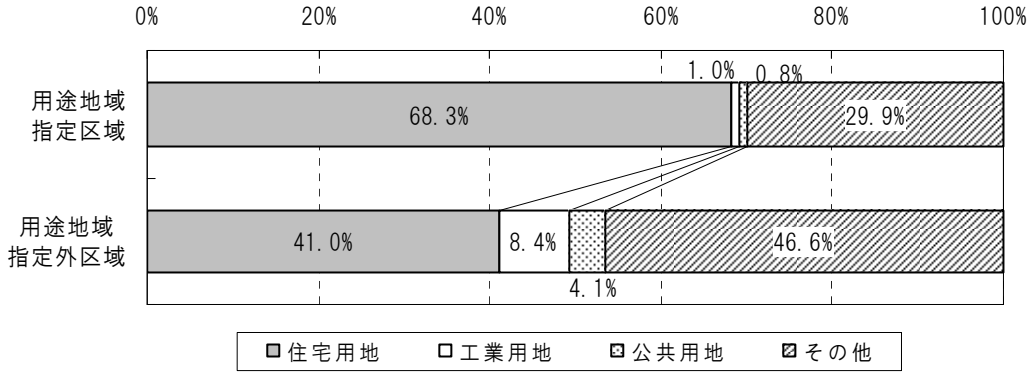


図３－４　農地転用面積構成比
（平成24年から平成29年の合計面積割合）

C0307　新築状況

平成 24 年から平成 29 年までの６年間における都市計画区域の新築状況は、件数が 614 件、平均敷地面積が 440.67 ㎡（約 134 坪）、平均建ぺい率が 23.4%、平均容積率が 34.2%である。

そのうち用途地域指定外区域の件数は 416 件で全新築件数の 67.8%である。

建物の用途別にみると、住宅が 513 件であり全体の 83.6%を占めている。用途地域指定区域では住宅が 88.4%、商業及びその他が 5.1%、工業が 1.5%となっている。用途地域指定外区域では、住宅は 81.3%、その他が 13.9%となっている。

地域別にみると用途地域指定区域では木下北部が 51 件と最も多く、分譲地への建築が目立つ。用途地域指定外区域では三日町が 65 件と最も多く、特に箕輪バイパスに近い場所に多く集積している。

表３－５　用途地域内外別新築建物状況

	新築件数（件）					敷地面積合計(㎡)	平均敷地面積(㎡)	建築面積合計(㎡)	平均建ぺい率(%)	延床面積合計(㎡)	平均容積率(%)
	合計	住宅	商業	工業	他						
用途地域指定区域	198	175	10	3	10	76,245.17	385.10	18,302.36	24.0	26,839.79	35.2
用途地域指定外区域	416	338	10	10	58	194,328.92	467.14	44,990.59	23.2	65,719.76	33.8
都市計画区域	614	513	20	13	68	270,574.09	440.67	63,292.95	23.4	92,559.55	34.2

資料：建築確認申請書、建築計画概要書（H24～H29）

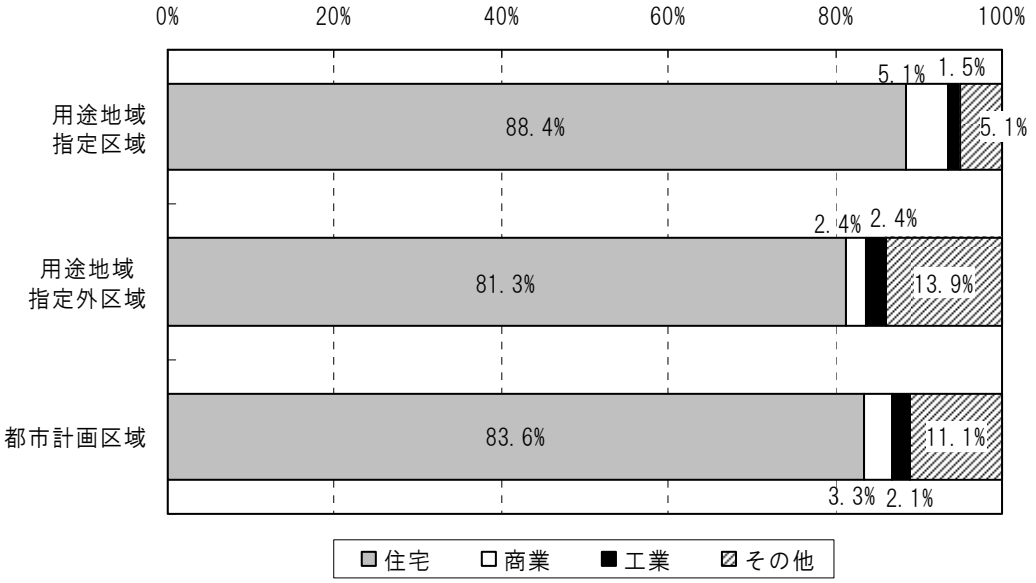


図３－５　用途別新築建物件数構成比（平成 24 年から平成 29 年の合計件数割合）

表３－６　地域別新築状況（用途地域指定区域）

地区名	新築件数（件）					敷地面積合計(㎡)	平均敷地面積(㎡)	建築面積合計(㎡)	平均建ぺい率(%)	延床面積合計(㎡)	平均容積率(%)
	合計	住宅	商業	工業	他						
松島北部	31	26	1	0	4	9,564.31	308.53	2,607.96	27.3	3,560.89	37.2
松島中部	32	26	3	3	0	20,614.01	644.19	4,291.06	20.8	5,402.76	26.2
松島南部	44	38	4	0	2	18,129.32	412.03	4,394.65	24.2	6,655.25	36.7
木下北部	51	49	1	0	1	14,730.13	288.83	3,727.70	25.3	5,977.63	40.6
木下中部	19	17	1	0	1	5,646.40	297.18	1,540.59	27.3	2,524.06	44.7
木下南部	20	19	0	0	1	7,404.63	370.23	1,693.75	22.9	2,672.55	36.1
三日町	1	0	0	0	1	156.37	156.37	46.65	29.8	46.65	29.8
用途地域指定区域	198	175	10	3	10	76,245.17	385.10	18,302.36	24.0	26,839.79	35.2

資料：建築確認申請書、建築計画概要書（H24～H29）

表３－７　地区別新築状況（用途地域指定外区域）

地区名	新築件数（件）					敷地面積合計(㎡)	平均敷地面積(㎡)	建築面積合計(㎡)	平均建ぺい率(%)	延床面積合計(㎡)	平均容積率(%)
	合計	住宅	商業	工業	他						
松島北部	17	14	1	1	1	7,621.12	448.30	1,842.28	24.2	2,946.03	38.7
松島中部	18	17	0	0	1	5,797.37	322.08	1,324.37	22.8	2,063.84	35.6
松島南部	25	24	0	0	1	6,953.45	278.14	1,592.15	22.9	2,552.46	36.7
木下北部	2	2	0	0	0	782.26	391.13	125.30	16.0	230.20	29.4
木下中部	3	3	0	0	0	1,259.92	419.97	269.41	21.4	375.93	29.8
木下南部	10	7	0	1	2	4,901.76	490.18	1,917.95	39.1	2,800.63	57.1
南原	14	10	1	0	3	7,449.49	532.11	1,577.63	21.2	2,229.01	29.9
一の宮	7	4	0	0	3	5,193.73	741.96	556.70	10.7	785.69	15.1
沢上	63	54	2	2	5	37,215.01	590.71	8,770.92	23.6	15,178.70	40.8
沢	42	33	1	1	7	14,592.12	347.43	3,060.20	21.0	4,441.58	30.4
大出山口	11	8	0	0	3	5,115.39	465.04	769.33	15.0	1,084.69	21.2
大出	28	21	0	0	7	8,925.68	318.77	2,198.84	24.6	3,183.44	35.7
上古田	14	9	1	0	4	6,464.39	461.74	1,317.58	20.4	1,716.50	26.6
下古田	4	2	0	0	2	2,182.01	545.50	289.20	13.3	369.28	16.9
中原	14	14	0	0	0	4,674.25	333.88	1,147.50	24.5	1,649.64	35.3
八乙女	8	6	0	1	1	3,072.02	384.00	754.76	24.6	988.15	32.2
富田	11	9	0	0	2	5,349.05	486.28	994.33	18.6	1,430.01	26.7
中曽根	4	1	0	0	3	1,419.98	355.00	194.85	13.7	242.47	17.1
三日町	65	53	4	2	6	36,856.25	567.02	9,564.67	26.0	12,912.64	35.0
福与	5	5	0	0	0	1,454.34	290.87	326.00	22.4	533.43	36.7
長岡	26	24	0	0	2	10,700.15	411.54	2,204.35	20.6	3,285.38	30.7
北小河内	16	12	0	2	2	7,455.59	465.97	1,898.28	25.5	2,183.85	29.3
南小河内	9	6	0	0	3	8,893.59	988.18	2,293.99	25.8	2,536.21	28.5
用途地域指定外区域	416	338	10	10	58	194,328.92	467.14	44,990.59	23.2	65,719.76	33.8

資料：建築確認申請書、建築計画概要書（H24～H29）

表３－８　年度別新築状況

		新築件数（件）					敷地面積合計(㎡)	平均敷地面積(㎡)	建築面積合計(㎡)	平均建ぺい率(%)	延床面積合計(㎡)	平均容積率(%)
		合計	住宅	商業	工業	他						
用途地域指定区域	平成24年	19	19	0	0	0	5,125.27	269.75	1,484.90	29.0	2,344.53	45.7
	平成25年	14	14	0	0	0	4,423.38	315.96	1,027.65	23.2	1,526.96	34.5
	平成26年	56	48	1	1	6	20,256.15	361.72	4,837.54	23.9	6,870.21	33.9
	平成27年	38	36	2	0	0	15,964.76	420.13	3,574.73	22.4	5,444.27	34.1
	平成28年	33	30	2	1	0	13,649.75	413.63	3,289.48	24.1	4,878.05	35.7
	平成29年	38	28	5	1	4	16,825.86	442.79	4,088.06	24.3	5,775.77	34.3
	合計	198	175	10	3	10	76,245.17	385.08	18,302.36	24.0	26,839.79	35.2
用途地域指定外区域	平成24年	57	47	3	2	5	28,683.91	503.23	7,174.92	25.0	10,332.11	36.0
	平成25年	38	31	0	0	7	27,804.90	731.71	7,833.52	28.2	12,548.25	45.1
	平成26年	106	84	3	3	16	47,441.43	447.56	10,131.09	21.4	14,259.74	30.1
	平成27年	67	56	2	2	7	28,496.71	425.32	6,293.37	22.1	9,110.40	32.0
	平成28年	77	62	2	1	12	32,661.58	424.18	6,771.33	20.7	9,922.42	30.4
	平成29年	71	58	0	2	11	29,240.39	411.84	6,786.36	23.2	9,546.84	32.6
	合計	416	338	10	10	58	194,328.92	467.14	44,990.59	23.2	65,719.76	33.8
都市計画区域	平成24年	76	66	3	2	5	33,809.18	444.86	8,659.82	25.6	12,676.64	37.5
	平成25年	52	45	0	0	7	32,228.28	619.77	8,861.17	27.5	14,075.21	43.7
	平成26年	162	132	4	4	22	67,697.58	417.89	14,968.63	22.1	21,129.95	31.2
	平成27年	105	92	4	2	7	44,461.47	423.44	9,868.10	22.2	14,554.67	32.7
	平成28年	110	92	4	2	12	46,311.33	421.01	10,060.81	21.7	14,800.47	32.0
	平成29年	109	86	5	3	15	46,066.25	422.63	10,874.42	23.6	15,322.61	33.3
	合計	614	513	20	13	68	270,574.09	440.67	63,292.95	23.4	92,559.55	34.2

資料：建築確認申請書、建築計画概要書（H24～H29）

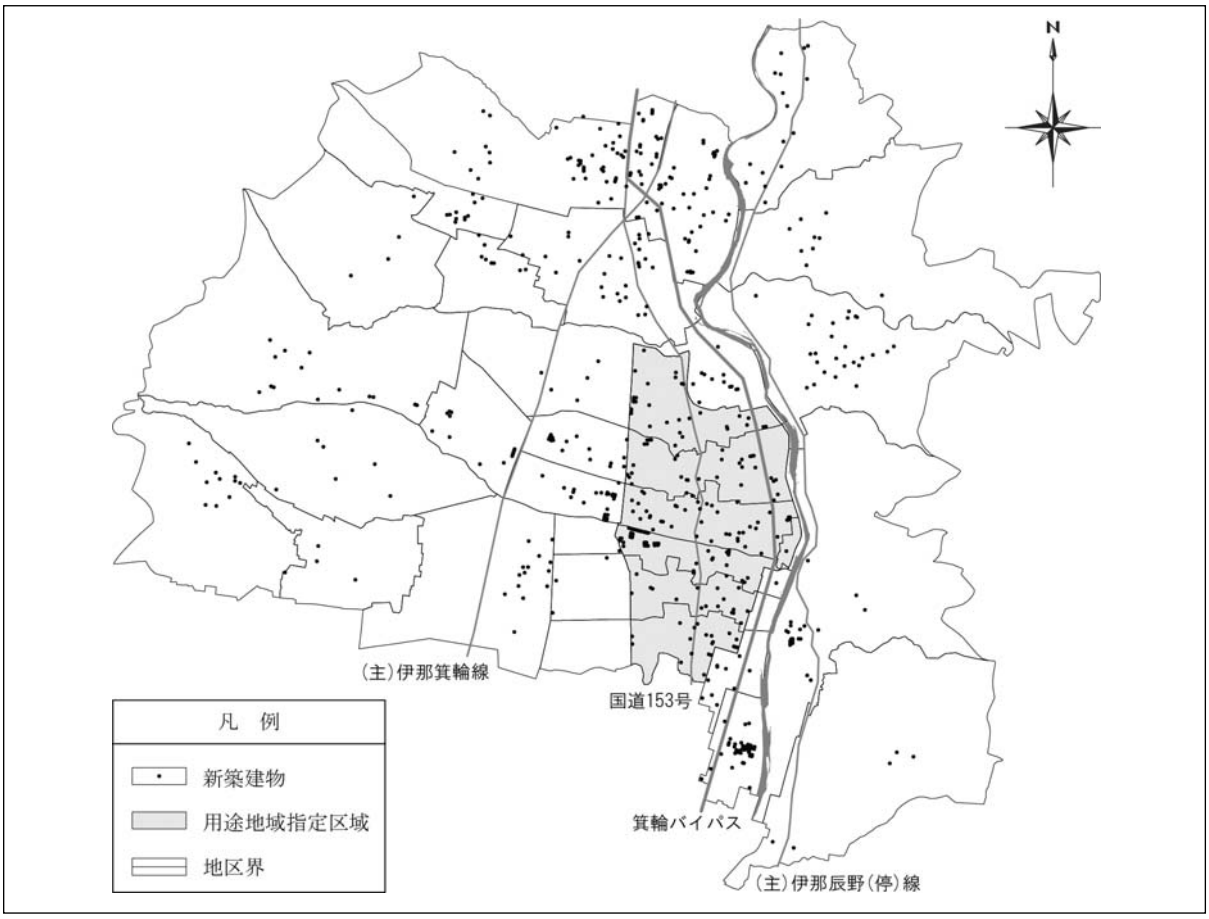


図３－６　新築建物分布図（平成24年から平成29年分）

C0308　条例・協定

都市計画に関する条例・要綱のうち県決定は、都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例、長野県屋外広告物条例がある。箕輪町では、箕輪町都市計画審議会条例や箕輪町景観条例、箕輪町都市公園条例等を定めている。

また、中心市街地に位置する松島仲町まちづくり協定が締結されている。

地域地区は用途地域が 370ha 指定されている。特別用途地区等のその他の地域地区は指定されていない。地区計画等についても指定はない。

表３－９　都市計画に関する条例・要綱

決定主体	条例・要綱等の名称	公布・決定年月日		概　要　・　主　旨　等
		当　初	最終変更	
長野県	屋外広告物条例	H5.10.18	H29.3.23	屋外広告物法の規定に基づき、屋外広告物の表示、設置、維持並びに屋外広告業の規制に関する必要な事項を定めるもの
	屋外広告物条例施行規則	H6.5.26	H29.7.3	屋外広告物条例の規定に基づき、条例の施行について必要な事項を定めるもの
	都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例	H16.3.29	H19.10.22	開発許可等の基準に関し必要な事項を定めるもの
	都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例施行規則	H16.6.28		都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の施行に関し必要な事項を定めるもの
	都市計画法に基づく開発行為等の規制に関する規則	S46.1.28	H29.3.31	開発行為等の規制に関し必要な事項を定めるもの
箕輪町	箕輪町都市計画審議会条例	S44.11.28	H27.3.19	都市計画行政の円滑な運営を図るため設置する箕輪町都市計画審議会に関する事項を定めるもの
	箕輪町都市児童公園条例	S48.10.8	S50.6.28	都市児童公園の設置及び管理に関する必要な事項を定めるもの
	箕輪町都市計画公聴会規則	S48.12.28		箕輪町都市計画公聴会の運営等に関する必要な事項を定めるもの
	箕輪町都市下水路条例	S52.4.18	S57.3.20	都市下水路の設置及び管理について必要な事項を定めるもの
	箕輪町都市公園条例	S56.6.26	H25.3.21	都市公園の設置及び管理について必要な事項を定めるもの
	箕輪町下水道条例	H5.9.20	H29.12.22	公共下水道の設置その他の管理について必要な事項を定めるもの
	箕輪町屋外広告物に関する規則	H12.3.30	H29.9.21	長野県屋外広告物条例等の条例の施行について必要な事項を定めるもの
	箕輪町屋外広告物違反処理要領	H12.3.24	H28.4.1	屋外広告物法等に基づき、違反広告物に対する除却その他必要な措置に係る手続きに関し、必要な事項を定めるもの
	箕輪町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める規則	H25.3.21		箕輪町都市公園条例の規定に基づき、及び同条例の施行に関し、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に規定する移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定めるもの
	箕輪町景観条例	H27.12.21		景観法の規定に基づく、景観計画の策定、行為の規制その他良好な景観の形成に関する施策の基本となる事項を定めるもの
	箕輪町景観条例施行規則	H27.12.22		景観法、景観法施行令、景観法施行規則及び箕輪町景観条例の施行に関し必要な事項を定めるもの

資料：長野県例規集、箕輪町例規集

表３－10　住民協定一覧

協 定 の 名 称	決定年月日	期　限	協　定　の　内　容
松島仲町まちづくり協定	H11. 7. 2 認定	５年間※	松島仲町商店街における町並み景観形成に関する事項について協定し、統一した明るい町並みを作ることを目的とした協定

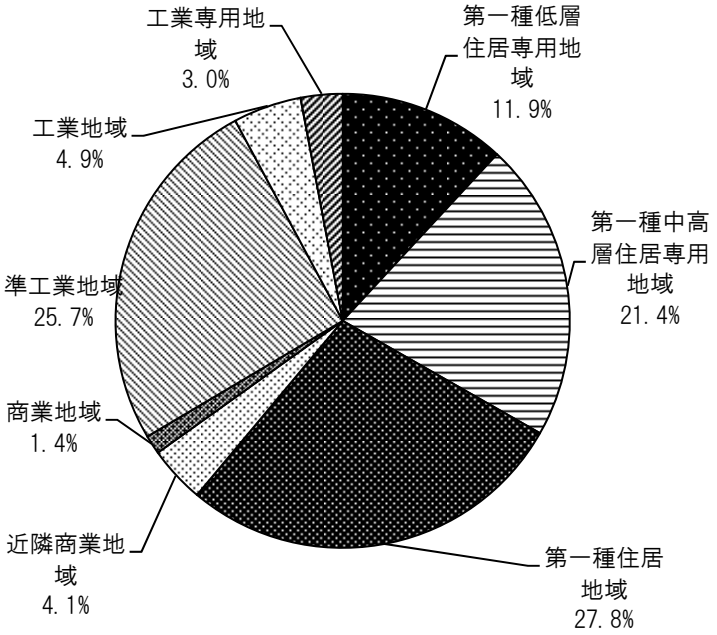
資料：建設課

注）※は期間満了前に協定者の３分の２以上から廃止の申し出がなかった場合は、更に５年間延長されるものとし、以降同様とする。

表３－11　都市地域（用途地域指定区域）

用途地域指定外区域(ha)	用途地域指定区域(ha)														備考
	総面積	第一種低層住居専用地域	第二種低層住居専用地域	第一種中高層住居専用地域	第二種中高層住居専用地域	第一種住居地域	第二種住居地域	準住居地域	田園住居地域	近隣商業地域	商業地域	準工業地域	工業地域	工業専用地域	
3,843	370	44		79		103				15	5.0	95	18	11	用途地域決定年月日 最終H28.12.15 人口総数　25,241人 (平成27年国勢調査)

資料：建設課



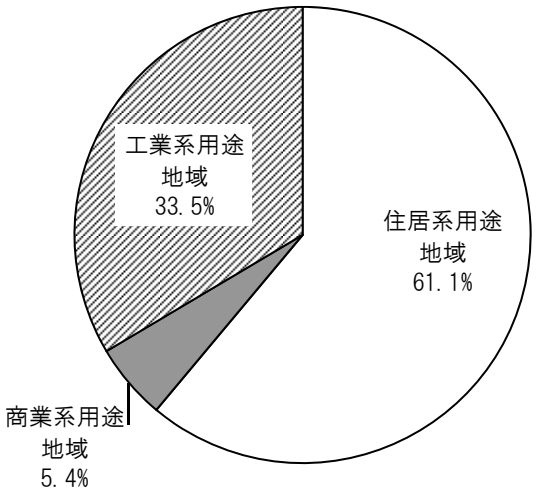


図３－７　用途地域指定区域面積構成比

④ 建　物

C0401　建物用途別現況

C0401-2　地区別木造率現況

用途地域指定区域における木造率は棟数では 73.1%、延床面積では 50.2%となっている。

地区別では、木造建物の棟数比率をみると、松島区の宮本が 89.8%と最も高く、次いで松島区の西小路が 88.0%、木下区の上二が 87.6%と高い値を示している。

表４－１　地区別木造率現況

地区名	全建物 棟数 (棟)	全建物 延床面積 (㎡)	木造建物 棟数 (棟)	木造建物 比率 (%)	木造建物 延床面積 (㎡)	木造建物 比率 (%)
松島区	3,491	543,294.16	2,423	69.4	228,113.62	42.0
松島北部	1,070	147,772.99	803	75.0	75,427.94	51.0
東町	385	56,717.00	267	69.4	26,369.14	46.5
北町	406	65,032.15	291	71.7	28,518.90	43.9
宮本	118	9,503.90	106	89.8	8,723.18	91.8
西小路	92	9,415.37	81	88.0	6,437.61	68.4
元町	69	7,104.57	58	84.1	5,379.11	75.7
松島中部	1,278	223,159.96	787	61.6	72,956.01	32.7
日の出	120	12,957.82	87	72.5	6,794.56	52.4
日の出新町	522	110,942.39	254	48.7	26,308.61	23.7
旭町	53	5,612.28	41	77.4	4,103.37	73.1
仲町	197	29,292.56	136	69.0	11,590.97	39.6
西町	145	12,360.03	126	86.9	10,757.62	87.0
中山	134	41,120.62	63	47.0	6,816.94	16.6
通り町	107	10,874.26	80	74.8	6,583.94	60.5
松島南部	1,143	172,361.21	833	72.9	79,729.67	46.3
本町	210	25,507.16	166	79.0	14,664.29	57.5
坂井	362	74,805.20	240	66.3	25,903.58	34.6
西町	108	9,408.86	91	84.3	7,578.24	80.5
南町	463	62,639.99	336	72.6	31,583.56	50.4
木下区	2,800	301,989.03	2,185	78.0	198,090.69	65.6
木下北部	769	107,574.35	579	75.3	52,193.29	48.5
中条	184	45,270.95	114	62.0	11,418.95	25.2
上一	308	39,130.99	224	72.7	20,668.36	52.8
上二	145	13,280.67	127	87.6	11,334.17	85.3
上町・西垣外	132	9,891.74	114	86.4	8,771.81	88.7
木下中部	1,100	105,236.08	868	78.9	77,931.57	74.1
上の林	12	1,489.57	6	50.0	815.90	54.8
泉沢	159	15,903.25	126	79.2	10,536.58	66.3
北城	359	34,735.18	273	76.0	25,669.92	73.9
東村	146	12,445.94	125	85.6	10,791.02	86.7
中1・南宮	165	14,087.80	142	86.1	11,677.00	82.9
栄町	259	26,574.34	196	75.7	18,441.15	69.4
木下南部	931	89,178.60	738	79.3	67,965.83	76.2
東・西殿	269	28,666.62	214	79.6	20,870.44	72.8
宮本・天王	122	11,876.00	104	85.2	9,675.50	81.5
上の段	145	11,761.33	112	77.2	9,236.04	78.5
南城	137	13,977.19	116	84.7	12,905.17	92.3
南部	258	22,897.46	192	74.4	15,278.68	66.7
三日町区	35	7,305.34	19	54.3	1,839.50	25.2%
用途地域指定区域	6,326	852,588.53	4,627	73.1	428,043.81	50.2%

資料：財務省、家屋課税台帳、県財産活用課財産企画係、町有財産帳他

注）非課税分を含む

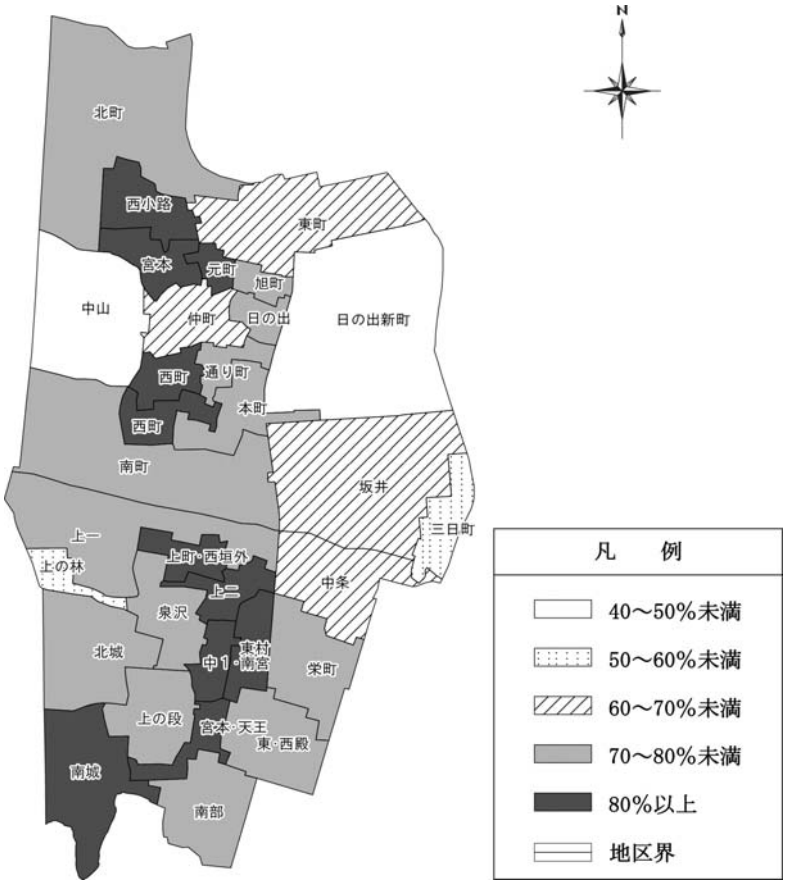


図４－１　地区別木造率状況（棟数）

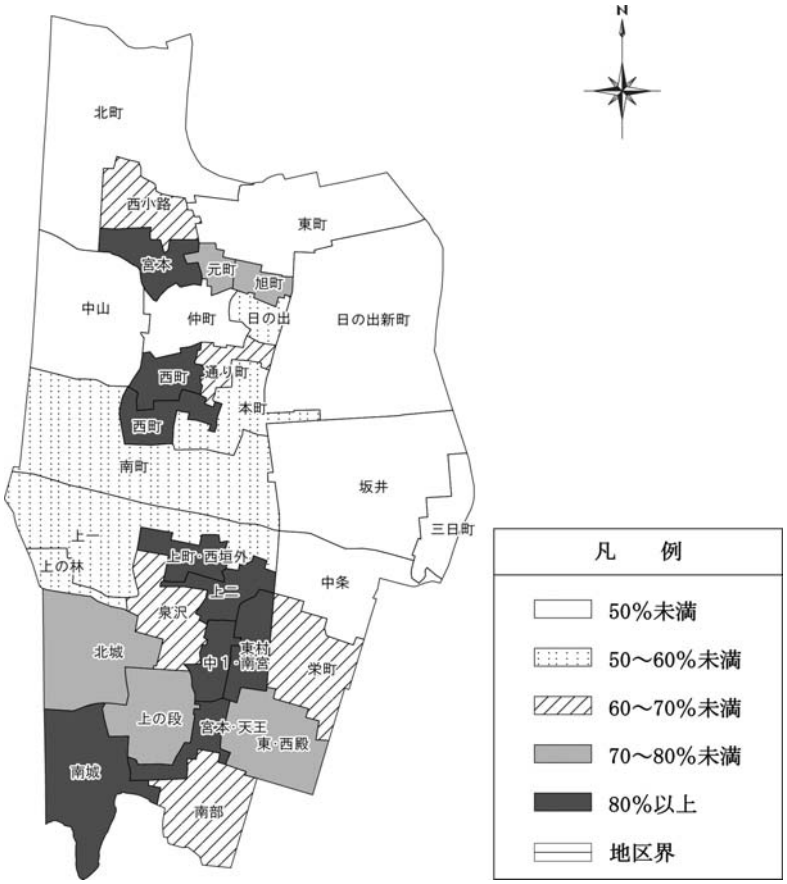


図４－２　地区別木造率状況（延床面積）

C0401-3　地区別建ぺい率現況

用途地域指定区域における建ぺい率は、ネット建ぺい率が 26.0%、グロス建ぺい率が 13.3%となっている。

地区別ネット建ぺい率をみると、松島区の日の出が 37.6%と最も高く、次いで木下区の中１・南宮、上二が高くなっている。また、平成 24 年度と比較して増加率が高いのは、松島区の中山、木下区の上一だが、いずれも学校施設等公共施設が集積する地区である。

表４－２　地区別建ぺい率現況

地区名	ネット建ぺい率			前回建ぺい率	建ぺい率の増減	グロス建ぺい率		現況用途地域及び指定建ぺい率
	宅地面積合計(㎡)	建築面積合計(㎡)	建ぺい率A(%)	B(%)	A-B(%)	地区面積合計(㎡)	建ぺい率(%)	
松島区	1,176,709	312,458.66	26.6	28.8	-2.2	2,255,000	13.9	
松島北部	313,372	84,086.40	26.8	30.4	-3.5	716,000	11.7	
東町	116,983	32,748.96	28.0	33.2	-5.2	200,000	16.4	1住(60)準工(60)工業(60)
北町	135,151	36,202.81	26.8	30.4	-3.7	366,000	9.9	1中高(60)1住(60)準工(60)
宮本	23,777	5,909.07	24.9	20.9	4.0	57,000	10.4	1中高(60)1住(60)
西小路	23,296	5,347.25	23.0	25.6	-2.7	72,000	7.4	1中高(60)1住(60)
元町	14,165	3,878.31	27.4	34.8	-7.4	21,000	18.5	1住(60)商業(80)
松島中部	469,405	132,847.01	28.3	29.1	-0.8	812,000	16.4	
日の出	16,818	6,331.42	37.6	45.5	-7.9	29,000	21.8	1住(60)近商(80)商業(80)
日の出新町	239,093	70,635.61	29.5	29.6	-0.04	406,000	17.4	準工(60)工業(60)工専(60)
旭町	15,170	3,362.74	22.2	37.9	-15.7	24,000	14.0	1住(60)商業(80)
仲町	53,192	15,363.97	28.9	34.8	-5.9	78,000	19.7	1住(60)1中高(60)近商(80)商業(80)
西町	31,116	6,992.92	22.5	29.5	-7.1	43,000	16.3	1中高(60)1住(60)
中山	90,811	23,758.46	26.2	17.9	8.3	199,000	11.9	1低住(40)1中高(60)1住(60)
通り町	23,205	6,401.89	27.6	45.2	-17.6	33,000	19.4	1住(60)近商(80)
松島南部	393,932	95,525.25	24.2	27.1	-2.8	727,000	13.1	
本町	51,585	14,076.82	27.3	44.6	-17.3	77,000	18.3	1住(60)商業(80)近商(80)準工(60)
坂井	172,215	40,246.08	23.4	24.7	-1.4	305,000	13.2	1住(60)準工(60)工業(60)
西町	24,776	5,244.80	21.2	26.8	-5.6	47,000	11.2	1中高(60)1住(60)
南町	145,356	35,957.55	24.7	24.1	0.7	298,000	12.1	1低住(40)1中高(60)1住(60)近商(80)
木下区	694,256	175,477.94	25.3	27.7	-2.5	1,386,000	12.7	
木下北部	233,178	59,810.46	25.7	26.9	-1.3	429,000	13.9	
中条	76,997	21,884.29	28.4	36.1	-7.7	130,000	16.8	1住(60)準工(60)
上一	104,338	23,488.24	22.5	15.5	7.0	211,000	11.1	1低住(40)1中高(60)1住(60)
上二	27,336	8,190.16	30.0	35.9	-6.0	46,000	17.8	1中高(60)1住(60)
上町・西垣外	24,507	6,247.77	25.5	33.1	-7.6	42,000	14.9	1中高(60)1住(60)
木下中部	254,244	62,164.04	24.5	26.5	-2.1	459,000	13.5	
上の林	3,633	805.88	22.2	19.0	3.2	30,000	2.7	1低住(40,50)1中高(60)1住(60)
泉沢	38,533	9,136.27	23.7	25.8	-2.1	82,000	11.1	1低住(50)1中高(60)1住(60)
北城	96,564	20,508.02	21.2	26.6	-5.3	147,000	14.0	1低住(50)1中高(60)
東村	24,797	7,315.92	29.5	27.7	1.8	51,000	14.3	1住(60)近商(80)
中1・南宮	25,785	7,968.31	30.9	32.2	-1.3	37,000	21.5	1中高(60)1住(60)近商(80)
栄町	64,932	16,429.64	25.3	24.5	0.8	112,000	14.7	1住(60)準工(60)
木下南部	206,834	53,503.44	25.9	30.0	-4.1	498,000	10.7	
東・西殿	58,895	16,655.60	28.3	37.5	-9.2	111,000	15.0	1住(60)近商(80)準工(60)
宮本・天王	23,744	7,005.62	29.5	30.0	-0.5	40,000	17.5	1中高(60)1住(60)近商(80)
上の段	30,353	7,080.22	23.3	21.1	2.3	94,000	7.5	1低住(40)1中高(60)
南城	40,475	8,439.74	20.9	28.8	-8.0	145,000	5.8	1低住(40)1中高(60)
南部	53,367	14,322.26	26.8	29.4	-2.6	108,000	13.3	1中高(60)1住(60)
三日町区	18,671	3,974.15	21.3	25.3	-4.0	59,000	6.7	準工(60)工業(60)
用途地域指定区域	1,889,636	491,910.75	26.0	28.4	-2.3	3,700,000	13.3	

資料：財務省、家屋課税台帳、県財産活用課財産企画係、町有財産帳他

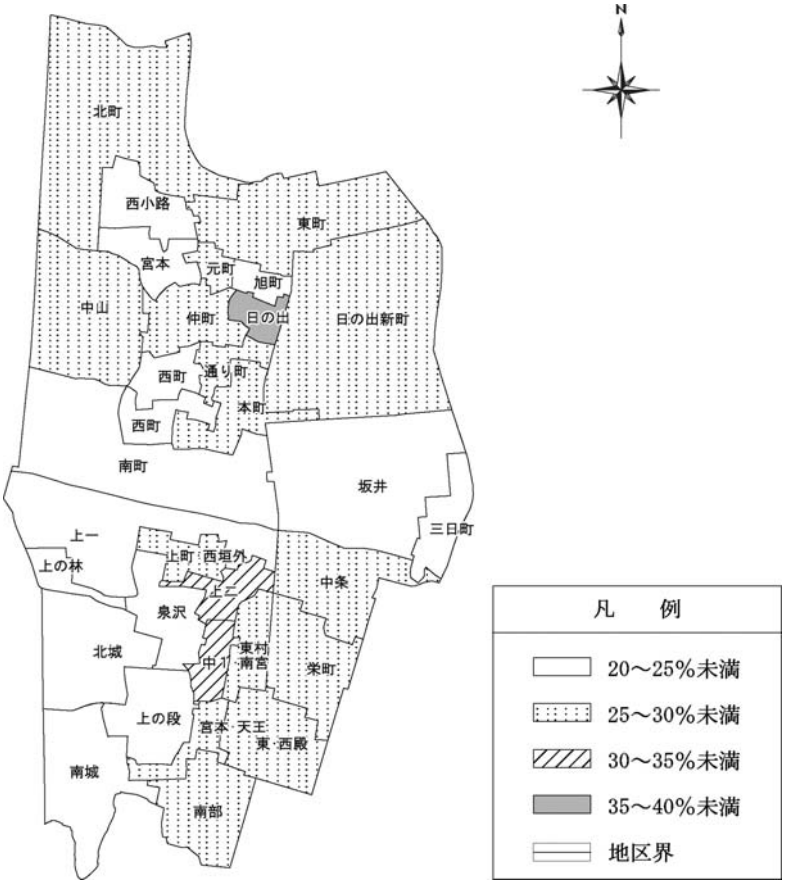


図４－３　地区別建ぺい率現況（ネット建ぺい率）

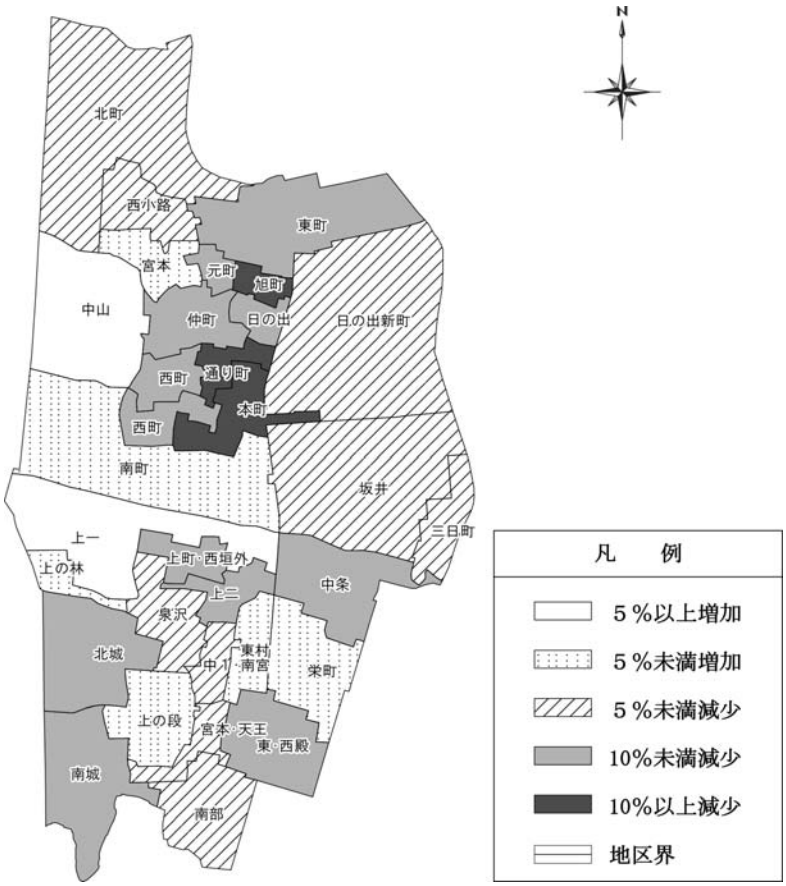


図４－４　地区別建ぺい率増減状況（平成 24 年度比）

C0401-4　地区別容積率現況

用途地域指定区域におけるネット容積率は41.1%、グロス容積率7.8%となっている。

地区別ネット容積率をみると、松島区の日の出が77.0%と最も高く、次いで木下区の中条、松島区の仲町が高くなっている。また、平成24年度と比較して増加率が高いのは、松島区の中山、木下区の上一であり、いずれも学校施設等公共施設が集積する地区である。

表４－３　地区別容積率現況

地区名	ネット容積率			前回容積率	容積率の増減	グロス容積率		現況用途地域及び指定容積率
	宅地面積合計(㎡)	延床面積合計(㎡)	容積率A(%)	B(%)	A-B(%)	地区面積合計(㎡)	容積率(%)	
松島区	1,176,709	543,294.16	46.2	42.1	4.1	2,255,000	24.1	
松島北部	313,372	147,772.99	47.2	42.6	4.5	716,000	20.6	
東町	116,983	56,717.00	48.5	46.6	1.9	200,000	28.4	1住(200)準工(200)工業(200)
北町	135,151	65,032.15	48.1	42.7	5.4	366,000	17.8	1中高(200)1住(200)準工(200)
宮本	23,777	9,503.90	40.0	28.3	11.6	57,000	16.7	1中高(200)1住(200)
西小路	23,296	9,415.37	40.4	34.4	6.0	72,000	13.1	1中高(200)1住(200)
元町	14,165	7,104.57	50.2	54.4	-4.2	21,000	33.8	1住(200)商業(400)
松島中部	469,405	223,159.96	47.5	42.6	4.9	812,000	27.5	
日の出	16,818	12,957.82	77.0	76.7	0.3	29,000	44.7	1住(200)近商(200)商業(400)
日の出新町	239,093	110,942.39	46.4	42.6	3.8	406,000	27.3	準工(200)工業(200)工専(200)
旭町	15,170	5,612.28	37.0	49.7	-12.7	24,000	23.4	1住(200)商業(400)
仲町	53,192	29,292.56	55.1	49.2	5.9	78,000	37.6	1住(200)1中高(200)近商(200)商業(400)
西町	31,116	12,360.03	39.7	41.3	-1.6	43,000	28.7	1中高(200)1住(200)
中山	90,811	41,120.62	45.3	28.5	16.8	199,000	20.7	1低住(60)1中高(200)1住(200)
通り町	23,205	10,874.26	46.9	65.2	-18.4	33,000	33.0	1住(200)近商(200)
松島南部	393,932	172,361.21	43.8	41.0	2.7	727,000	23.7	
本町	51,585	25,507.16	49.4	69.3	-19.9	77,000	33.1	1住(200)商業(400)近商(200)準工(200)
坂井	172,215	74,805.20	43.4	35.9	7.5	305,000	24.5	1住(200)準工(200)工業(200)
西町	24,776	9,408.86	38.0	38.1	-0.1	47,000	20.0	1中高(200)1住(200)
南町	145,356	62,639.99	43.1	38.1	5.0	298,000	21.0	1低住(60)1中高(200)1住(200)近商(200)
木下区	694,256	301,989.03	43.5	39.7	3.8	1,386,000	21.8	
木下北部	233,178	107,574.35	46.1	41.0	5.1	429,000	25.1	
中条	76,997	45,270.95	58.8	63.5	-4.7	130,000	34.8	1住(200)準工(200)
上一	104,338	39,130.99	37.5	21.3	16.3	211,000	18.5	1低住(60)1中高(200)1住(200)
上二	27,336	13,280.67	48.6	50.8	-2.2	46,000	28.9	1中高(200)1住(200)
上町・西垣外	24,507	9,891.74	40.4	39.2	1.1	42,000	23.6	1中高(200)1住(200)
木下中部	254,244	105,236.08	41.4	36.1	5.3	459,000	22.9	
上の林	3,633	1,489.57	41.0	28.6	12.4	30,000	5.0	1低住(60,80)1中高(200)1住(200)
泉沢	38,533	15,903.25	41.3	36.0	5.2	82,000	19.4	1低住(80)1中高(200)1住(200)
北城	96,564	34,735.18	36.0	35.1	0.8	147,000	23.6	1低住(80)1中高(200)
東村	24,797	12,445.94	50.2	37.4	12.8	51,000	24.4	1住(200)近商(200)
中1・南宮	25,785	14,087.80	54.6	46.2	8.4	37,000	38.1	1中高(200)1住(200)近商(200)
栄町	64,932	26,574.34	40.9	32.9	8.0	112,000	23.7	1住(200)準工(200)
木下南部	206,834	89,178.60	43.1	42.6	0.5	498,000	17.9	
東・西殿	58,895	28,666.62	48.7	54.9	-6.2	111,000	25.8	1住(200)近商(200)準工(200)
宮本・天王	23,744	11,876.00	50.0	42.8	7.2	40,000	29.7	1中高(200)1住(200)近商(200)
上の段	30,353	11,761.33	38.7	27.5	11.2	94,000	12.5	1低住(60)1中高(200)
南城	40,475	13,977.19	34.5	43.6	-9.1	145,000	9.6	1低住(60)1中高(200)
南部	53,367	22,897.46	42.9	39.9	3.0	108,000	21.2	1中高(200)1住(200)
三日町区	18,671	7,305.34	39.1	34.7	4.4	59,000	12.4	準工(200)工業(200)
用途地域指定区域	1,889,636	852,588.53	45.1	41.1	4.0	10,982,000	7.8	

資料：財務省、家屋課税台帳、県財産活用課財産企画係、町有財産帳他

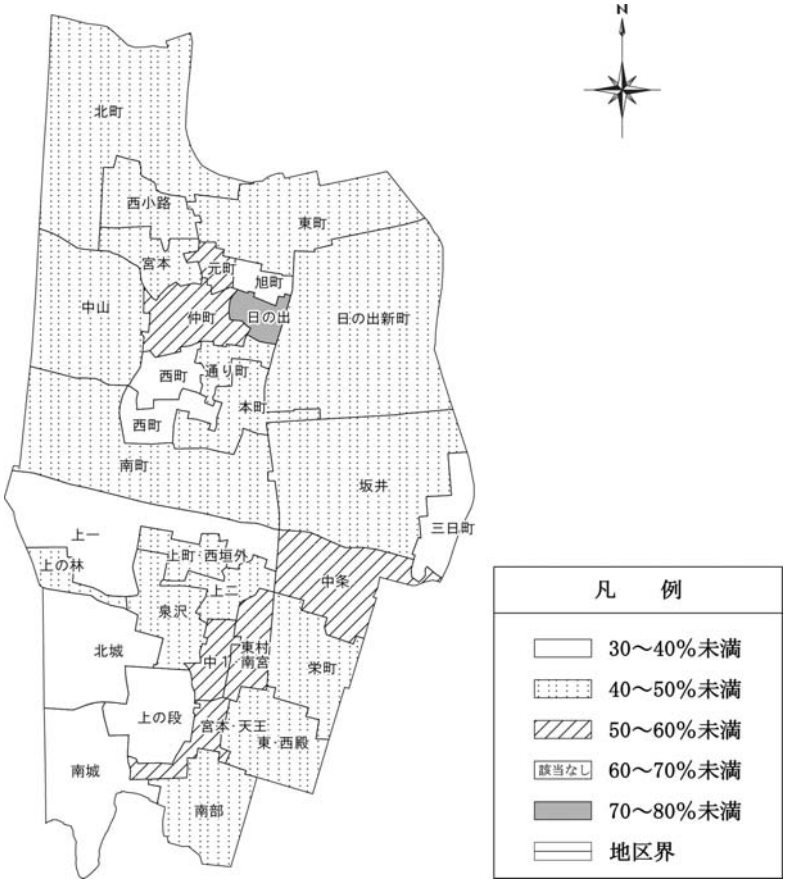


図４－５　地区別容積率現況（ネット容積率）

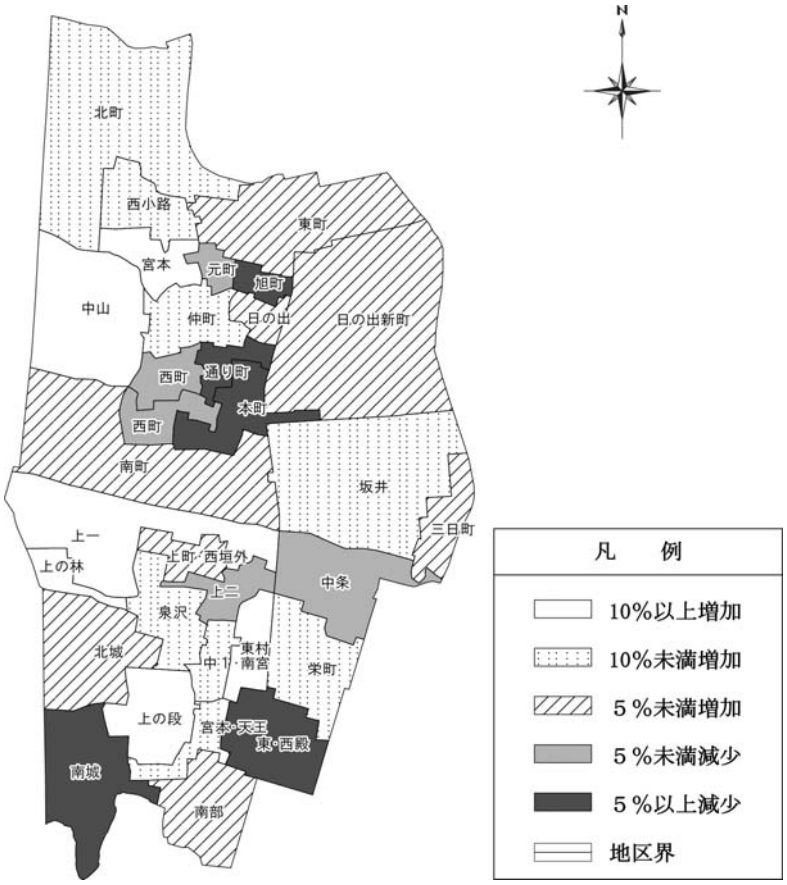


図４－６　地区別容積率増減状況（平成 24 年度比）

C0401-5　地区別、用途別の建物延べ床面積現況

用途地域指定区域における用途別の建物延べ床面積をみると、852,588.53 ㎡のうち住宅が57.8%を占めており、次いで専用工場・倉庫が20.4%、専用店舗・事務所が8.7%となっている。

地区別の最大延べ床面積を占めている建物用途をみると、工業専用地域のある松島区の日の出新町、工場集積地である三日町区及び木下区の中条は、専用工場・倉庫の占める割合が最も高い。公共施設の集積している松島区の中山はその他が76.5%を占めている。

表４－４　地区別用途別建物延べ床面積現況

地区名	住宅		工場・倉庫併用住宅		専用工場・倉庫		店舗・事務所併用住宅		専用店舗・事務所		その他		合計
	延面積(㎡)	比率(%)	延面積(㎡)	比率(%)	延面積(㎡)	比率(%)	延面積(㎡)	比率(%)	延面積(㎡)	比率(%)	延面積(㎡)	比率(%)	延面積(㎡)
松島区	267,663.98	49.3	3,427.65	0.6	128,705.66	23.7	23,653.66	4.4	66,931.44	12.3	52,911.77	9.7	543,294.16
松島北部	87,416.26	59.2	1,138.34	0.8	41,617.97	28.2	2,923.60	2.0	14,272.38	9.7	404.44	0.3	147,772.99
東町	28,936.54	51.0	981.53	1.7	15,437.56	27.2	1,923.56	3.4	9,033.37	15.9	404.44	0.7	56,717.00
北町	35,863.78	55.1	156.81	0.2	24,117.85	37.1	700.78	1.1	4,192.93	6.4	0.00	0.0	65,032.15
宮本	9,373.90	98.6	0.00	0.0	130.00	1.4	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	9,503.90
西小路	7,488.22	79.5	0.00	0.0	1,927.15	20.5	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	9,415.37
元町	5,753.82	81.0	0.00	0.0	5.41	0.1	299.26	4.2	1,046.08	14.7	0.00	0.0	7,104.57
松島中部	81,845.04	36.7	1,629.58	0.7	63,567.19	28.5	13,594.47	6.1	22,072.97	9.9	40,450.71	18.1	223,159.96
日の出	5,455.34	42.1	541.56	4.2	51.76	0.4	4,008.03	30.9	2,705.78	20.9	195.35	1.5	12,957.82
日の出新町	34,221.10	30.8	360.81	0.3	61,604.48	55.5	1,948.60	1.8	11,798.61	10.6	1,008.79	0.9	110,942.39
旭町	4,313.20	76.9	0.00	0.0	608.82	10.8	346.30	6.2	343.96	6.1	0.00	0.0	5,612.28
仲町	11,859.71	40.5	428.41	1.5	886.42	3.0	4,013.04	13.7	4,467.23	15.3	7,637.75	26.1	29,292.56
西町	11,774.41	95.3	0.00	0.0	48.75	0.4	301.18	2.4	103.20	0.8	132.49	1.1	12,360.03
中山	9,049.59	22.0	0.00	0.0	33.05	0.1	238.48	0.6	323.17	0.8	31,476.33	76.5	41,120.62
通り町	5,171.69	47.6	298.80	2.7	333.91	3.1	2,738.84	25.2	2,331.02	21.4	0.00	0.0	10,874.26
松島南部	98,402.68	57.1	659.73	0.4	23,520.50	13.6	7,135.59	4.1	30,586.09	17.7	12,056.62	7.0	172,361.21
本町	14,732.16	57.8	187.54	0.7	1,486.62	5.8	3,101.57	12.2	5,939.78	23.3	59.49	0.2	25,507.16
坂井	37,984.87	50.8	0.00	0.0	14,639.23	19.6	1,860.50	2.5	20,226.35	27.0	94.25	0.1	74,805.20
西町	8,707.79	92.5	0.00	0.0	184.92	2.0	516.15	5.5	0.00	0.0	0.00	0.0	9,408.86
南町	36,977.86	59.0	472.19	0.8	7,209.73	11.5	1,657.37	2.6	4,419.96	7.1	11,902.88	19.0	62,639.99
木下区	221,917.67	73.5	2,815.51	0.9	41,921.15	13.9	10,051.14	3.3	6,630.46	2.2	18,653.10	6.2	301,989.03
木下北部	54,641.33	50.8	1,121.14	1.0	31,240.79	29.0	2,727.75	2.5	1,528.43	1.4	16,314.91	15.2	107,574.35
中条	13,406.06	29.6	0.00	0.0	30,730.57	67.9	389.11	0.9	745.21	1.6	0.00	0.0	45,270.95
上一	22,057.55	56.4	655.03	1.7	226.14	0.6	1,084.64	2.8	207.54	0.5	14,900.09	38.1	39,130.99
上二	10,262.37	77.3	466.11	3.5	284.08	2.1	570.84	4.3	401.53	3.0	1,295.74	9.8	13,280.67
上町・西垣外	8,915.35	90.1	0.00	0.0	0.00	0.0	683.16	6.9	174.15	1.8	119.08	1.2	9,891.74
木下中部	91,907.15	87.3	166.88	0.2	4,961.70	4.7	4,049.50	3.8	2,756.21	2.6	1,394.64	1.3	105,236.08
上の林	1,489.57	100.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	1,489.57
泉沢	14,154.72	89.0	0.00	0.0	961.54	6.0	59.50	0.4	468.29	2.9	259.20	1.6	15,903.25
北城	33,491.42	96.4	0.00	0.0	0.00	0.0	852.06	2.5	118.07	0.3	273.63	0.8	34,735.18
東村	10,996.66	88.4	0.00	0.0	0.00	0.0	1,251.77	10.1	197.51	1.6	0.00	0.0	12,445.94
中1・南宮	11,345.77	80.5	0.00	0.0	190.36	1.4	1,022.72	7.3	1,319.30	9.4	209.65	1.5	14,087.80
栄町	20,429.01	76.9	166.88	0.6	3,809.80	14.3	863.45	3.2	653.04	2.5	652.16	2.5	26,574.34
木下南部	75,369.19	84.5	1,527.49	1.7	5,718.66	6.4	3,273.89	3.7	2,345.82	2.6	943.55	1.1	89,178.60
東・西殿	22,429.50	78.2	567.13	2.0	3,201.40	11.2	1,632.02	5.7	608.15	2.1	228.42	0.8	28,666.62
宮本・天王	8,849.66	74.5	653.66	5.5	466.80	3.9	1,277.43	10.8	447.28	3.8	181.17	1.5	11,876.00
上の段	11,174.26	95.0	0.00	0.0	288.87	2.5	33.05	0.3	265.15	2.3	0.00	0.0	11,761.33
南城	13,443.23	96.2	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	533.96	3.8	13,977.19
南部	19,472.54	85.0	306.70	1.3	1,761.59	7.7	331.39	1.4	1,025.24	4.5	0.00	0.0	22,897.46
三日町区	3,336.62	45.7	0.00	0.0	3,485.01	47.7	0.00	0.0	215.79	3.0	267.92	3.7	7,305.34
用途地域指定区域	492,918.27	57.8	6,243.16	0.7	174,111.82	20.4	33,704.80	4.0	73,777.69	8.7	71,832.79	8.4	852,588.53

資料：財務省、家屋課税台帳、県財産活用課財産企画係、町有財産帳他

注）非課税分を含む

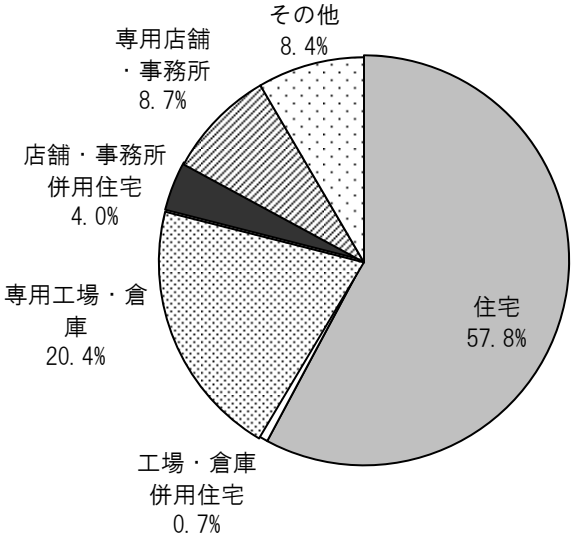


図４－７　用途別建物延べ床面積構成比（用途地域指定区域）

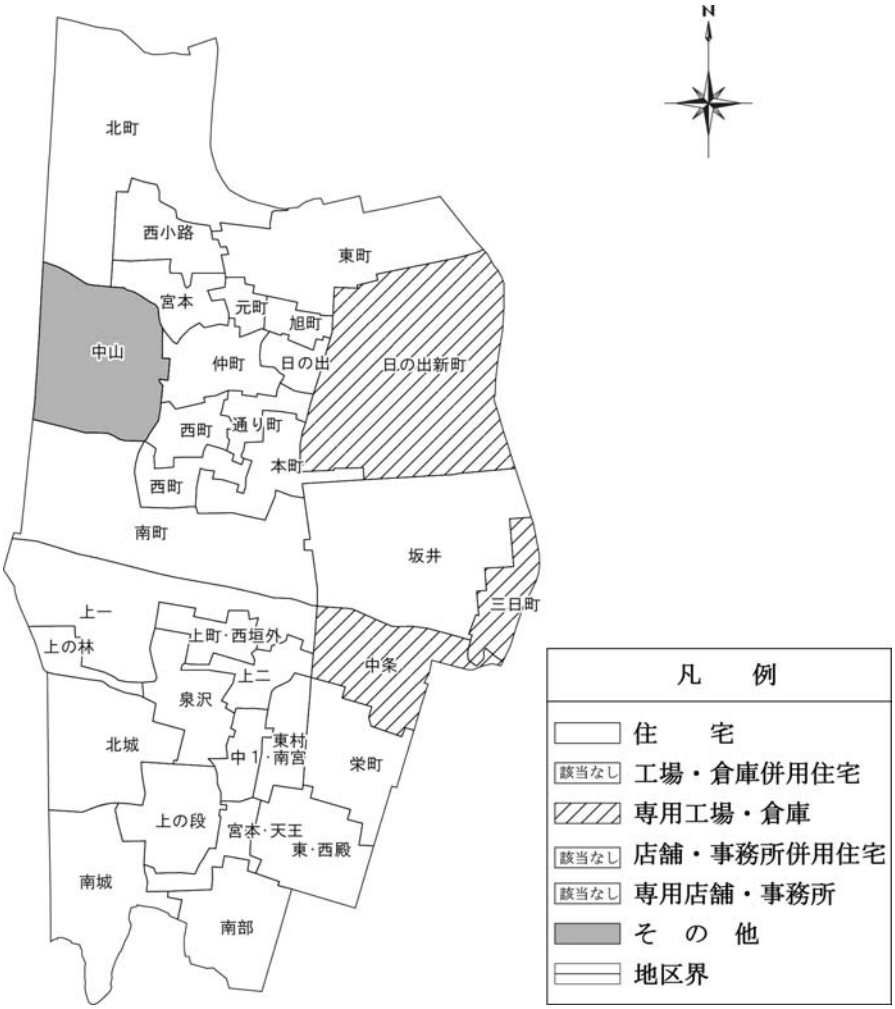


図４－８　地区別最大延べ床面積を占めている建物用途

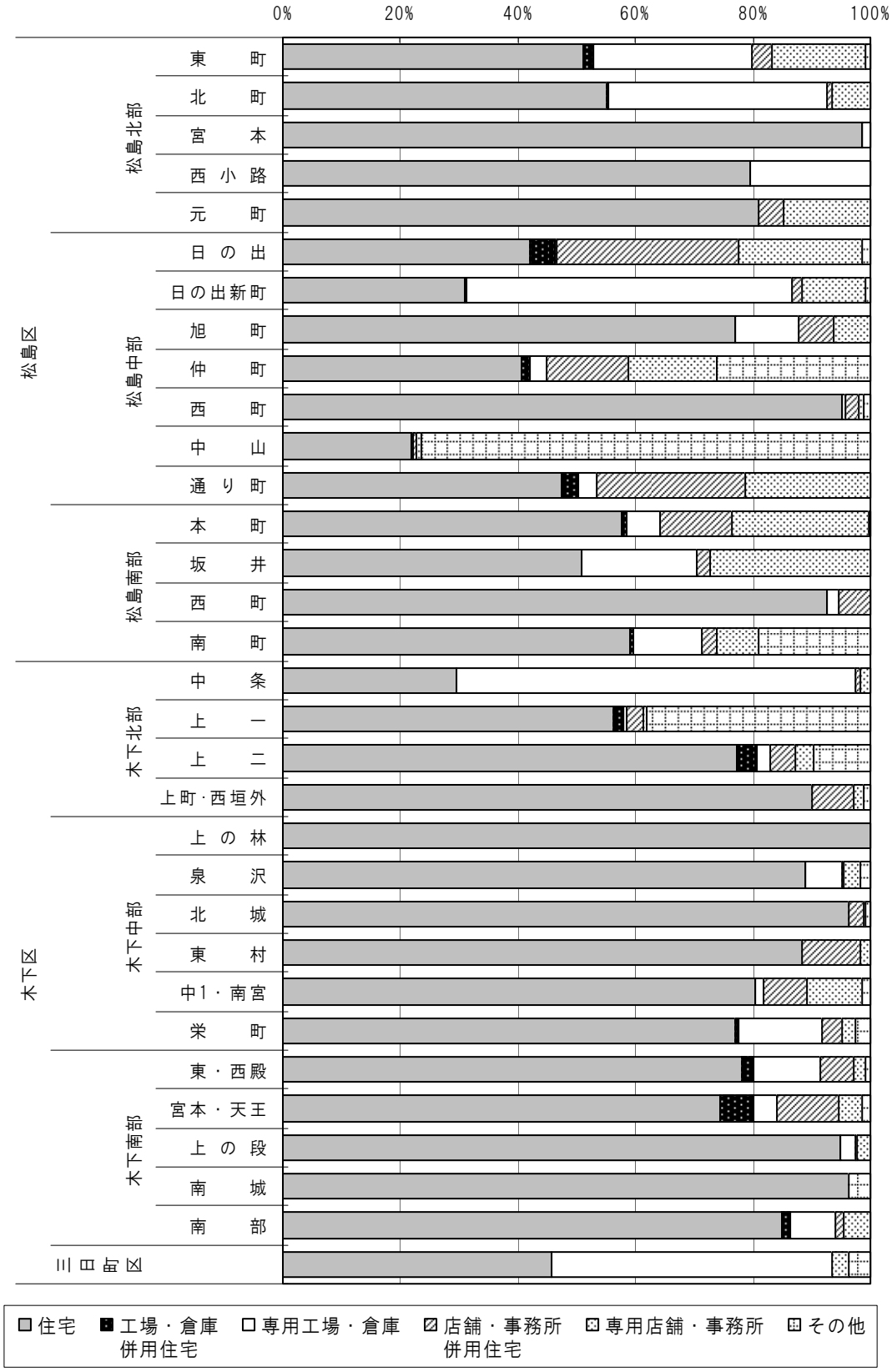


図４－９　地区別用途別延べ床面積構成比

C0401-6　建物年齢別現況

用途地域指定区域における建物年齢別現況は 30 年以上が 66.4%を占め、昭和 56 年以前は 54.2%と半数以上を占めている。

昭和 56 年以前の建物棟数割合を地区別でみると、松島区では日の出、木下区では中１・南宮が高く、いずれも 80%以上である。60%以上を占める地区の多くは、国道 153 号沿いの中心市街地となっている。

表４－５　地区別建物年齢別現況

地区名	全建物棟数	0～4年		5～9年		10～14年		15～19年		20～24年		25～29年		30年以上			
														(S57以降)		(S56以前)	
		棟数(棟)	比率(%)	棟数(棟)	比率(%)	棟数(棟)	比率(%)	棟数(棟)	比率(%)	棟数(棟)	比率(%)	棟数(棟)	比率(%)	棟数(棟)	比率(%)	棟数(棟)	比率(%)
松島区	3,491	124	3.6	126	3.6	122	3.5	266	7.6	294	8.4	272	7.8	455	13.0	1,832	52.5
松島北部	1,070	33	3.1	30	2.8	31	2.9	66	6.2	89	8.3	94	8.8	145	13.6	582	54.4
東町	385	9	2.3	7	1.8	7	1.8	19	4.9	25	6.5	45	11.7	68	17.7	205	53.2
北町	406	19	4.7	16	3.9	17	4.2	34	8.4	39	9.6	36	8.9	59	14.5	186	45.8
宮本	118	2	1.7	1	0.8	1	0.8	7	5.9	11	9.3	5	4.2	11	9.3	80	67.8
西小路	92	2	2.2	4	4.3	2	2.2	2	2.2	9	9.8	3	3.3	4	4.3	66	71.7
元町	69	1	1.4	2	2.9	4	5.8	4	5.8	5	7.2	5	7.2	3	4.3	45	65.2
松島中部	1,278	44	3.4	59	4.6	43	3.4	112	8.8	107	8.4	103	8.1	172	13.5	638	49.9
日の出	120	2	1.7	1	0.8	1	0.8	3	2.5	3	2.5	5	4.2	7	5.8	98	81.7
日の出新町	522	19	3.6	25	4.8	28	5.4	46	8.8	63	12.1	49	9.4	81	15.5	211	40.4
旭町	53	1	1.9	5	9.4	3	5.7	5	9.4	2	3.8	4	7.5	6	11.3	27	50.9
仲町	197	4	2.0	1	0.5	2	1.0	19	9.6	13	6.6	17	8.6	22	11.2	119	60.4
西町	145	3	2.1	6	4.1	2	1.4	10	6.9	11	7.6	4	2.8	14	9.7	95	65.5
中山	134	13	9.7	18	13.4	5	3.7	21	15.7	12	9.0	14	10.4	29	21.6	22	16.4
通り町	107	2	1.9	3	2.8	2	1.9	8	7.5	3	2.8	10	9.3	13	12.1	66	61.7
松島南部	1,143	47	4.1	37	3.2	48	4.2	88	7.7	98	8.6	75	6.6	138	12.1	612	53.5
本町	210	5	2.4	3	1.4	4	1.9	12	5.7	10	4.8	10	4.8	21	10.0	145	69.0
坂井	362	18	5.0	11	3.0	22	6.1	32	8.8	51	14.1	34	9.4	49	13.5	145	40.1
西町	108	4	3.7	3	2.8	4	3.7	3	2.8	3	2.8	3	2.8	17	15.7	71	65.7
南町	463	20	4.3	20	4.3	18	3.9	41	8.9	34	7.3	28	6.0	51	11.0	251	54.2
木下区	2,800	102	3.6	88	3.1	106	3.8	174	6.2	223	8.0	204	7.3	315	11.3	1,588	56.7
木下北部	769	53	6.9	29	3.8	30	3.9	38	4.9	57	7.4	57	7.4	86	11.2	419	54.5
中条	184	9	4.9	10	5.4	14	7.6	9	4.9	10	5.4	19	10.3	37	20.1	76	41.3
上一	308	41	13.3	13	4.2	12	3.9	18	5.8	20	6.5	22	7.1	32	10.4	150	48.7
上二	145	1	0.7	2	1.4	2	1.4	6	4.1	12	8.3	6	4.1	7	4.8	109	75.2
上町・西垣外	132	2	1.5	4	3.0	2	1.5	5	3.8	15	11.4	10	7.6	10	7.6	84	63.6
木下中部	1,100	26	2.4	25	2.3	35	3.2	66	6.0	94	8.5	66	6.0	112	10.2	676	61.5
上の林	12			1	8.3	1	8.3	1	8.3	2	16.7	1	8.3	4	33.3	2	16.7
泉沢	159	2	1.3	1	0.6	8	5.0	12	7.5	13	8.2	8	5.0	12	7.5	103	64.8
北城	359	6	1.7	8	2.2	8	2.2	28	7.8	38	10.6	15	4.2	45	12.5	211	58.8
東村	146	5	3.4	3	2.1	4	2.7	7	4.8	7	4.8	11	7.5	16	11.0	93	63.7
中1・南宮	165	3	1.8	3	1.8	3	1.8	4	2.4	7	4.2	9	5.5	4	2.4	132	80.0
栄町	259	10	3.9	9	3.5	11	4.2	14	5.4	27	10.4	22	8.5	31	12.0	135	52.1
木下南部	931	23	2.5	34	3.7	41	4.4	70	7.5	72	7.7	81	8.7	117	12.6	493	53.0
東・西殿	269	8	3.0	7	2.6	14	5.2	34	12.6	20	7.4	17	6.3	24	8.9	145	53.9
宮本・天王	122	5	4.1	5	4.1	7	5.7	4	3.3	8	6.6	15	12.3	12	9.8	66	54.1
上の段	145	2	1.4	8	5.5	3	2.1	4	2.8	4	2.8	9	6.2	24	16.6	91	62.8
南城	137	2	1.5	8	5.8	2	1.5	8	5.8	26	19.0	22	16.1	24	17.5	45	32.8
南部	258	6	2.3	6	2.3	15	5.8	20	7.8	14	5.4	18	7.0	33	12.8	146	56.6
三日町区	35	1	2.9	2	5.7	6	17.1	2	5.7	7	20.0	2	5.7	4	11.4	11	31.4
用途地域指定区域	6,326	227	3.6	216	3.4	234	3.7	442	7.0	524	8.3	478	7.6	774	12.2	3,431	54.2

資料：財務省、家屋課税台帳、県財産活用課財産企画係、町有財産帳他

注）非課税分を含む

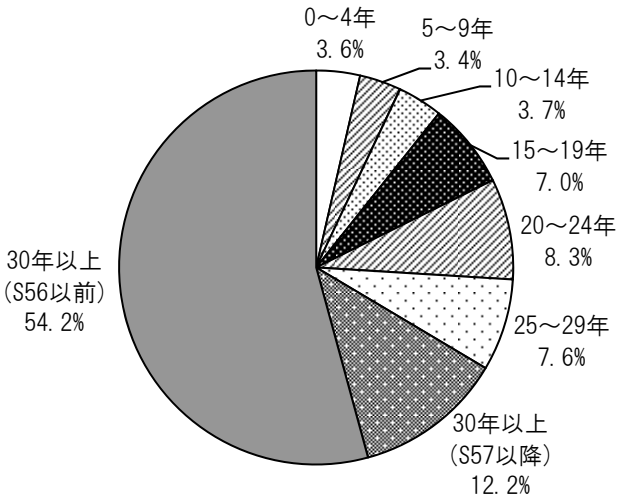


図４－10　建物年齢別構成比（用途地域指定区域）

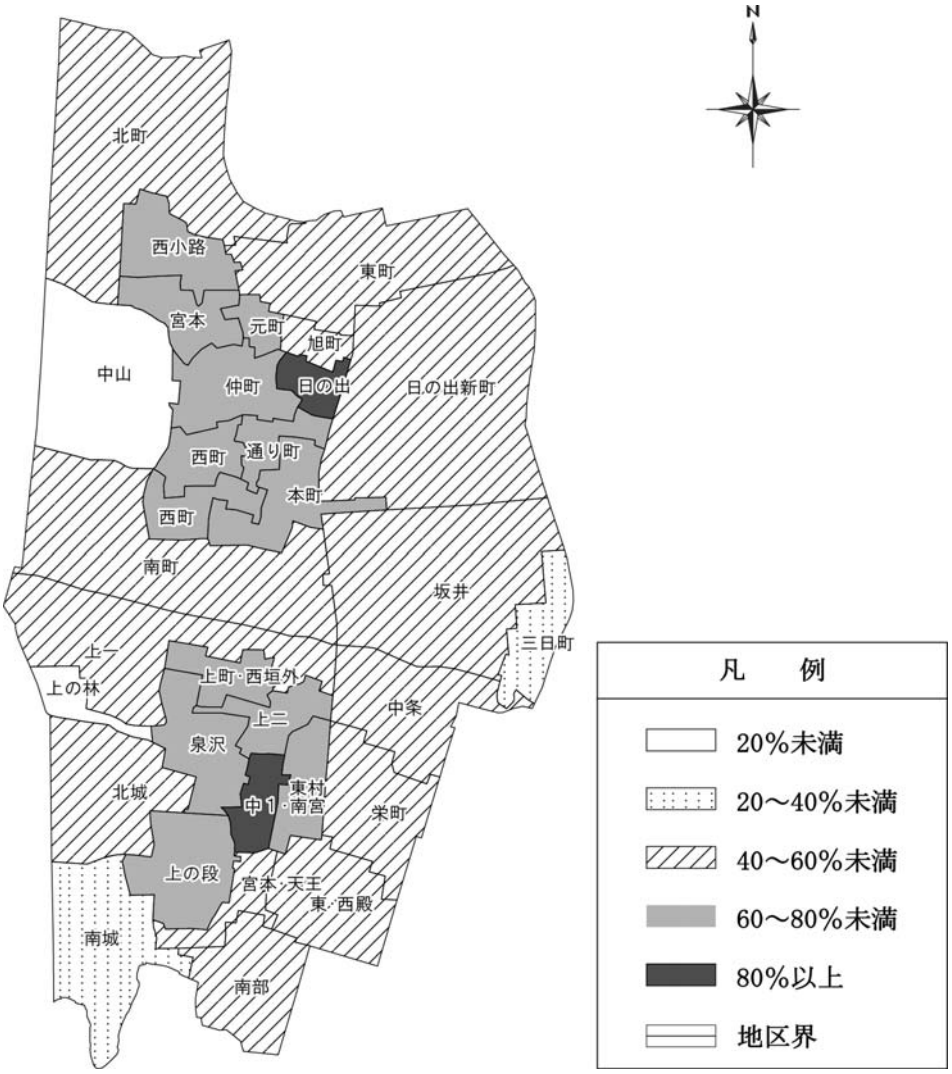


図４－11　昭和 56 年以前の建物棟数構成比（用途地域指定区域）

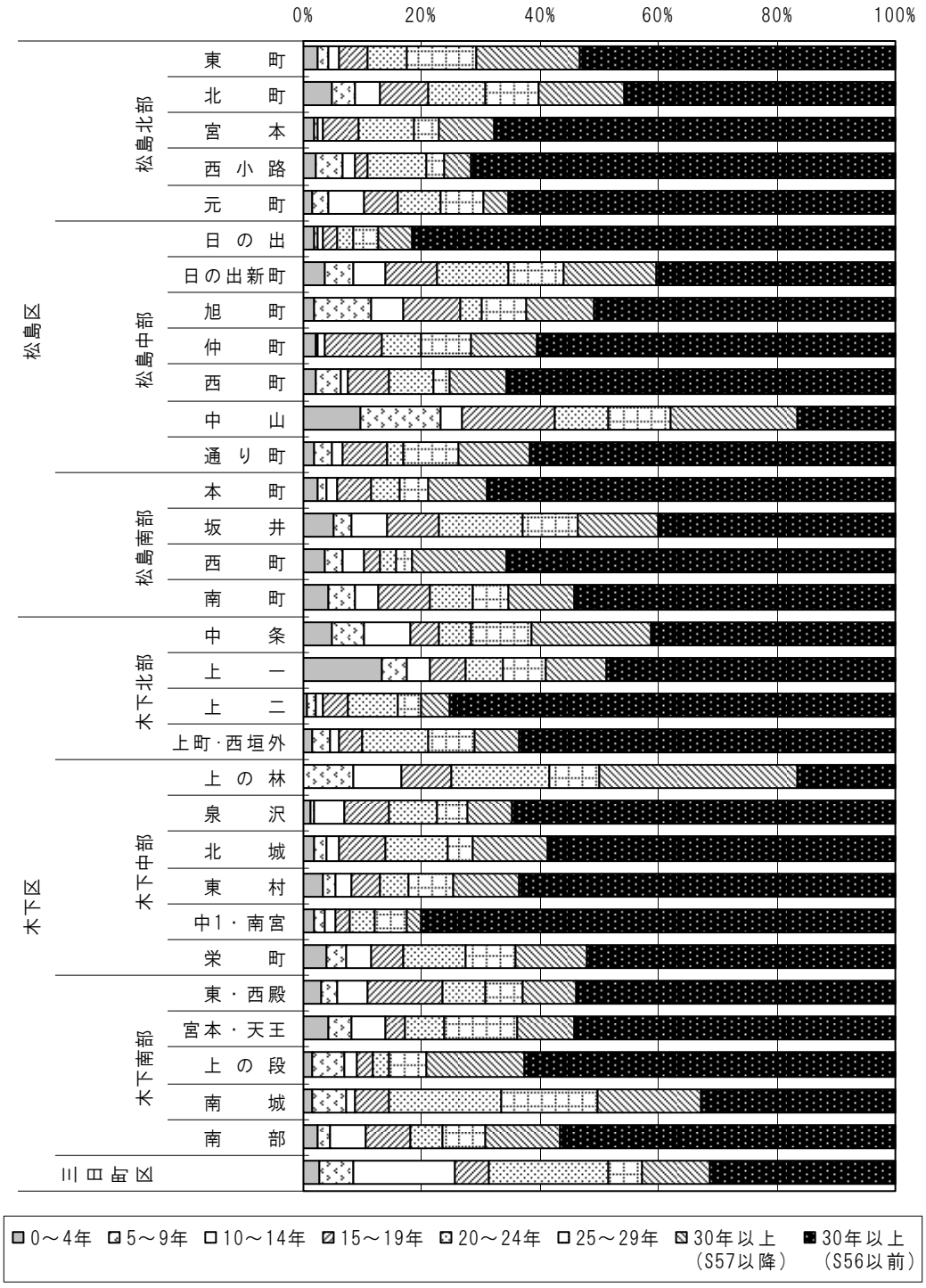


図４－12　地区別建物年齢別構成比

C0402　大規模小売店舗等の立地状況

店舗面積が 3,000 ㎡以上の大規模小売店舗は箕輪町内に４店舗あり、いずれもバイパス沿いに位置している。

表４－６　大規模小売店舗等の立地状況

番号	所在地	店　舗　名　称	建物設置者／住　所	開店日	業　態	店舗面積（㎡）	核テナント	立地法届出
①	中箕輪 9012-3	箕輪ショッピングセンター	イオンリテール（株） 千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1	H 4. 4.23	スーパー	8,045	イオンリテール（株）	○
②	中箕輪 8004外	ショッピングタウン箕輪	（株）コメリ合同会社西友 新潟県新潟市南区清水4501-1 東京都北区赤羽2-1-1	H11. 7.30	スーパー	6,253	（株）コメリ合同会社西友	○
③	三日町 931外	ニシザワ箕輪三日町ショッピングタウン	（株）ニシザワ・ホールディングス 伊那市伊那部字日影435-1	H20. 3. 1	スーパー	5,820	（株）ニシザワ	○
④	959-1外	綿半スーパーセンター箕輪店	（株）綿半ホームエイド 長野市南長池205	H20. 4. 4	専（ホームセンター）	7,711	（株）綿半ホームエイド	○

資料：大規模小売店舗一覧（平成 30 年 3 月 31 日現在）

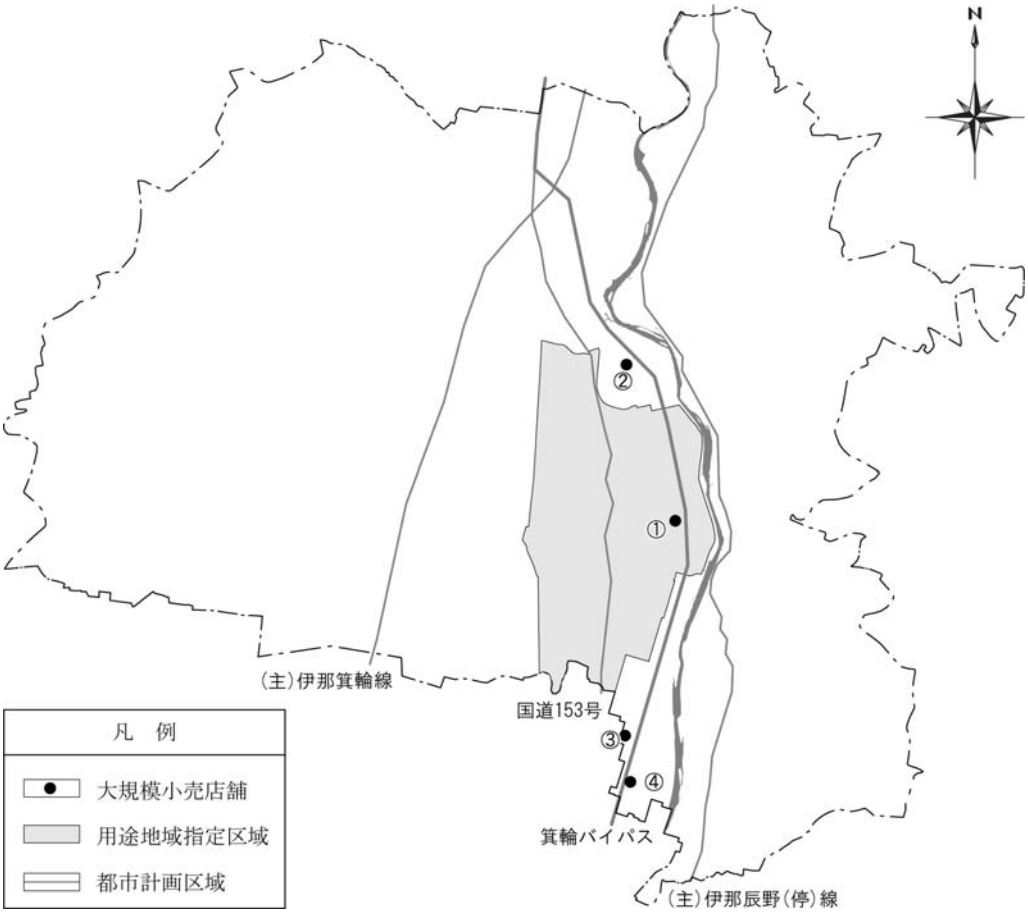


図４－13　大規模小売店舗位置図

⑤　都市施設

C0501　都市施設の位置、内容等

箕輪町の道路は７路線が都市計画決定されており、総延長 16,320m、整備率 60.2%となっている。

公園・緑地は、街区公園が２ヶ所、地区公園が１ヶ所の計３ヶ所が都市計画決定されている。また、その他の都市計画未計画決定の都市公園は近隣公園が２ヶ所ある。

その他の都市施設としては、伊北粗大ごみ処理場や公共下水道、伊那中央衛生センター等が都市計画決定されている。

表５－１　都市施設の整備状況

決定年月日	都市施設名称	都市計画決定事項			事業期間	備考
	【都市計画道路】	幅員(m)	延長(m)	変更内容		
S44. 3.31	3･4･2 国道線	16～20	4,180			改良済延長(m) 280
H28.12.15		16	4,180	位置の変更等		
S44. 3.31	3･5･6 十沢線	9～12	2,030		S35～S46	改良済延長(m) 1,580
H28.12.15		12	2,030	車線数の決定等		
S47.10. 2	3･4･3 松島駅前線	16	210		S47～S59	改良済延長(m) 210
S50. 6.19				駅前広場(1,200㎡)の追加		
H28.12.15		16	210	車線数の決定等		
S48.10. 1	3･3･1 東部線	25～31	6,460		S48～H14	改良済延長(m) 6,460
H28.12.15		25	6,460	車線数の決定		
S48.10. 1	3･5･7 南部線	12～19	3,860	（南部西部線）	S57～	改良済延長(m) 480
H28.12.15		19	480	名称、終点の変更等		
S48.10. 1	3･5･5 木下、三日町線	12～23.8	1,660		S61～H4	改良済延長(m) 710
H28.12.15		12	1,660	車線数の決定		
H28.12.15	3･5･8　西部線	12	1,300		S57～	改良済延長(m) 103
		7路線	16,320			
	【都市計画公園】	面積(ha)				
S48. 6.25	2･2･1 垣外児童公園	街区公園	0.21		S48～S49	S51.12. 1供用開始
S49.10.24	2･2･2 中町児童公園	街区公園	0.11		S49～S50	
	3･3･1 深沢公園	近隣公園	1.10			
	3･3･2 みのわ天竜公園	近隣公園	1.70			H 9. 2.1 供用開始
S60. 7.15	4･5･1 番場原公園	地区公園	11.4		S51～S55	S53.7.15～ 一部供用開始 開設済面積(ha) 8.2
	【都市下水路】					
S47.10. 1	中央都市下水路	延長(m)	950		S47～S51	
S63.12.21		公共下水道へ移管				
S53. 1. 7	木下都市下水路	延長(m)	1,280		S52～S59	
S63.12.21		公共下水道へ移管				
	【ごみ処理場】	面積(ha)	処理能力(t/日)			
H 2. 2.27	伊北粗大ごみ処理場	0.69	40			整備済
	【公共下水道】	面積(ha)				
S63.12.21	箕輪浄化センター	2.47				整備済
S63.12.21	公共下水道	414				
H 9. 2.21		561				
H12. 6. 9		746				
H14. 2.27		950				
H17. 4.14		975				
H21.11.17		975				
H22.12.28		977				
H23. 1.17		977				
	【汚物処理場】	面積(ha)				
S53. 9.11	伊那中央衛生センター	0.9				※
	【ごみ焼却場】	面積(ha)				
H27. 1.23	新ごみ中間処理施設	2.5				※

資料：建設課、2017 年長野県の都市計画（資料編）

注）※は計画決定のみで箕輪町に施設は存在しない

⑥ 交　通

C0601　主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度

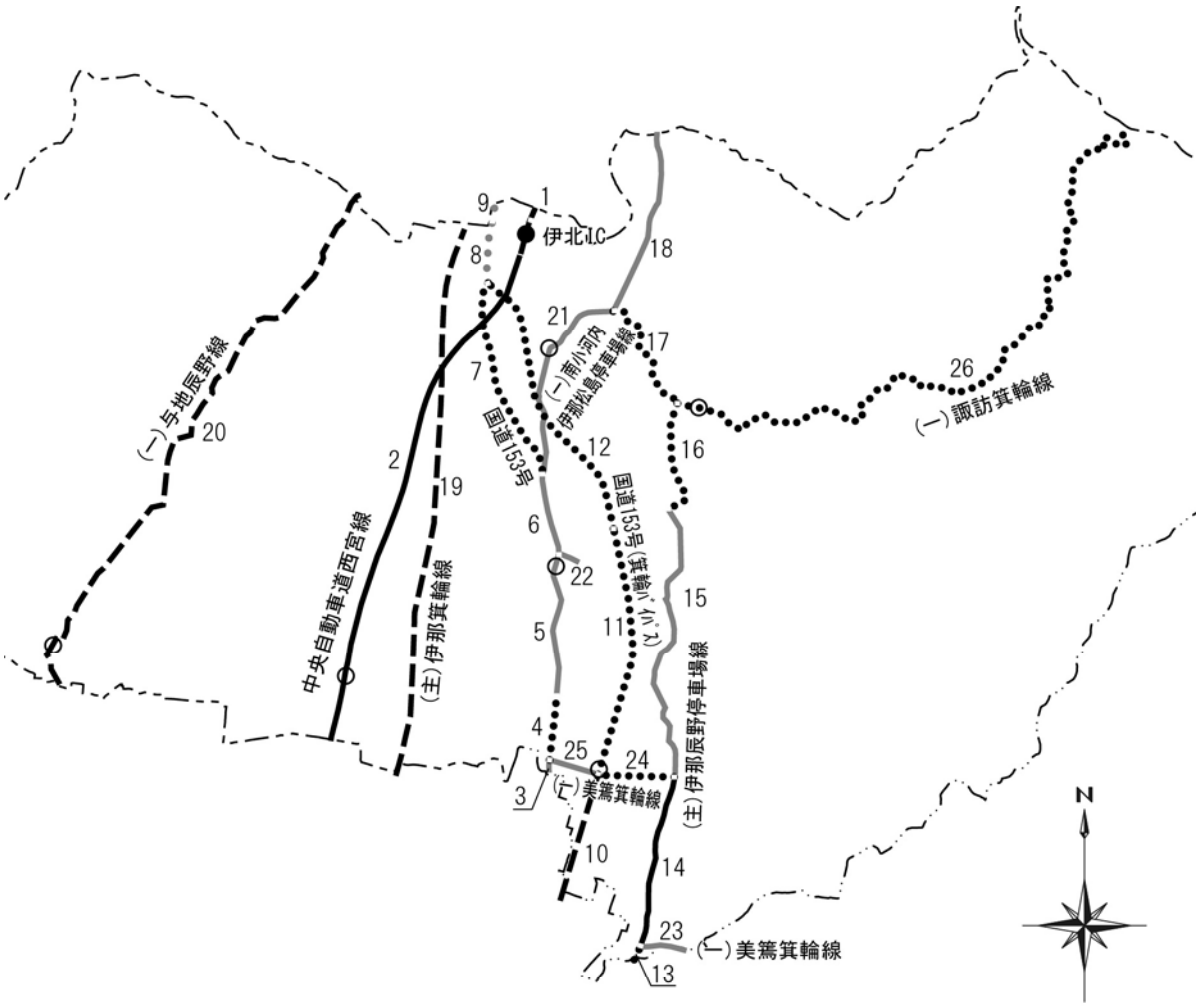
平成 27 年の断面交通量のうち、20,000 台/12h を超える路線は中央自動車道のみで、22,603 から 25,460 台/12h となっている。10,000 台/12h を超える路線は、一般国道 153 号の一部の区間、一般国道 153 号（箕輪バイパス）、主要地方道伊那辰野停車場線の一部の区間、主要地方道伊那箕輪線となっている。

また、混雑時平均旅行速度は一般国道 153 号の一部で 20.0km/h を下回っており、伊北インターの北側の区間が 11.6km/h で最も低くなっている。

表６－１　主要道路断面交通量・混雑度・旅行速度

路　線　名	観測地点名	平　日 12時間 交通量 (台)	平　日 24時間 交通量 (台)	大型車 混入率 (%)	混雑度	混雑時 平　均 旅行速度 (km/h)	位置図 対　応 番　号
中央自動車道西宮線	中央自動車道西宮線～一般国道１５３号伊北IC	25,460	39,201	24.9	0.55	92.7	1
	一般国道１５３号伊北IC～伊那インター線伊那IC	22,603	35,520	25.7	0.43	93.2	2
一般国道１５３号	上伊那郡南箕輪村3469	10,660	13,548	5.5	1.03	25.4	3
	上伊那郡箕輪町中箕輪8550	5,648	7,568	6.2	0.58	30.9	4
		5,648	7,568	6.2	0.58	22.0	5
		5,648	7,568	6.2	0.58	29.2	6
		5,648	7,568	6.2	0.58	38.0	7
	上伊那郡辰野町伊那富7800	12,475	16,717	11.1	1.28	19.5	8
		12,475	16,717	11.1	1.28	11.6	9
一般国道１５３号（箕輪バイパス）	上伊那郡箕輪町中箕輪11526	12,051	16,148	6.3	0.49	44.6	10
		12,717	17,041	7.3	0.51	36.3	11
		12,717	17,041	7.3	0.51	32.6	12
主要地方道伊那辰野停車場線	伊那市福島1675	4,620	6,006	6.7	0.24	39.2	13
		4,620	6,006	6.7	0.24	52.3	14
		4,620	6,006	6.7	0.24	24.1	15
		4,620	6,006	6.7	0.24	39.3	16
		4,620	6,006	6.7	0.24	30.2	17
	上伊那郡辰野町樋口931-1	11,461	15,129	8.6	1.27	26.8	18
主要地方道伊那箕輪線	上伊那郡南箕輪村神子柴8143-1	11,656	15,502	5.2	1.16	41.4	19
一般県道与地辰野線	上伊那郡箕輪町中箕輪15493	1,549	1,843	5.8	0.29	48.9	20
一般県道南小河内伊那松島停車場線	上伊那郡箕輪町中箕輪2769	2,847	3,530	4.0	0.46	28.3	21
	上伊那郡箕輪町中箕輪8427-7	726	893	3.0	0.09	29.2	22
一般県道美篶箕輪線	伊那市手良野口1899-1	1,376	1,651	7.3	0.74	29.9	23
	上伊那郡箕輪町中箕輪11526	3,010	3,853	9.1	0.45	31.7	24
		4,114	5,472	6.6	0.49	22.7	25
一般県道諏訪箕輪線	上伊那郡箕輪町東箕輪472-2	506	683	5.7	0.27	35.3	26

資料：平成 27 年度全国道路・街路交通情勢調査



凡　　例

混雑時平均旅行速度（平日）

- 20 km/h未満
- 20 ～ 30 km/h未満
- 30 ～ 40 km/h未満
- 40 ～ 50 km/h未満
- 50 km/h以上
- ○ 観測地点
- 起終点
- 1 調書番号
- 行政区域

図６－１　混雑時平均旅行速度分布図（平成 27 年）

C0603　鉄道・路面電車等の状況

箕輪町内のＪＲ駅は木ノ下駅、伊那松島駅、沢駅の３駅がある。一日平均乗降人員の推移をみると、伊那松島駅が最も多く、平成６年の 2,243 人となっている。しかし、その後は減少傾向にあり、近年は 900 人前後で推移している。木ノ下駅と沢駅についても、伊那松島駅に比べ減少は緩やかであるものの、減少傾向となっており、平成 27 年の一日平均乗降人員は前者で 808 人、後者で 650 人となっている。

表６－２　ＪＲ線乗降人員（一日平均）

単位：人/日平均

年 次	木ノ下駅	伊那松島駅	沢駅
平成２年	1,127	1,903	952
平成３年	1,148	2,094	1,044
平成４年	1,134	2,144	1,039
平成５年	1,076	2,173	1,062
平成６年	1,027	2,243	1,059
平成７年	930	2,192	1,043
平成８年	900	2,132	969
平成９年	870	1,952	890
平成10年	821	1,833	833
平成11年	851	1,751	827
平成12年	840	1,732	771
平成13年	881	1,543	756
平成14年	846	1,468	742
平成15年	836	1,412	718
平成16年	796	1,362	722
平成17年	788	1,290	682
平成18年	824	1,220	644
平成19年	832	1,188	628
平成20年	832	1,204	630
平成21年	854	1,090	660
平成22年	848	1,098	640
平成23年	884	1,008	618
平成24年	846	976	570
平成25年	842	882	600
平成26年	810	924	626
平成27年	808	974	650

資料：JR 東海サービス相談室、長野県統計書

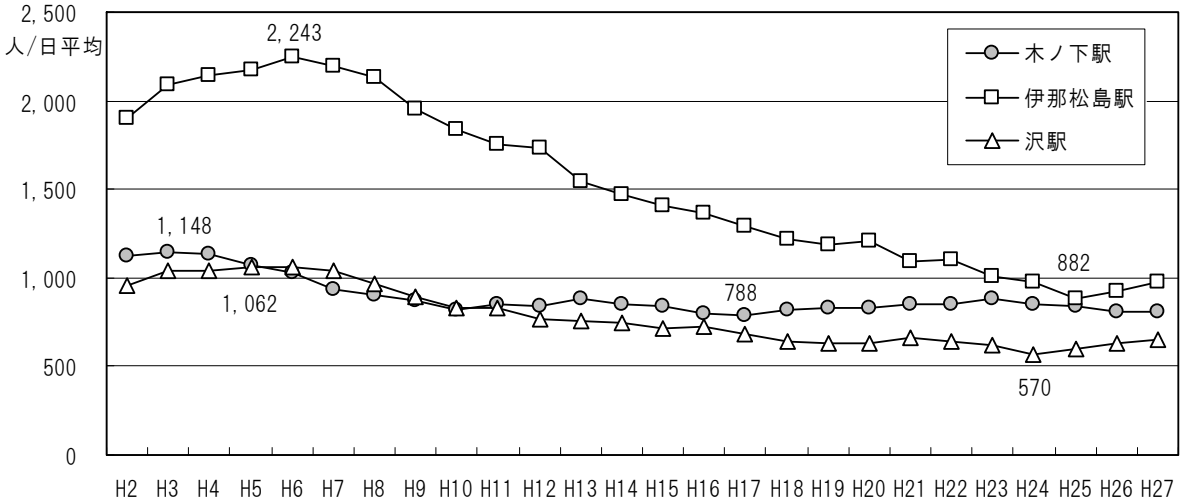


図６－２　ＪＲ線乗降人員（一日平均）推移

C0604　バスの状況

バスの状況は町内７コースを運行するみのちゃんバスと、伊那市、箕輪町、南箕輪村の３市町村を結ぶ伊那本線が運行しており、高齢者をはじめ町民の足としての役割を担っている。

⑦ 地　価

C0701　地価の状況

平成 27 年における地価状況は、箕輪バイパス沿いの商業地域の価格が 34,400 円/㎡（No⑤）と市内で最も高い値を示している。商業地におけるほか２地点（No④、⑧）の地価はいずれも 33,000 円/㎡前後と、同程度の価格となっている。

また、住宅地（No①～③、⑥～⑦）における平成 27 年の地価は 20,000～29,100 円/㎡となっており、商業地と同じく調査地点による差は小さい。

表７－１　地価変動の推移

種別	No	地番又は住居表示	年度	価格(円/㎡)	５年間の価格変化率(%)	土地利用の状況
県調査	①	大字中箕輪字小瀬9979-4	H12	45,000		・一般住宅が建ち並ぶ熟成した住宅地域 ・第一種住居地域 ・住宅地　建物用途：住宅
			H17	39,900	▲ 11.3	
			H22	34,500	▲ 13.5	
			H27	29,100	▲ 15.7	
	②	大字中箕輪字南原1164-5	H12	33,800		・中規模一般住宅が多い新興住宅地域 ・用途地域指定外区域 ・住宅地　建物用途：住宅
			H17	29,500	▲ 12.7	
			H22	24,400	▲ 17.3	
			H27	20,000	▲ 18.0	
	③	大字中箕輪箕輪坂11809-3	H12	31,400		・国道背後の中規模一般住宅が多い住宅地域 ・第一種住居地域 ・住宅地　建物用途：住宅
			H17	28,500	▲ 9.2	
			H22	25,100	▲ 11.9	
			H27	22,100	－	
	④	大字中箕輪字餅田8500-4	H12	67,000		・駅前の小売店舗が建ち並ぶ中に病院等も混在する商業地域 ・商業地域 ・商業地　建物用途：店舗兼住宅
			H17	53,200	▲ 20.6	
			H22	40,200	▲ 24.4	
			H27	31,700	▲ 21.1	
	⑤	－	H12	－		・大型店舗、中小規模店舗、営業所等が混在する国道沿いの路線商業地域 ・工業地域 ・商業地　建物用途：診療所兼住宅
		－	H17	－		
		大字中箕輪字鉄砲島8930-13	H22	40,700		
			H27	34,400	▲ 15.5	
	－	大字中箕輪字割手7941-2	H12	40,200		・一般住宅、工場等の混在する地域 ・準工業地域 ・準工業地　建物用途：住宅
			H17	35,500	-11.7	
		－	H22	－	－	
		－	H27	－	－	
地価公示	⑥	大字中箕輪字北城13173-61	H12	32,100		・中規模一般住宅が建ち並ぶ分譲住宅地域 ・第一種低層住居専用地域 ・住宅地　建物用途：住宅
			H17	28,900	▲ 10.0	
			H22	24,800	▲ 14.2	
			H27	21,400	▲ 13.7	
	⑦	大字中箕輪字垣外9763-10	H12	39,500		・中規模一般住宅が多い住宅地域 ・第一種中高層住居専用地域 ・住宅地　建物用途：住宅
			H17	36,200	▲ 8.4	
		大字中箕輪字垣外9757-8	H22	33,700	▲ 6.9	・中小規模一般住宅が多い国道背後の住宅地域 ・第一種住居地域 ・住宅地　建物用途：住宅
			H27	28,900	▲ 14.2	
	⑧	大字中箕輪字餅田9497-4	H12	69,800		・低層の小売店舗等が建ち並ぶ商業地域 ・近隣商業地域 ・商業地　建物用途：店舗兼住宅
			H17	57,100	▲ 18.2	
			H22	43,600	▲ 23.6	
			H27	34,100	▲ 21.8	

資料：国土交通省地価公示、長野県地価調査

注）「－」は調査なし

⑧　自然環境

C0802　気象状況

平成 20 年から平成 29 年までの 10 年間における平均気温は 11.4℃であり、最高気温は平成 25 年の 36.4℃、最低気温は平成 24 年の－14.6℃であった。

また、年間総降水量では、最高が平成 26 年の 1,467.6㎜、最低が平成 29 年の 908.0㎜ となっている。

平成 29 年の月別の気温変化をみると、月最高気温と月最低気温の差は、最も小さい７月で 13.9℃、最も大きい 10 月で 28.5℃となっている。また、年間の気温較差をみると、最も気温が高い８月の最高気温が 34.1℃であるのに対し、最も気温が低い１月の最低気温は－11.2℃と、年間の気温較差が大きいことを示している。

表８－１　気象の推移

年	気温（℃）			降水量				最多風向	最大風速時風向
	平均	最高	最低	総量（㎜）	日最大降水量（㎜）	降雪量（cm）			
						飯田	伊那市、箕輪町		
H20	11.3	33.4	-11.1	1,109.7	73.5	76　(26)	61.0	N	S
H21	11.2	32.1	-11.4	1,325.0	78.0	15　(8)	33.5	ＮＮＥ	S
H22	11.5	34.9	-10.8	1,455.6	77.5	33　(9)	22.0	ＳＳＷ	S
H23	10.9	34.2	-11.4	1,276.8	126.0	57　(22)	51.9	ＳＳＷ	S
H24	10.9	34.2	-14.6	1,135.4	73.0	46　(11)	50.5	ＳＳＷ	ＳＳＷ
H25	11.4	36.4	-12.8	976.8	81.5	68　(19)	71.5	ＳＳＷ	ＳＳＥ
H26	11.2	35.1	-9.9	1,467.6	70.0	118　(81)	59	ＳＳＷ	S
H27	11.9	34.3	-11.0	1,141.4	81.5	58　(7)	9	ＳＳＷ	S
H28	12.3	34.1	-13.3	1,264.8	123.5	25　(15)	10	ＳＳＷ	S
H29	11.2	34.1	-11.2	908.0	72.5	34　(16)	8	S	S

資料：気温及び総量降水量　箕輪町町政要覧 2018
日最大降水量　平成 23 年まで／長野県気象年報及び気象月報（観測地：伊那市）
平成 24 年以降／気象庁　気象統計情報（観測地：伊那）
降雪量　飯田　気象庁　気象統計情報＜年間総降雪量（かっこ内は最深積雪）＞
伊那市、箕輪町　平成 23 年まで／長野県気象年報及び気象月報＜年間総降雪量＞（伊那市）
平成 24・25 年／箕輪消防署
平成 26 年以降／伊那建設事務所整備課＜各年２月積雪深最大値＞（箕輪町）

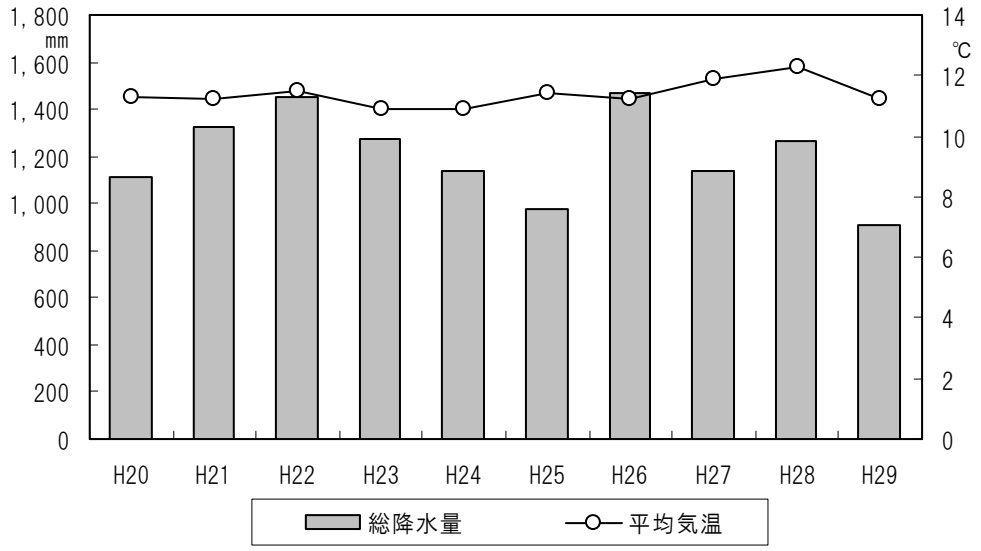


図８－１　気象の推移

表８－２　月別気象概要（平成 29 年）

月	気　温（℃）			降 水 量			最多風向	最大風速時風向
	平　均	最　高	最　低	総　量（mm）	日最大降水量（mm）	降雪量（cm）		
1	-0.5	10.8	-11.2	14.2	8.5	6　(15)	ＳＳＷ	ＷＮＷ
2	0.2	11.6	-10.3	78.4	22.0	15　(33)	ＮＮＥ	ＷＮＷ
3	2.9	15.0	-5.3	35.6	9.5	--	ＮＮＥ	ＳＳＥ
4	9.4	22.7	-3.1	118.8	41.5	--	Ｓ	ＷＮＷ
5	16.6	30.8	3.3	40.2	22.5	--	Ｓ	ＳＳＷ
6	18.3	28.6	6.2	75.8	61.0	--	Ｓ	ＮＮＥ
7	24.2	31.9	18.0	123.4	72.5	--	Ｓ	ＳＥ
8	24.0	34.1	16.6	157.8	19.0	--	Ｓ	ＮＮＥ
9	18.6	28.3	7.0	93.4	24.5	--	ＮＮＥ	Ｓ
10	12.9	27.8	-0.7	114.6	62.5	--	ＮＮＥ	Ｎ
11	6.1	19.7	-4.4	36.4	17.5	--	ＳＳＷ	ＳＳＷ
12	0.6	12.8	-8.3	19.4	13.5	--	ＳＳＷ	ＮＥ

資料：気温及び総量降水量は、箕輪町気象観測情報（箕輪町役場）
日最大降水量、最多風向及び最大風速時風向は、気象庁　気象統計情報（地点：伊那）
降雪量は、気象庁　気象統計情報＜最深積雪（かっこ内は月総降雪量）＞（観測地：飯田）

注）「--」は該当現象、または該当現象による量等がない

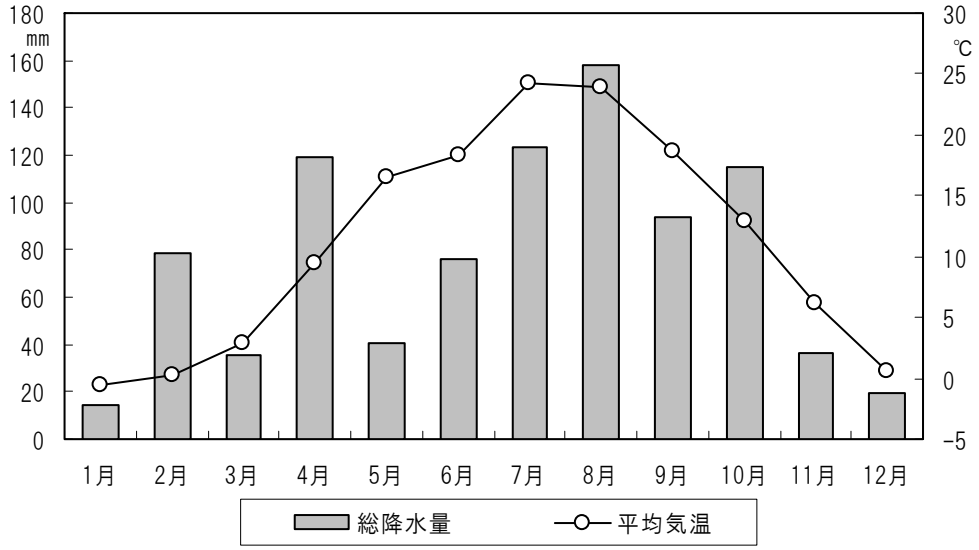


図８－２　月別気温及び降水量の推移（平成 29 年）

C0803　緑の状況

都市計画区域内の緑地現況をみると、公共緑地では公園、緑地が 35.7ha と最も多い。その他の緑地では、農地、牧草地その他これらに類するものが 1,673.0ha と最も多く、続いて山林、原野その他これらに類するものが 1,119.5ha となっている。

用途地域指定区域については、公共緑地では公園、緑地が 3.9ha、その他の緑地では農地、牧草地その他これらに類するものが 77.7ha と多くなっている。

表８－３　現存緑地の計量

単位：ha

区分		用途地域指定区域	用途地域指定外区域	都市計画区域
公共緑地	公園、緑地	3.9	31.8	35.7
	広場、運動場	0.5	20.1	20.6
	墓　園	1.3	1.9	3.2
	その他	0.0	0.6	0.6
その他の緑地	水面：河川、湖沼、水路	1.6	56.6	58.2
	水辺：海浜、河岸、湖畔	1.6	55.3	56.9
	山林、原野その他これらに類するもの	10.1	1,109.4	1,119.5
	農地、牧草地その他これらに類するもの	77.7	1,595.3	1,673.0
	社寺、境内地、墓地その他これらに類するもの	6.5	13.2	19.7
	給排水その他処理施設等の公共公益施設付属緑地	0.0	0.0	0.0
	遊園地、私設公園、私設分区園その他これらに類する民営施設	0.0	0.0	0.0
	共同住宅緑地、工場緑地その他これらに類する施設	0.0	0.0	0.0
	学校、企業厚生施設その他これらに類する施設	10.5	7.3	17.8
	林業試験場、農事試験場その他これらに類する試験場等研究所	0.0	0.0	0.0

資料：緑地総括図

⑨　公害及び災害

C0901　災害の発生状況

平成 20 年から平成 29 年の過去 10 年間で大規模な災害は発生していない。

C0902　防災拠点・避難場所

防災拠点・避難場所については、避難地が 14 ヶ所、第１次避難所が 15 ヶ所、第２次避難所が９ヶ所ある。

表９－１　防災拠点・避難場所

種　別	名　　称	収容可能人数
避難地	箕輪中部小学校校庭	
	箕輪北小学校校庭	
	箕輪西小学校校庭	
	箕輪東小学校校庭	
	箕輪南小学校校庭	
	箕輪中学校校庭	
	箕輪進修高校校庭	
	箕輪町役場駐車場	
	一の宮公民館庭	
	長田保育園園庭	
	八乙女グラウンド	
	セイコーエプソングラウンド	
	福与農村運動公園	
	イオンリテール㈱イオン箕輪店南側駐車場	
第１次避難所	沢公民館	250
	大出コミュニティセンター	250
	北西部多目的センター	140
	下古田公民館	110
	上古田公民館	100
	中原公民館	100
	松島コミュニティセンター	400
	木下公民館	350
	富田公民館	150
	中曽根公民館	120
	三日町公民館	120
	福与公民館	130
	長岡公民館	150
	南小河内公民館	180
	北小河内公民館	200
第２次避難所	箕輪中部小学校	350
	箕輪北小学校	500
	箕輪西小学校	200
	箕輪東小学校	350
	箕輪南小学校	250
	箕輪中学校	400
	箕輪町社会体育館	600
	箕輪町藤が丘体育館	500
	箕輪進修高校第二体育館	300

資料：箕輪町防災ハザードマップ、箕輪町地域防災計画